



以心伝心

—心と心で伝える20周年—



浜松商工会議所 青年部
YEG 創立20周年記念誌

網領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る
商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指針

われわれ青年部は

- 一、地域を支える青年経済人として
先導者たる気概で研鑽に努めよう
- 一、国際社会の一員であるべき 国際
人としての教養を高めよう
- 一、豊かな郷土を築くために 創意と
工夫 勇気と情熱を傾けよう
- 一、文化を伝承しつつ 新しい文化の
創造に向かって歩を進めよう
- 一、行動こそ時代を先駆けるべき
青年の責務と信じ 力を合わせ
国の礎となろう

平成17年度スローガン

人が人を呼ぶYEG
そして更なる躍進

商工会議所青年部の歌

伸びゆく大地

作詞 石井耕二

作曲 石井 敏

一 伸びゆく大地

伸びゆく大地 日本の
拡がる街なみ 青い空
集^{つど}える仲間は それぞれに
地域を支える 気概持つ
願いをかたちに 変えるため
商工会議所 青年部
求めて我らは 立ち上がる

二 いくやまかわ 幾山河を

幾山河を 越えていく
道は果てなく 遠いけど
夢追う気持ちは 忘れない
人と人とが 語りあい
心と心を 結ぶため
商工会議所 青年部
時代を我らは ^が先駆ける

三 自由の海の

自由の海の 渚には
世界の波が 打ち寄せる
歴史の舵は いつの世も
熱ある者が 取ってきた
豊かな郷土を 築くため
商工会議所 青年部
^{あした}明日に我らは 船出する



INDEX

挨拶	浜松商工会議所青年部会長	薩川 敏	2
	浜松商工会議所 会頭	中山 正邦	3
祝辞	静岡県知事	石川 嘉延	4
	浜松市長	北脇 保之	5
	全国商工会議所青年部連合会会長	荒濱健太郎	6
特集1	座談会「浜松商工会議所青年部20周年、そしてこれから」		8
特集2	特別討論会		14
	20年の歩み(昭和60年度～平成17年度)		16
	関東ブロック・全国大会 浜松大会		58
	政策委員会 歴代政策提言書		62
	各委員会年表		70
	1985年～2005年の出来事		88
	協賛広告		91
	20周年記念事業特別委員会 運営組織図		101



ごあいさつ

浜松商工会議所青年部

平成17年度会長 **薩川 敏**

平成17年。政令指定都市実現を目指し、大合併による新「浜松市」が誕生(7月)した記念すべき年に、我々浜松商工会議所青年部も創立20周年を迎えることになりました。

これもひとえに、今日に至る青年部の歴史と伝統を築き、継承していただいた諸先輩方のご尽力、並びに多くの方々のご支援とご協力によるものと、心より厚く御礼申し上げます。

浜松の政令指定都市構想は、青年部が火付け役となり、15年前、地域に提言をさせていただいたのが始まりと聞いています。まさに、20年という歴史の中で私たちYEGが地域の先導者としての責任を自覚し、研鑽し、豊かな郷土を築くために勇気と情熱を傾けた行動が、今、結実しようとしており、身が引き締まる思いです。

我々は、創立20周年を、過去と未来を真剣に考えるべき節目の年として捉え、今日まで、諸先輩方が築き上げてきた青年経済人としてのあるべき姿を、現役メンバーが今一度認識し、さらに激しく変化し、成長を続ける時代の変革に対し、柔軟に対応しうるべく研鑽を重ね、浜松商工会議所青年部の新たな歴史の1ページを築き上げてまいりたいと考えています。

青年部の綱領にあります「地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、豊かで住みよい郷土づくりに貢献する」ため、地域の青年経済人として新浜松市の、遠州地方の、静岡の、そして関東ブロックの、さらには全国の多くの仲間と手を携え、力を合わせ、事業の推進を図って行く所存であります。

今後とも浜松商工会議所青年部に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

浜松商工会議所
会頭 中山正邦

このたびは、浜松商工会議所青年部が創立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

浜松商工会議所青年部は、昭和60年12月に創立以来、商工会議所事業の活性化、地域経済の振興、企業経営者としての研鑽を目的に、内外への幅広い活動を通じて若い経営者の情熱と英知を結集すべく誕生しました。

初代部長として設立に携わった立場として、青年部が多くの皆様に支えられながら積極的に活動を行った結果、今日これほどまでに発展し、記念すべき20周年を迎えるに至ったことに対し、ここに心より感謝と共に敬意を表します。

青年部のこれまでの20年は、バブルによる経済の拡大から、急激な円高の進行、産業空洞化、バブル崩壊、そして情報革命時代へとめまぐるしい社会・経済情勢の変化を背景としてまいりました。さらにこれからの時代を展望すれば、国際競争の激化、環境問題、少子・高齢化社会の深刻化、さらなる情報化の進展、そして行政の広域化など様々な問題を抱えながら、加速度的に変化していくものと思われまふ。また浜松市に目を転じましても、本年7月の合併を機に、平成19年には政令指定都市化を目指しており、行政範囲の変化にとどまらず、経済・社会にも大きな変化がもたらされると予想されるところでございます。

親会である私も浜松商工会議所では、経済・社会が急速に変化を遂げている昨今、地域総合経済団体として、会員商工業者の皆様に対し、一方では企業支援・活性化事業・会員サービス事業を充実させ、地域経済の担い手である中小企業の経営基盤の安定強化を図るための環境整備を進めております。また他方では、地域に新たな活性化の基盤を作るために、創業者支援事業、また産学連携等を軸とした新産業の創出に力を注いでおります。

このような状況下において、青年部会員の皆様におかれましては、本年の新浜松市誕生を機に近隣の青年経済団体ともより一層連携を深め、若い力で地域振興発展の先駆者となり、あわせて商工会議所の後継者たる自覚を持ちながら将来の中核を担うべく、活動に励んでいただくことを期待するところでございます。

20周年は記念の年であると同時に、一つの節目の年でもあります。節目にあたっては、過去を振り返り、未来に想いを馳せ目標を立てる重要な時期となります。浜松商工会議所青年部が、ここからさらなる躍進を遂げることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

静岡県知事
石川嘉延

浜松商工会議所青年部の創立20周年を心からお祝い申し上げます。

貴青年部におかれましては、昭和60年の創立以来、委員会等の幅広い活動やネットワークを生かして、産業の振興や地域社会の発展に多大なる御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表します。

浜松市を中心とする西部地域では、輸送用機械や楽器、繊維関連企業のほかに、光応用機器や電子楽器等のエレクトロニクス関連の業種など、多様な企業が立地し、全国的にもトップシェアを誇る企業が数多く存在するなど、国内有数の産業都市として発展し、本県経済を牽引してまいりました。

今後とも、当地域が活力ある産業都市として発展するためには、経済のグローバル化やサービス化、加えて少子高齢化や環境問題など社会経済環境の激しい変化に対応していくことが、重要であると考えております。

こうした中、県では、「富国有徳 創知協働」の理念の下、「産業の活性化と雇用の維持・安定」を基本目標に、産学官連携による産業の集積と新産業の創出、企業の経営革新の積極的な支援など、各種施策を総合的かつ機動的に展開し、本県の産業構造に一層の厚みを付けていくこととしております。

特に、浜松地域におきましては、浜松商工会議所が中心となり、産業クラスター事業に積極的に取り組んでおりますが、県といたしましては、知的クラスター創成事業や地域結集型共同研究事業などとも連携を図り、地域の企業がこれらの成果を製品化に結びつけられるよう支援しているところであります。

浜松市におきましては、今年7月に「新浜松市」として生まれ変わり、さらに2年後の政令指定都市に向けて、飛躍する時を迎えております。

これをより確かなものにするためには、皆様が持たれる「若さ」、「情熱」、「実行力」を十分に発揮され、商工業の発展のみならず、新たな都市づくりに邁進されることが、何よりも重要でありますので、これまでに蓄積してきたノウハウや技術力を生かして、諸課題の克服に積極的に取り組まれるとともに、今後とも皆様の結束をより強固にされ、地域経済発展のために一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、この記念すべき20周年を契機とされまして、浜松商工会議所青年部の益々の御発展と、会員皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

浜松市長
北脇保之

浜松商工会議所青年部が、創立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴青年部は、昭和60年12月に設立されて以来、地域経済の発展並びに豊かな地域社会の構築に向けた幅広い活動に取り組まれ、多大なる成果を挙げてこられました。これもひとえに、歴代の会長をはじめとする役員の皆様方の強力なリーダーシップと、会員の皆様方の永きにわたるご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第でございます。

今日の経済情勢に目を向けますと、景気の回復基調が伝えられる中、本地域におきましても製造業を中心として、景気は順調に推移しております。しかしながら、中小企業においては依然として厳しい状況が続いており、浜名湖花博の成功や中部国際空港の開港など明るい話題が続く中でも、なお先行きの不透明感は払拭できない状況にあります。

本市におきましては、厳しい財政状況の中、地方分権時代を生きぬく足腰の強い自治体へと変貌を遂げるとともに、都市内分権による均衡ある発展を図る「環境と共生するクラスター型政令指定都市」を目指し、本年7月1日に天竜川・浜名湖地域12市町村による合併が実現し、人口80万人を擁する新「浜松市」が誕生いたしました。

現在、平成19年4月の政令指定都市移行を目指し、施策の「選択と集中」による効率的な行政経営を進めているところでありますが、中でも都市経営の基盤とも言うべき産業の振興は、きわめて重要であります。新市建設計画においては「創業都市構想」を掲げ、既存産業の振興はもとより、新産業の創出・育成をしっかりと支援していくことで、今後とも経済の自立性を確保していく所存でございます。

次代の地域経済社会の担い手である浜松商工会議所青年部の皆様におかれましては、今後とも、会員相互の交流を通じて研鑽を重ねられ、柔軟な発想力と旺盛な行動力、そして若さと英知を結集され、新「浜松市」を中心とした県西部地域経済の活性化に向けて積極的にリーダーシップを発揮していただくことを期待するとともに、本市のまちづくりの推進に、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この記念すべき創立20周年を更なる飛躍の大きな契機とされ、浜松商工会議所青年部がますます発展されますよう心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
平成17年度会長 荒濱健太郎

浜松YEGの皆様、こんにちは。常日頃より、商青連の活動に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、貴YEGから、浅井秀明君、高柳力也君には、専門委員としてご出向頂き、商青連の中核で大活躍頂いております。この誌面をお借りし、重ねて深く感謝申し上げます。

創立20周年を迎えられ、その記念行事が開催されますこと、心よりお慶び申し上げますと共に、ここに至るまで、その歴史と伝統を育んでこられた先輩諸兄をはじめとする浜松YEG関係者の皆様、そしてお支え頂いた浜松商工会議所、並びに関係各所の皆様に深甚なる感謝の意を捧げます。

本年度、商青連では、「豊かな地域の創造！ YEG Renovation!」のスローガンを掲げ、地域の視点で各事業を展開しています。地域あつての日本。地域を最優先に見つめた商青連活動こそが、時代背景から導き出される唯一の進むべき道だと考えています。組織・活動の現状を見つめなおし、変えるべきは改革し、継続すべきはさらに進化を図り、効率的にかつYEGとそのメンバーの発展と「豊かな地域の創造」のために、より利用価値の高い組織となるようリノベーションの確実な一歩を踏み出しています。

21世紀初頭の日本経済は「失われた10年」を経て、産業構造、金融、流通システムはもちろんのこと物質的価値観に至るまで、様々な分野で大転換を迫られました。

これからは、日本全国各地域が、自ら主体的に、自分たちの力で、将来を見据えた地域づくりのために行動を起こし、発展への道を切り開くべきだと思います。まさに、地域に根ざしたYEGの存在の真価が問われようとしています。

本年、9ブロックの会長会議、各種大会等で、全国各地を訪問させて頂き、懸命に企業活動を行いながら地域を支えているYEGの姿に触れさせて頂き、改めて、YEGの価値とその大いなる可能性を実感いたしました。

浜松YEGの皆様！20周年を新たな目標への第一歩として、全国400YEG、3万人の仲間達と、夢を語り合い、語り合った夢を実現するべく、切磋琢磨し、まちづくりの成功事例やビジネスの最先端情報を共有し、自社企業の繁栄はもちろんのこと、地域経済の発展、豊かな郷土づくりのために力を合わせ邁進しようではありませんか。

浜松YEGと愛着あふれる地域浜松の更なる飛躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

浜松商工会議所青年部 20年の歩み

浜松商工会議所青年部創立20周年記念特別座談会 「浜松商工会議所青年部20周年、そしてこれから」



●日時／平成17年8月17日(水) 18:00～

●場所／聴涛館

- 語り手／中山 正邦氏（浜松商工会議所青年部 初代部長・浜松商工会議所 会頭）
神谷 竹彦氏（浜松商工会議所青年部 第5代部長・平成4年度商青連会長）
薩川 敏氏（浜松商工会議所青年部 平成17年度会長）
川上 貴久氏（浜松商工会議所青年部 創立20周年記念大会実行委員長）
●聞き手／山内 秀彦氏（浜松商工会議所青年部 政策委員会担当副会長）

山内

浜松YEGの20年の歩みと今後のYEG、そして合併後の新浜松市について、中山会頭と神谷参与、薩川会長、そして川上20周年実行委員長にお話を伺います。

まず、20周年を迎えるにあたり皆さんの浜松YEGでの思い出やエピソードをお話いただきたいと思っています。

中山

昭和60年の春頃、当時の河合会頭から「全国には青年部がある。浜松のような有力な商工会議所に青年部がないので青年部を作ったらどうだ」という話があったんですね。それで日商等で話を聞いてみたら「青年部というのはたくさんありますよ。浜松に無いっていうのはおかしいよね。」ということで浜松も青年部を作ることになった。ただし他の青年部と同じ様にやるのではなくて浜松らしさを出すにはどうすればいいのか、ある程度規則に沿った中で浜松らしさとは何があるかなというようなことを考えた。

浜松商工会議所の会頭の諮問に応じて答申をするということを最初に考えて、次に商工会議所の会頭から委託を受けた事業や商工団体との連携や協調、また会員相互の親睦と研鑽のための事業もやってもらいたいというような話があってそれらを規則の中におとしこんだ。そしてその後で具体的に委員会は政策研究委員会と研修委員会、委託事業委員会、という3つに決まったわけだ。

浜松には商工会議所青年部以外にも青年団体がたくさんあるわけで、それぞれ立派な事業をやっている。その中で、いかにして会員を集めるかが問題になった。私はたまたま青年会議所とか経済クラブとかには入会していなかったんですが、バランス上、青年会議所と経済クラブについては半々にして、青年団体中央会からも加わってもらった。そしてさらに一般の人を募集したら全体で150名くらいになった。当初はだいたい50名くらいで小さく始めておいて、後で大きくするつもりだったが、150名のメンバーで12月

13日にスタートしたんだね。これは夏頃から約半年間くらいかけて規則とか会員募集とかやってきて、浜松らしい青年部ができたなあと思っていたが、初年度は12月から3月までだから何をやるにしても時間がなかった。しかしせっかく集まるんだから将来、会議所の核となってもらえるような人、そして浜松青年会議所や浜松経済クラブを卒業したら入ってもらって近い将来、浜松を担っていくような経済人になってもらいたい。単なる親睦団体じゃなく研鑽をしようんだ、そこで提言したり、失敗したりという様な覚悟でやっていきたいと皆にお願いした。当然色々な方々も入ってくるわけですから、自然と異業種交流の輪になる。それが親睦とか異業種交流の研究とか、そういう中で会議所から委託を受けた事業をまずやっていこう、ということでスタートしたわけだね。

親会との繋がりも初めから良く出来ていた。会議所によっては青年部だけ独自に動いていて、あとで親会の方がいろいろ待ったをかけるというようなこともあったみたいだね。でも浜松はそういう点では親会からの委託も受けたし、我々も作っていく途中で親会にいつか当時の会頭と話をしていたので、常に理解してもらっていた。まあ好きな様にやってみなさいという様なことから始まったんだね。それでこれがどういう成長をしていくかは、私も良くわからなかったけれども、とりあえず3ヶ月間は皆で顔を見合わせながら、融和をしながら、経済クラブや青年会議所や青年団体中央会とは違う新しい組織をつくらなきゃいけない。そんな気持ちで作った、というのが当時の思い出だね。

山内

初めから将来の幹部候補生を集めて研鑽し、また地域に対して貢献するというのをやられたのですね。それにしても、立ち上げからわずか4年という短い時間で、全国大会を開催しているのはすごいですね。



神谷

その辺りの話は、まあ私もおみこしに乗った所もあるのですが、すべては中山さんが風呂敷を広げたんですよ。当時気さくな専務理事がいらっしゃって、設立の時の会議所の姿勢は大変協力的だったんです。だからこそ青年会議所とか浜松経済クラブとか青年団体中央会、商店会で苦勞した人たちが、どういふ会にしていったら今まで苦勞したものを回収できるのか、すべて知恵を出し合った結果としてこのような会ができたというようなことがありますね。

私なんかは、昭和60年12月13日の初会合のときに、中山さんの顔を遠くから見たというような状態だったのですが、それから活動していく中で非常に目的がしっかりしてきた。私がまだ副委員長や委員長の下でついている時分に、いわゆる中山さんとか伊藤さんとかが風呂敷の広げ方、全国大会をやらなくてはいけないという発想がものすごく。まず全国大会をしなくちゃと、浜松市を世に広めたいというようなかなり大きな野心から全てスタートしているんですね。とにかくそれをするためにどうすればいいのかということで、ブロック大会をやらなくてはいけないというのがわかったら、それからは県連を作らなくてはならないと、後から法整備をしたって感じがあります。広げた風呂敷をどうやって畳むかっていう畳み方まで決めたわけですね。中山さんも無茶苦茶な広げ方をどうやって抑えるかではなく、どんどんやればいいじゃないかと。そして本当の戦闘部隊の方々が、中山さんの話をよく聞いて理解して、上に通すといったいきさつがあったように私は感じました。

全国大会がまずありきだったわけですからもう他の事は何もないと。ただその当時は全国の各単会の中でこのように積極的に出てくるところは比較的少ない時代だったものだから、かなりお二人の根まわしや熱意で納得を得られるような状況があったような感じがしています。今は全国にそういう策士が出てきて、やりたいって言うてもなかなか難しい状況になっていますけど。当時は比較的そういうことが許された時代だったというのがあって、遮二無二がんばった結果がこういうことにつながったと思います。全国大会がなぜこんな短期間でできたかは、本当に大きな「やりたい」という、お二人、いや中山さん含めて3人がいたからこそだと思うんですけど、ね、3人でしょ。(中山会頭に語りかける)

中山

作ったばかりのころは、ある程度求心力が必要なんですね。そしてどういう形でそれを1つにまとめていくかっていうような。目標は大きければ大きい程いいんだけど、ただあまり大きくいっても難しい。まあ全国大会くらいなら浜松でもできるんじゃないか

というような軽い気持ちだったんだね。そのうちだんだん調べていくうちに、これは大変だということですね。まあその後は、ここにいる神谷さんが苦勞したんだけど、あれは浜松でなければできなかったね。それだけ浜松の青年部の会員のレベルが全国的にも高いついていうことではないか。それだけ優秀な人が入っていたということが言えると思うね。

神谷

関東ブロック大会も浜松が静岡県では2番目だったわけですが、とにかく浜松に宿泊をさせたいと。その時はスズキさんに確かオートバイを提供してもらったんですが、景品を出してもらおうとか、当たっているかどうか確かめるには泊まらざるを得ないような時刻に抽選するといった、相当きめ細かな作戦をたてました。できるだけ地元の経済効果が大きくなるように、大会の内容もさる事ながら経済効果ということをしずいぶん考えて、関東ブロックも全国大会も行なったいきさつがありました。とにかくあらゆる知恵を出しながら関東ブロック大会も全国大会も何のためにするのか、という目的をしっかりしながらやってきたと私は思っています。そういう意味での凄腕レベルの人たちが集まって徹底的にいろんな形で議論したとっております。

薩川

それこそ20年を振り返って浜松YEGの何が素晴らしいのかと、今の話に聞き入ってしまいます。ちょうど、風呂敷を広げる先輩方がいて、畳む先輩方もおられたということで、発足当初からそういう素晴らしい人たちがいたんだなあって感じています。全国400単会の中でも、現在メンバー数も多くパワフルな単会と言われていますが、創立当初から150人以上という大勢のメンバーで、しかも3年目に関東ブロック大会、5年目に全国大会を実現させてしまう。その原動力っていうのは何だったんだろう、本当に素晴らしい人たちが150人たまたまいたわけじゃない。そこで、今の浜松YEGの状況を踏まえて考えると、浜松商工会議所の歴史と浜松商工会議所自体の受け入れの考え方とかYEGに対する考え方、そしてその素晴らしいさっていうのが20年前からあったんだなという感じがします。

先日たまたま浜松経済クラブの30周年の記念誌が出てきて、ついつい読みいってしまいました。戦後の我々が写真でしか見たことのない松菱がほんとに立っているだけの原野みたいな浜松の中で、終戦直後に生まれた青年経済人の集い「遠州経済新人会」というのが存在していたと書いてあります。そしてこの経済クラブの30周年の記念誌の中に「こうした新人会の研修活動に対し経済界の長老たちの日は必ずしも好意的ではなく、子供達の跳ね上がりという見



方もあったようだ。しかしこうした中で新人会に対し励まし続けてくれたのが商工会議所の太野木副会頭、後の会頭だった。」とあります。こんな時代から青年経済人に対する浜松の、また浜松商工会議所の取り組みがあり、20年前に浜松経済クラブと青年会議所を取りまとめていただいた中山会頭がいて始まったという、その辺が素晴らしい。ゼロからスタートではなく、その歴史と土壌があって2つの青年経済団体が融合していきなり150名以上の精鋭を集めて出発できたことは、浜松YEGにとってはとてもラッキーなことであり幸せなことだったんですね。

神谷

それは知る人ぞ知る事なんだけど、浜松商工会議所の青年部の原形は浜松経済クラブにあると日商にも言われているんです。先程人数を同じにしたという話があったけれど、経済クラブという存在が物凄く大きくなっていった。浜松に青年部ができる前は沼津の大会には経済クラブの代表が出席していたんですね。特に経済クラブは青年会議所のように上部団体が無い浜松だけの団体です。そういった意味では非常にユニークで、終戦直後の「遠州経済新人会」から続く反骨精神で仕事最優先の条件でやっている。その中で浜松YEG設立時に経済クラブから半数が来たという「色」をしっかりと考えて、どのように運営すれば一番し易いのかというようなところに苦労を重ねた。その結果半年間の短い期間の中で随分いいものが出来たというように思いますね。

山内

浜松は若手青年経済人がいろんなことをやるっていう事に対して、比較的好意的というか懐の深さがあったということですね。

中山

例えば青年部が会議所から委託された事業とか諮問をするというような恰好の当時、浜松商工会議所がまだ旧西武百貨店の横にあって、この場所のままでは発展性がないと我々は常々言っていたんだね。

私たちがあんまり専務理事にガタガタ言ってるさから、青年部を作ってそこを1つのクッションにして答申をして会議所の中を動かしていこうという話になった。それで「このままでは将来発展する素地がない、新しいところへとにかく前進し次の発展を目指す。」というようなことをしっかり書類にして出したら、お前が言い出しっぺだからその建設委員長になってくれということになってね。そのぐらい親会の方もある程度理解しながら、我々も何がいま問題になっているかというのを計りながら答申してきた。それを上の方がしっかり受け止めてくれたということで、現在の東伊場の新しい会議所がある。

いろんなところへ行ったり見たり、市の方でも当時のトップと話をしているんな折衝もしたし、青年部の連中だとどんだん言える。親会の方も青年部から提言を受けたということをもって、議論の進展も早かった。どんだん皆さんが言うようなことを、青年部として取りまとめをして親会に言って、親会もそれをうまく利用しながら前向きに持って行って新会議所会館ができた。

けれども何やるにしても時間がかかるんだけど、とにかく押していかなければならない。当時の先輩は「扉っていうのは押さなきゃ開かない。」って皆によく言っていた。だから絶えず押していかなければいかんわけ。もちろん今でも浜松の経済人としては、口だけで言うだけではなくて何かをやって、三歩行って二歩退がるけど一歩前へ進んでいるということをしてないといけな。書生の論理でいろんな高慢な理論を言うだけじゃ、何もそれが前へ進んでいかない。だから必ず前へ進むような恰好にするにはどうしたらいいかを、あっち行ったりこっち行ったりしながらできるというののもやはり青年部だからこそ。その頃の商工会議所は諸先輩にフットワークのいい会員が多かったから、青年部も足を使いながらいろんな活動をしてそういう事をまとめていたんだ。

山内

今ちょうど政策提言の話が出ましたが、現在の浜松YEGの政策提言についてお話しいただけますか。

川上

私はYEGに入ってから今年で9年目になりますが、これまでの8年間のうち6回政策提言委員会にいますね。YEGを最初に作られた時から政策提言委員会はあったとのことですが、まずこれ自体が凄いなと思います。YEGという組織を作るとなると研修とか自己研鑽とか懇親、親睦という事をメインに考えると思うんですが、まず政策提言というものを浜松YEGの根幹の事業として据えたということ自体が凄い。それも今になってみると浜松市は合併したばかりですが、合併の記念誌の中にも（ここで浜松合併記念誌を取り出す）15年前に我々青年部が提言した政令指定都市構想がきっかけとなって、今回の合併に繋がっていくっていうのをここにはきちんと書かれている。実際にこういう合併の記念誌に載る提言をしているっていうことは、本当に凄いことだなと思いますね。

今までずっと毎年違うテーマで提言をしてきた経緯がありますが、ただ提言をするだけではなくそれをいかに実現するかっていうのもYEGとして必要になってきているのでしょうか。ちょうど20周年という区切りを迎える中で、いかに提言したものを自分達の手で実現させていくかという事を考えていか



なくてはいけない。先程神谷さんのお話の中にも全国大会の風呂敷を広げる人がいて、畳む人がいる。大きさは違いますが、毎年提言書を作っていることは風呂敷を広げることと同じですし、それをいかに畳むかっていうことまで考えてこれからは活動していかなければならない。どうしてもYEGは単年度での活動ですから全然関係なかった人もいますが、これからは2、3年単位くらい見据えた中でやっていけないといけない時代になっていると感じています。来年度21年目を迎え、浜松YEGとしての根幹をなす事業である政策提言というものを本当に見つめ直す時期にあります。でも、この提言書を他の単会に行って見せると皆さんびっくりしますね。しかもこれを1つの委員会で作っている事自体も驚かれる。内容もきちっとあるし、ここ2年間市長に直接プレゼンさせていただいて、実際にこれが反映されていることもあると思うんですね。我々が提言したから、それが実際に結びついていくのかはわかりませんが、ちょうど新聞にも出ていた街中バス「く・る・る」のコースを変えようかという動きは、去年の我々が提言したもの。これは実際われわれが提言したからかどうかかわからないですけど、そういう見方からも我々青年部の提言がかなり先をいっている気がします。

中山

設立当時から青年部は自分の発想で青年部らしい提言をどんどん行なったらいいんじゃないかと言われていた。今でも会議所というのは、右から左まで非常にウイングが広いし、親会の発言はそれなりに公式な発言になってくる。ただ青年部の場合はある程度しっかりした理念さえあれば、自分なりに独自の発想ができるし、それを担当する政策委員会はやりがいのある仕事ではないかと思うね。これからも青年部らしい考え方を出していけばいい。青年部の「指針」と「綱領」、そして「伸びゆく大地」かな。この3つを頭の中に入れておけば、もう後は何にもいらない。

神谷

この3つは青年部のバイブルですね。

中山

ホントにそうだね、それがあれば後は何にもいらん。その中にも書いてあるんですが、やはり「時代に先駆ける」とかね、「変えるのは若い力」とかね。とにかくこの3つの内容をよく理解すると、自分の行動がいかにあるべきか？というのがおのずと分かってくる。またこれがわからんような人は青年部に入っていない。(一同笑)

山内

全国的青年部は基本的な部分では同じですが、その中で浜松らしさや浜松YEGの特徴はどこにあるのでしょうか。

神谷

会議所の活力が青年部の活力だと思います。いい専務理事に恵まれたというのが浜松商工会議所として青年部としての活力だったんでしょうね。ある時には青年部を使い、われわれもある時には親会を使い、お互いがやはりいい相乗効果で利用し合いながら活力を高めてきた。これが全国的にみても浜松の最大の「らしさ」ではないか。だから我々が活動する中で、青年部は若いから良いっていうだけではなく、全体的な視点で見ることができるとても事もある。我々は若さの中でいろいろ感じることを提言したりすることになりますけど、上からとか下からとかではなくて、親会からもそして青年部からもそれぞれがチームワークというか分担し合うという辺りが、他の単会には無い最大のものだと思います。

最初には政策研究と研修と受託事業の3つの委員会でスタートしたんですけど、この受託事業っていうのが非常に曲者。そこで、いわゆる受託事業を暫くやっていただけど自我の目覚めというのができて、言われたものだけをやるのではイヤだと偉そうなこと言いながらお断りする、という時代を経てきた。だんだんと成長してきて、親から着せてもらった制服が窮屈になってきた訳です。予算の件もそうだし、予算以上に会議所の方から担当事務局をつけてもらっているということも含めてね。かなり恵まれた環境の中で、お互いが良い意味の利用し合うというような、そんなものが今日の浜松らしい活動の原点になっているという感じがします。

山内

現役の会長として今後、どういう青年部であつたらいいかという目標をお話いただけますか。

薩川

先程の話のように、言われたことをやるだけじゃない、お断りするみたいなこともある。そういう時代を経てわれわれの時代があり、やはりその辺りも考えながらの「想い」があったのではないのでしょうか。会長になった時に言われたことですが、「行政のイエスマンになっちゃいけないよ。」とか、「言われたことばかりやるんじゃないよ。」という話もあった。例えば私が委員長をやらせていただいた時代、事業委員長の時は「ウナギ・アズ・ナンバーワン」とか「Hot! Light! X'mas!」とか、行政の枠の中に入って、行政とも市民とも他の団体とも対等の立場で協力し合いながらやっていくようなシチュエ



ーションで非常に面白かった。

そして今回12市町村が合併し、商工会議所としては1つしかありませんが、同じ年代の商工会青年部は13単会ある。商工会と商工会議所は立場も法律も違うけれど、われわれ青年経済団体としたら、浜松市の中で並列な同じ土壌の同じ土俵にいるわけです。それとは別に地区それぞれのいろいろな問題を抱えながらも活動しているのかもしれない。しかし、それこそクラスター構想ではないですけど浜松商工会議所青年部と皆様の意見を取りまとめて、新浜松市の青年経済団体という意識を今後作っていく必要があるのではないかと感じています。我々ができることは自己研鑽も奉仕もあって当たり前、プラスαとして商工会議所の下部組織であり商工業を発展させるべき者の団体です。商工会議所の下部組織であること、商工会議所のメンバーが全て対象であるという意識をまず持ち、さらに商工会の人たちも商工会議所にも入ってもらって、それが相乗効果を発揮して親会の発展にも繋がる。そしてもう少し大きな目で12市町村合併からアクションしていきながら、青年部を、組織をまた違う形に変えていく必要っていうのがあると考えています。

中山

まあ会議所活動っていうのはどちらかっていえば部会活動が1つの柱で、さらに委員会という下部活動がある。でも部会活動というのは自分と同じ業種だけ。委員会も経済委員会等いろいろな委員会があるが、その中ではなかなか親密な関係ができにくい。ところが青年部というのはまったく横断的ないろんな意見が上がってくる。そういう意味では活動の仕方は、親会より青年部の方がよほどいろんな意見が出て楽しい活動ができる可能性がある。特に政策委員会はいろんな業種の人が入って、本当に皆さん夢がある。ある程度年を取ってくると夢と現実というのがだいたい一致してくるものですが、まだ青年部にいるうちは夢と現実ギャップがあるんだから夢を追わないとね。だからそういう意味では青年部というのは、その人たちが会議所の中でもって活動するばかりではなくて、どこへいってもそういう夢を持って活動するという自分があるということが大きい。いまでは20年間やってきたおかげで行政にも地域にも認められているし、もう一本立ちしている訳でね。

山内

川上副会長は浜松Y E Gへ入る前は浜北市商工会青年部の部長も経験していて、その浜北市商工会との繋がりの中でその橋渡し役をやっているわけですが。

川上

私は浜北市商工会青年部に25歳で入会して、青年

部という事では17、8年になります。ちょうど浜松Y E Gに入ってから2年目くらいで浜北の青年部の部長をやりました。商工会のこともある程度分かってはいるつもりですが、当時は浜松Y E Gの方が兄貴分って感じで、レベルも浜松の方がかなり上かかっていう思いもありました。今は1つの市になってそうは思っていないませんが、浜北に住んでいたころには浜松に負けてなるもんかという思いがありました。今は浜松として他の都市に負けてなるものか、という思いでY E G活動をやっていますが、私だけではなく皆が持っていると思いますが、そういう「想い」って大事なんじゃないでしょうか。

浜北を含めて他の商工会のあるところは町、村という行政区域が狭いものですから、行政とも付き合いが親密です。旧浜北なんかの8万数千人の都市でも、市長はいつでも会ってくれて話もすぐにできた。そういう点では旧浜北市は街づくりでもやり易かったです。例えば私が商工会青年部の部長の時、浜北市総合体育館新築に対し、最初は普通の四角の体育館を造る予定だったのを、そんなの造っても面白くないからということで、ドーム型が流行っているし、使い勝手がいいし、建設コストも安くできるからということ提言して、その結果大小2つのドーム型になった。そういう活動ができるのも商工会ならではの活動だと思います。

一方、元々の区域を一番良く知っているのはやはり商工会青年部です。商工会青年部も地域の先導者として積極的に活動し、もし浜松市に対して何か言いたいこととかあれば、浜松Y E Gを使ってもらえばいいし、お互いに連携を深めていって新浜松市が良くなる方向にみんな考えていけばいい。ちょうど私も入って8年、9年目ということで、こここのところ旧浜北市からも浜松Y E Gの方に入会してくれる人も増えてきました。できれば北遠地区からもY E Gのメンバーとして入ってもらえれば、こちらの情報も地域へ持ち帰り、また向こうの情報もこちらに提供してもらえる。そういう連携が図れていけばいいですね。商工会も今のまま13もあるままではいけないと思いますし、私の個人的な考えでは、政令市になって区に1つ商工会があればいい。そしてお互いに連携を図りながら、もちろん法律の違いもあって商工会議所と商工会が合併する訳にはいかないですけども、商工会同士ではある程度まとまって商工会議所と連携をより深めていきながら活動すればいい。その橋渡しになるのがやっぱり青年部かなという気がしています。

中山

12の市町村がただ集まって1つの市になったというだけでいいわけではない。特にこれからは、前とは



違った新しい形を創っていかなければならないと個人的に思っている。青年部も、今までと同じような形でもってただ大きくなったから良いということではない。どうすれば新浜松市が他の政令市とは違ったかたちの政令市になり、なおかつ非常に問題が多い財政的な問題についてもクリアしていくとかね。せっかく新浜松市になって政令市に19年の4月になるわけだから、今までと違った形に形をまず創る必要があるし、そのためにいろいろなことを提言していかなければいけない。

臨調みたいなかたちの行財政改革審議会ができたが、あれは全国でも初めて浜松にできた。ある人に、「こんなことが浜松は何故できるんですかね？」と尋ねられるし、他では行政に提言できるなんていうのはほとんど無い。だから浜松市のそういう気風というもの的大事にしていかなければいけないし、せっかくだから新しいかたちを創らなければならぬ。そのためには行政の言いなりではなく、しっかりとしたモノを持っていなければいけない。モノを持つというのは、例えば私の2年間の青年部時代にもやはり議員の定数の問題があって、これは商工会議所ではなかなか言えない問題だからこそ、青年部がハッキリと「議員の定数が多いじゃないか」と言った訳だ。だから青年部で今考えている「どのような街にすれば良いか」というような、しっかりした意見を載せた提言の中で議論してもらい、それが浜松市のやっていることと違ったかたちで出てきても当たり前だと思うんだ。市の人間が言うことが全てだったら我々なんか必要無いんだから。もうそれくらいの成長はしているんだから、是非新しいかたちの街を創るという気概を持って、いろんなことを提言してもらえると有り難いね。

神谷

私も政策提言で青年部のみんなが感じるように、全員が政策提言ということでの思考の橋渡しをしていくことが出来れば、ほんとにもっと良いし、さらに良い青年部になっていくのではないかなと思う。最後までずっと会員交流というのも大事かもしれないけど、まず政策提言というものを発言に活かしていただいて、地域に青年部としてのスタンスをしっかり持ってほしい。商工会議所の会員勧誘時にも「研修がありますよ。いろいろな部会がありますよ。」とか言うのではなく、「青年部に入れますよ」と言うようになり、これからは青年部の活性化がすなわち商工会議所の活性化になるのではないかな。青年部活動がもっと親会の各会員の人たちを巻き込んでできるような、そういうようなシステムができていけばおもしろい。

薩川

浜松市にはブドウの房という意味で、クラスター構想があります。でも私からみたらブドウの房がただあるだけで、その中に青年部、浜松があって我々がいて、そのクラスターの中に商工会のメンバーが入っている。ブドウの房っていうのは、幹から栄養分がたって腐って終わってしまいますが、我々はそこに動脈と静脈を付けなくてはならないと常々感じています。これは単なるブドウの房＝クラスター構想だと動きが無いし栄養も一方通行、そのブドウの房を動かすのはやはり我々の仕事であり、我々が若いからこそできるアクションです。単なるつながりとしてではなく、動かして通わせるといういわば新浜松市青年経済団体クラスター構想。そのブドウの房の、各地域のパワーを結集して移動させてパワーをいただきながら、カタチとして新浜松商工会議所青年部ができる。その意味でも、今年は政策提言の提言という言葉をあえてとりました。

提言書は3月にできあがって市長が見て、そこで提言を受け入れてくれても秋に予算がついて、具現化するのには提言の2年後です。それなら期の途中に政策的に小さな提言でもアクションを起こすようなフレキシブルな環境、つまり動くYEGができるような体質にあれば良い。途中で何か提言することがあったら、すぐにでもアクションできるような部分が青年部らしい。この青年部らしさをいかにだせるか？いかに「行動こそ時代を先駆ける青年の責務である。」ってね。

中山

委員会の名前ひとつとっても、時代と共に変わってきているんだね。時代があったからこそ活動しているということが地域の経済団体の皆さんにとって必要だということ。そういう時代をみながら、何をすればいいかを考えて名前もどんどん変えていけばいい。名前というか想いを形にしていけばいいと思う。

川上

今までの先輩方の行動が行政に評価され、我々への期待がより大きく重くなっています。そして今年20周年を迎えるということでまた1つ違った青年部をこれから見せていければいいし、変わらなければいけない。今年度の浜松YEGは各委員会それぞれが部会を担当してもらい、全員参加で20周年記念大会を作りあげようということでやっていますが、今後我々はどうしていけばいいのか、青年部を使って何ができるのか、何をすべきか、ということをもう一度考え直すいい節目になります。これからの青年部を楽しみに見ていてください。





●日時／平成17年7月14日(木) 18:00～

●場所／浜松商工会議所会館

●語り手／御室健一郎氏（浜松商工会議所 青年部担当副会頭）

●聞き手／山内 秀彦氏（浜松商工会議所青年部 政策委員会担当副会長）

山内

浜松商工会議所の御室副会頭（青年部担当）からこれからの浜松YEGのことについてお話いただきます。まず商工会議所青年部について浜松経済界からみた、あるいは親会から見た印象などをお聞かせください。

御室

今の時代は変化が激しく、その上スピードも速い。そういう変化の激しいときに対応できるのは若い人であり、50代後半あるいは60代の人では限界があると思います。企業経営をコントロールする経営者にはバランス感覚が必要であり、様々な経験が必要になります。原動力にはパワー・若い力が必要ではないかと考えています。この青年部に入られた皆さんを見ていて良いと思うことは、人間的に視野が広がることではないでしょうか。自分が属する業界とは違う異業種の方との交流が少ないと、どうしても視野が狭くなってしまいます。ひとつのことに精通することは大事なことです。やはり広い分野からモノを見る目、高い角度、横の角度、低い角度など様々な角度からモノを見ていくのが経営者にとっては重要なことではないでしょうか。そういう意味からすると、縦の経験＋横の経験など様々な経験をして、その経験の網の目がうまくつながっている、これがマネジメントや経営者としての形成に非常に役に立つのではないのでしょうか。

山内

私たちも自分たちの業界だけでなく異業種交流もしたり、自己研鑽をしたりして、いろんなネットワークを作らなきゃいけないと思って入ってきているメンバーです。だから自分の業界よりも、むしろ違うところでどうやって組めるのか、というほうに関心がありますね。

御室

皆さんご自身が青年部に入る目的をどう位置づけるかが大切であり、楽しくなるかならないかは本人

の志次第ではないでしょうか。皆の輪の中「ワーツとやрмаいか！」と勢いよく入っていく事が一番大事だと思います。例えば企業においてもリスクに対しどう対応するか等の様々な経営課題がありますが、経営には企業としての“勢い”が非常に重要だと思っています。企業の中に“勢い”を持ち込み、良い回転をさせること。私が思う良い回転とは「前向きに仕事をする事」と捉えています。多少の問題点があるかもしれないけれど「とにかくやってみようよ」といろいろなテーマについて考えさせる。すると若い人たちはそれに向かって積極的に取り組み、やらされるのではなく自分からやる感覚でスピード感覚を持って仕事をしてくれます。そのパワーというのは理屈ではなく基本となる部分だと思います。前向きにやる、がんばってやると、それに応じて良い成果が出る。成果が出ると自信を持つから、さらに前に出る。前へ出るからまたがんばる。この繰り返しが良い回転となって“勢い”を生み出していく。これを「良い転がり」と言っているんですが、それを我々個々の企業だけで実践するのではなく、例えば「浜松株式会社」というように、浜松の地域をひとつの集団、個として考えて輪を広げていくということが必要ではないのでしょうか。

山内

企業でも企業戦略がないと、都市でも都市戦略がないと行き当たりばったりの場当たりの開発になってしまうですね。

御室

そうすると統一感のない開発になったり、無駄な努力になってしまう可能性があるのではないのでしょうか。そのあたりは十分検討しなければなりません。基本はエンジン部分であり、パワーが非常に大事ではないのでしょうか。その期待をされているのが、この青年部だと思っています。



山内

先ほどからエネルギー、パワーというお話がありましたが、むしろ私たちの世代は大人し過ぎると言われてしまうこともあります。

御室

我々は何をやらなければいけないのか、常にある意味テンションが高い状態で、常に駆り立てるような仕組づくりを地域の中で作っておくことが非常に大事だと思っています。浜松は全国的にみても良い地域だと言われていますが、将来もこのまま良い状態が続くとは断言できないし、良い時ほど次の事を考え先手を打っておく必要があるのではないのでしょうか。人間の一生をとっても良い時ばかりということはありません、その時をどう乗り越えていくのか、常に先へ考えながら、手を打っていくことが必要だと思っています。それにはパワーが必要なんです。

青年部の方たちは親会からすれば、気力・体力、前向きな実行力もあるという人たちの集まりですから、俺がやらねば誰がやるという気概を持って役割を担っていただきたい。そういう仕組づくりをすることが我々の役目であり、その仕組の中で活躍していただくのが青年部の方だと考えています。

山内

浜松市も12市町村が合併し80万都市としてスタートし、平成19年に政令指定都市に移行していきます。この様変わりしていく時に、浜松YEGに期待される役割も大きくなっていくわけですね。

御室

政令指定都市になることは皆さんが努力した結果であり、素晴らしいことだと思います。ただし、よかったと喜んでいるだけでは駄目で、政令指定都市として、浜松が本当にこれからうまくいくのかどうか、地域分権で何でもうまくいくのかどうか、それらをひとつづつクリアしていかなければならないでしょう。合併が目的ではなくて、合併をして政令指定都市になって何をするのか、どういう都市像を目指すのか等に対するしっかりしたビジョンが重要ではないでしょうか。実際に住民のために役に立つ都市になれるかはこれからの課題でありますし、地域をどう育てるかについては、行政と我々、住民が一体となって浜松を盛り上げていくことが大事だと思います。その中でもやはり行動力が一番あるのがYEGの強みだし、YEGだけでなく、その年代の方たちにも大きな期待をしているところです。経営者は特に発言力がありますから影響力も大きいですし、中でもYEGが大きな核になっていくことは明らかなことだと思います。

山内

最後にYEGに対して期待することをお聞かせください。

御室

浜松が政令指定都市になることは時代の流れとともに実現できることだと思います。問題はこれからどういう政令指定都市にしていくのか、どういう中身の地域にしていくのか、行政の行動の問題、経済の構造の問題など、いろいろな問題があります。そういったものに政策提言をして、それを実行して行政に働きかけていく。商工会議所にもしっかり提言して、「青年部は理念がしっかりしていて、パワーにおいても十分に期待を担える人材が大勢いる。よし、彼らに実行部隊を任せようじゃないか。」と言われるような、そういう団体になってほしいと望んでいます。青年部の会員数にしても規模が大きいほうがパワーに差がでてくるのではないのでしょうか。300名くらいの青年部となってもいいんじゃないかと思っています。青年部が300名に増えれば、会員の間にも活気が出ると同時に財政的にも豊かになり、やりたいことの幅も広がると思います。浜松から全国に発信できるYEGになるという志を持って会員数を増加すれば、浜松市全体にも貢献できることですから、是非実現していただきたいと思います。

山内

高い志とチャレンジする勇気を持ち続け実行力とパワーを蓄えていくためには人の力の結集が大切になります。だから会員を増やす。そして集まった力があればあるほどまた力があつまっていく。人が人を呼ぶYEGになっていく。

御室

そのとおりです。今年のスローガン（人が人をよぶYEG・そしてさらなる躍進）は私の言っていることと一緒なんです。勢いをつけて良いことを重ねればもっと勢いが増すのではないのでしょうか。良くなれば人から褒められますし、褒められればうれしくなってもっとがんばります。こういう回転の良さをどんどん作り出していくことが大事だと思います。そうすると能力も思った以上に発揮できます。そういう都市像づくりの貢献をYEGにさせていただきたいと期待しています。

山内

私たちも年々そういう周囲からの期待が高まってきているものですから、それに応えていきたいと思っています。

今日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。ありがとうございました。



1985 (昭和60) 年度



▲鈴木長次 助役

▼設立総会 (12月13日)



▲沼田 議長



▲設立時発起人会



▲加藤輝隆 副会頭



▲中山 部長



▲沼津青年工業会
大古田一郎 会長代理
(直前会長)

＜青年部規約の主なものの抜粋＞

(目的) 本青年部は、浜松商工会議所の事業活動への参画を通じて、会議所事業の活性化と地区内における産業、経済の振興を図り、会員相互の親睦と連携を密にし、企業経営者としての研鑽をつみ、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的とする。

(事業) 本青年部は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 浜松商工会議所会頭等の諮問に応じて答申するとともに、必要に応じ青年部としての意見を浜松商工会議所会頭に具申する。
- (2) 浜松商工会議所会頭から委託された事業。
- (3) 関係諸団体との連絡、協調。
- (4) 会員相互の親睦と研鑽のための事業。
- (5) その他本青年部の目的を達成するために必要な事業。

(会員の資格) 本青年部の会員は、浜松商工会議所の会員事業所の経営者及びその後継者又は中堅管理者で、原則として年齢満36才以上、満45才以下の者とする。

(委員会) 本青年部の目的達成に必要な重要事項を調査研究するために、次の委員会を置く。

- (1) 政策研究委員会
- (2) 研修委員会
- (3) 受託事業委員会

3月

- | | | | | |
|--|---|--|---|--|
| <p>25日 役員会</p> <p>(2) 昭和61年度事業計画について</p> | <p>20日 研修委員会</p> <p>(1) 青年部活動状況について</p> <p>(2) 昭和61年度事業計画について</p> | <p>18日 政策研究委員会</p> <p>(1) 昭和61年度事業計画について</p> <p>(2) 例会日の決定について</p> | <p>13日 受託事業委員会</p> <p>(1) 浜松まつりについて</p> <p>(2) 小委員会の編成と事業活動について</p> | <p>26日 研修委員会</p> <p>(1) 各委員会の開催状況について</p> <p>(2) 今後の事業活動について</p> |
|--|---|--|---|--|

【浜松商工会議所青年部発起人名簿】

氏 名	年齢	事業所名			
明石 為晴	36	明石石油(株)	高橋 節行	39	(株)タキスポーツプロジェクト
伊藤 雅章	40	(株)イトーシンミュージック	田代 幸三	41	(株)東海トラベル
岩山 康志	39	日本楽器製造(株)	高山 博	41	本田技研工業(株)
氏原 昭雄	39	(株)松菱	中野東亜治	41	遠州鉄道(株)
小笠原昇一	37	小笠原マル昇(株)	中村 信吾	38	中村建設(株)
小田 晋也	44	(株)静岡銀行	中山 正邦	44	浜松倉庫(株)
金山 浩敏	41	(株)名塚製作所	沼田 佳之	44	フジタケ浜松(株)
久野 隆久	37	ポーラ浜松販売(株)	初澤 明博	41	(株)ハマネツ
久野 富男	36	(株)タクシー広告	穂坂 正儀	40	(株)ハナ清
佐々木雄三	43	第一建材(株)	松下 郁夫	37	(株)西武百貨店
佐藤 利弘	38	鈴木精工(株)	松島 邦保	42	三立製菓(株)
佐藤喜久夫	38	加茂江屋	宮木 勝茂	40	(有)宮木鉄工所
鈴木 一久	36	鈴春工業(株)	村松 稔久	39	(株)村松製作所
鈴木 泰博	37	(株)鈴木組	村松 俊彦	37	(株)呉樂屋
鈴木 康之	42	丸正(株)	山本 晃正	39	内山隆司税理士事務所
鈴木美佐男	38	浜松信用金庫	山本 孝美	44	(資)自笑亭
昔農 健司	43	(株)河合楽器製作所	山口 次郎	44	鈴木自動車工業(株)

(年齢は設立時)

浜松商工会議所青年部役員

【部 長】

中山 正邦・浜松倉庫(株)・社長

【副部長】

沼田 佳之・フジタケ浜松(株)・常務

伊藤 雅章・(株)イトーシンミュージック・専務

中村 信吾・中村建設(株)・社長

【幹 事】

＝政策研究委員会委員長＝

穂坂 正儀・(株)ハナ清・常務

＝政策研究委員会副委員長＝

松島 邦保・三立製菓(株)・社長

＝研修委員会委員長＝

鈴木 一久・鈴春工業(株)・専務

＝研修委員会副委員長＝

昔農 健司・(株)河合楽器製作所・課長

＝受託事業委員会委員長＝

高橋 節行・(株)タキスポーツプロジェクト・社長

＝受託事業委員会副委員長＝

久野 隆久・ポーラ浜松販売(株)・部長

【監 事】

佐々木雄三・第一建材(株)・社長

鈴木 康之・丸正(株)・社長

主な事業

S.61年		S.60年	
2月	1月	12月	
25 26日	28日	16日	13日
第3回青年部中央研修会に参加(東京)	役員会	受託事業委員会	会員総会
(1)商工会議所組織、事業運営について	(1)各委員会の開催状況について	(1)小委員会の編成について	(1)役員を選任
(2)小委員会の編成と事業活動について	(2)青年部運営方針について	(2)今後の運営方針について	(2)会費額および払い込み方法について
(3)例会日の決定について	(3)当面する事業活動について	(3)今後の運営方針について	(3)昭和60年度事業計画について
24日	20日	17日	記念講演会
政策研究委員会	研修委員会	役員会	「経済のソフト化、サービス化とニュービジネス時代」
(1)商工会議所組織、事業運営について	(1)委員会の編成について	今後の運営方針について	講師 通商産業省産業政策局
(2)小委員会の編成と事業活動について	(2)今後の運営方針について	17日 研修委員会	サービス産業官 菅野利徳氏
(3)例会日の決定について	(3)当面する事業活動について	17日 役員会	
21日	20日	16日	
受託事業委員会	役員会	受託事業委員会	
(1)商工会議所組織、事業運営について	(1)各委員会の開催状況について	(1)小委員会の編成について	
(2)小委員会の編成と事業活動について	(2)青年部運営方針について	(2)今後の運営方針について	
(3)例会日の決定について	(3)当面する事業活動について	(3)今後の運営方針について	

1986 (昭和61) 年度



部長
中山正邦

創立20周年おめでとうございます。
…もう20年たちましたか？…光陰矢の如しとは、よくぞ言ったものであったという間に時間がたちましたが、設立総会の事は昨日のように今でもはっきり記憶の中にあります。

昭和60年夏頃より、青年部設立の動きが出て、規約、会員募集等様々な問題を検討し、設立総会を12月13

日に定め、会員募集に入ったが市内には複数の有力な青年経済団体があり、バランスをとりながら慎重に進め、最終的には150名の会員で、盛大に式典を開催し活動が始まりました。

手探り状態のところもありましたが、政策研究、研修、受託事業の三委員を置き、親睦にも心がけ、次代を担う会議所会員を求めつつ、地域に対しても充分認められる青年部らしい活動を心がけました。

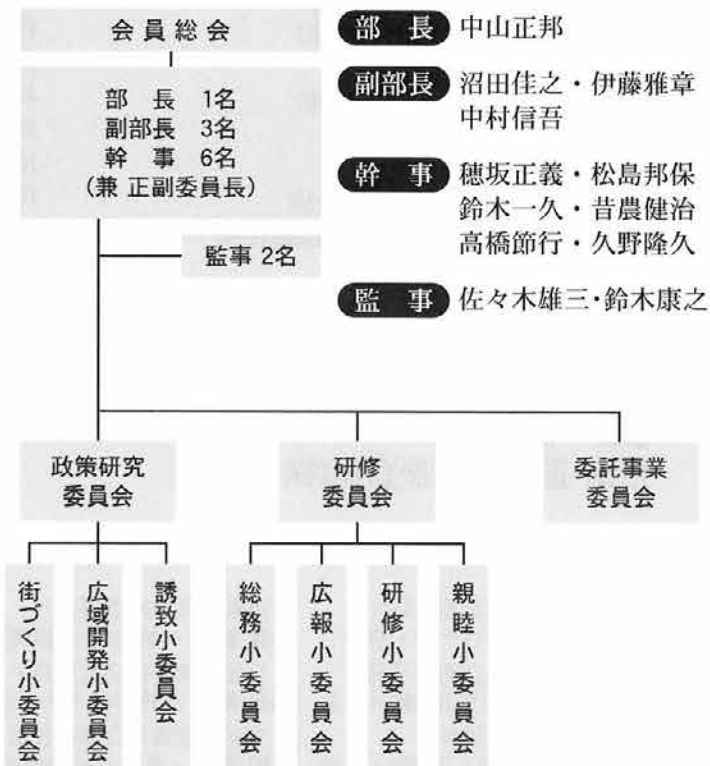
この20年間で青年部は立派な団体として行政にも信頼され、なくてはならぬ存在となり、青年部OBも会議所役員として、新しい浜松商工会議所を支える柱に成長し、大変たのもしく思っております。

…まだ20年です、今後とも時代に即応した活動を期待しております…

昭和61年度役員

昭和61年度

浜松商工会議所 青年部組織図



S.62年

3月

2月

1月

12月

11月

10月

13日 浜松・川崎テレビ会議(フレスタービル)
テーマ「21世紀を招く未来型中小企業」

23日 税制特別講演会「産業構造の転換と企業ダイナミズム」
講師 野村総合研究所室長 木野比佐司氏
公認会計士 福田勉氏

17日 経営者実践講座「パソコンセミナー」(OA牧場)
講師 (株)クリエイティブハンズ 森田和雄氏

14日 新年会員懇談会

12日 新春経営セミナー「国際化、情報化のなかの浜松」
講師 東京大学名誉教授 林 周二氏
浜松ホトニクス(株)社長 晝馬輝夫氏

5日 沼津商工会議所青年部との交流研修会(沼津市)
(1) ㈱ヌマツベーカー 本社工場 見学研修
(2) 沼津商工会議所青年部との交流

25日 正副会頭との懇談会
加藤輝隆・斎藤和雄副会頭・中村雄次副会頭

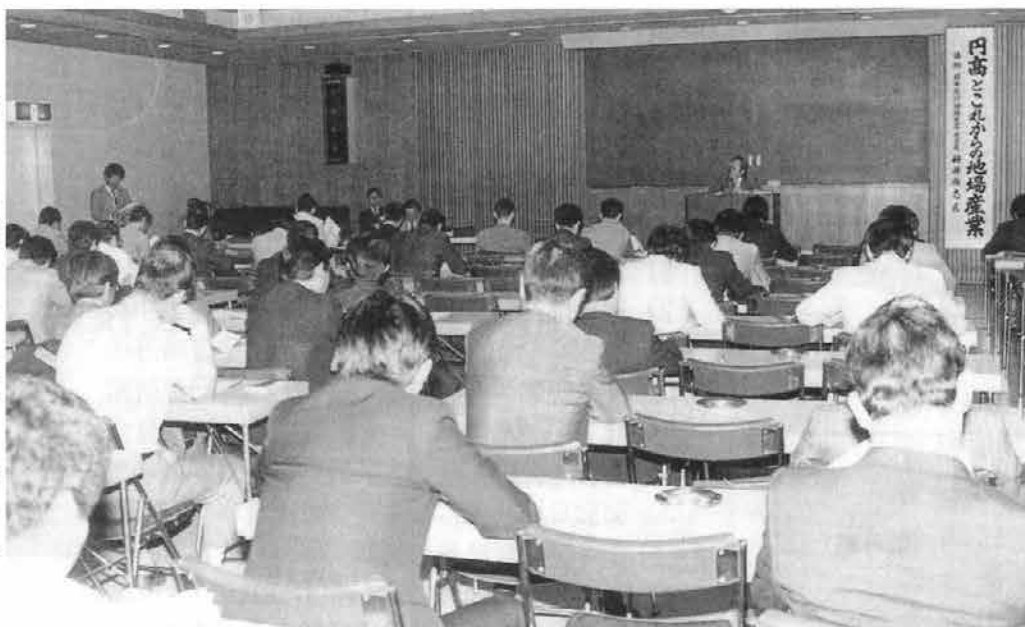
20日 講演会「感性豊かな青年経営者となるため」
講師 ライフデザインオフィス代表 岡島隆子氏

17日 19日 商青連会員総会(第5回)(福島市)
パネルディスカッション
テーマ「日本の新たな進路を求めて」

▶ 会員総会及び 記念講演会

青年部通常会員総会が4月28日午後2時から同所6階ホールで開催され、昭和60年度事業報告・収支決算、昭和61年度事業計画・収支予算および役員留任など、議事はすべて承認されました。

総会終了後は、日本銀行静岡支店長・榎井尚志氏による記念講演会が行われました。



▶ 新春経営セミナー

2月12日に商工会議所6階ホールにて、東京大学名誉教授・林周二氏、浜松ホトニクス(株)社長・晝馬輝夫氏による講演会「国際化・情報化のなかの浜松」が開催され、変化の時代を乗り切る企業経営のあり方について講演されました。

'87 新春経営セミナー 国際化・情報化のなかの浜松

主催 浜松商工会議所・読売新聞社 後援 静岡県・浜松市・静岡第一テレビ



▶ 税制特別講演会

2月23日に商工会議所6階ホールにて、野村総合研究室長・木野比佐司氏、公認会計士・福田勉氏による講演会「産業構造の転換と企業のダイナミズム」が開催された。



S.61年

9月

5月

4月

主な事業

28日 会員総会

(1) 昭和60年度事業報告(案)について

(2) 昭和60年度収支決算報告(案)について

(3) 昭和60年度監査結果報告

(4) 役員改選について

(5) 昭和61年度事業計画(案)審議について

(6) 昭和61年度収支予算(案)審議について

(7) 新役員の紹介

記念講演会

テーマ「円高とこれからの地場産業」

講師 日本銀行静岡支店 支店長

榎井尚志氏

14日 関東ブロック商工会議所青年部代表者会議

(上尾市)

23日 正副会頭との懇談会

河合滋会頭・加藤輝隆副会頭

19日・20日 関東ブロック商工会議所青年部運営

研究会「上尾大会」

分科会 統一テーマ「わが町の新時代と

青年部の役割」

記念講演「青年経営者に期待する」

講師 高橋商事(株)社長 高橋福八氏

1987 (昭和62) 年度



部長
沼田佳之

青年部が設立された3年目のこの年は、何ととっても全国大会の誘致活動に情熱を傾けた一年でした。設立早々の単会が全国大会を開催するという事で、まず商青連に役員

を出して情報収集をするということ、全国大会の前に関東ブロック大会を開くこと、県連を組織することが先決であることがわかりました。青年部設立以来、短期間での全国大会開催準備に於いての面白いエピソードは沢山あります。

そのほか、政令指定都市、静岡空港問題等を討論するため早朝理事会(朝6時)を開きました。当時の委員長、事務局の皆様方のご協力には感謝いたします。加えて、他団体の方々を招いての懇親会や講演会も積極的に行いました。また青年部内の広報誌で、平成5年度に商青連の広報企画で特別賞を受賞した「NEXT」創刊の年でもあります。このように様々な活動に積極的に挑戦できましたのも中山初代部長に商工会議所内で青年部の位置づけをきちんと形成していただき、親会からご理解、ご指導が得られた事は、当時の正副会頭、専務理事以下の職員の方々が一丸となって青年部の育成に熱意を持っていたいただいたお陰であります。

これからも若者らしく積極的に行動し、柔軟な頭脳を活かし、知恵を出し合い将来の商工会議所の担い手として研鑽を積んでいただきたいと心から願っています。

昭和62年度役員

昭和62年度
浜松商工会議所 青年部組織図

会員 総会

部長 1名
副部長 4名
幹事 11名
(兼 正副委員長)

相談役 1名

監事 2名

部長 沼田佳之

副部長 伊藤雅章・中村信吾
山本陽一郎・松島邦保

幹事 杉浦康夫・久野富男
神谷竹彦・小山幸裕
神谷守昭・水野 博
曾根原今朝敏・鈴木悦夫
山本晃正・坪井保博
原田道子

監事 田代幸三・山内秀武

相談役 中山正邦

政策研究
委員会

研修
委員会

事業
委員会

会員交流
委員会

総務
委員会

街づくり事業分科会

広域事業分科会

誘致事業分科会

ニュービジネスグループ

アジアNICSグループ

コンベンション問題小委員会

情報問題小委員会

S.63年

3月

2月

1月

11月

10月

9月

10日 講演会「中部経済圏からみた浜松の魅力」

講師 中部ガス(株)社長
神野信郎氏

7日・13日 タイ・シンガポール実情視察会

14日 新年懇談会

25日 第2回親睦ゴルフ大会

25日 河本県商工部長との懇談会

18日 浜松秋まつり参画

24日・25日 金沢コンベンションビューロー

視察会

白柳昇二氏



▲シンガポール実情視察会(2月7日～13日)

アジアNICS現地視察として、タイ、シンガポールの現地企業などを訪問。



▲通常総会(4月23日)

記念講演「今、若手経営者は何をすべきか」
長谷川肇氏

▶ 斉藤県知事との懇談会(6月22日)

「県立音楽堂について」と題して、当青年部・青年会議所・経済クラブ3団体共催で行い、会場いっぱいの参加者でした。

NEXT創刊の年でした。



S.62年

8月

7月

6月

5月

4月

3日 講演会

テーマ「諸外国の音楽堂の状況と
県立音楽堂」
講師 財浜松交響楽団常務理事

23日 ビアパーティー

講師 日本ローラースケート連盟会長
野口嘉郎氏

16日 講演会

テーマ「ローラースケート世界大会の
全容と誘致」

22日 斉藤県知事との懇談会

4日 浜松まつり おまつり広場参画

講師 同根会代表 長谷川肇氏
テーマ「今、若手経営者は何をすべきか」

講演会

(7) 定年退会者への感謝状・記念品授与

(6) 新会員紹介

(5) 委員会所属の件

(4) 役員改選の件

(3) 規則改正の件

審議の件

(2) 昭和62年度事業計画(案)・収支予算(案)

承認の件

(1) 昭和61年度事業報告、収支決算報告

23日 通常会員総会

主な事業

1988 (昭和63) 年度

「おめでとう…！創立20周年」



部長
伊藤 雅章

ある部屋のドアがノックされた。青年部の幕開けである。「伊藤ちゃん…！ちょっと相談に乗ってくんないかな…？」故渡辺茂男専務理事の姿がそこにあった。青年部発足一年前のことだった。当時は「浜松経済クラブ」が青年部の役割を担っていた。各地で商工会議所青年部なるものが産

声をあげはじめていることに、専務は時の流れを敏感に感じ取っていたようだ…。当時の浜松は、青年経済団体の交流は皆無といってもいい状況だった。これからの浜松を担うべき青年達が、意味もなくライバル視している場合ではなかった。自らの意見を述べ、共に行動をしなければ地域の発展はあり得ない…。そんな崇高な祈りを込めて青年部は誕生した。創立3年目にして、「関東ブロック大会」を主管。そして5年目には、悲願の「全国大会」を開催するに至った。我が浜松のパワーはそれほどまでに凄まじかった…！関東はもとより、国内屈指の青年部に成長した今日、くしくも、12市町村の合併を果たした記念すべき年に、創立20周年を祝福できることは、二重の喜びである。新市発展をさらに揺るぎないものと、今後の活躍を期待したい。

昭和63年度役員

昭和63年度
浜松商工会議所 青年部組織図



- 部 長** 伊藤雅章
- 副部長** 中村信吾・山本陽一郎・山本晃正
高橋節行・久野富男
- 幹 事** 神谷竹彦・金原利明・坂口彰利・山内秀武
神谷守昭・佐藤利弘・沼田 司・水野 博
小山幸裕・鈴木一久・鈴木泰博・李谷 昉
田代幸三・村上富雄・久野隆久・曾根原今朝敏
坪井保博・原田道子
- 監 事** 松島邦保・伊藤 孝
- 顧 問** 中山正邦・沼田佳之

H.元年

2月

- 20日 ヘリポート講演会
テーマ「限られた陸上交通への挑戦」
講師 ㈱地域航空総合研究所
取締役 船見登氏
- 17日 消費税講習会浜松
講師 ㈱小林クリエティブ
コンサルティング
代表取締役 小林正樹氏
- 15日 政令指定都市パネルディスカッション
テーマ「浜松地域のまちづくりと
政令指定都市について」

1月

- 19日 臨時会員総会
(1)平成元年度役員選任の件
(2)平成元年度所属委員会の件
新年懇談会

12月

- 22日 関東ブロック浜松大会最終実行委員会
全国大会参加報告会

11月

- 29日 三遠南信トライアングル構想及びHIT
構想に関する4地区合同パネル
ディスカッション
テーマ「浜松地域のまちづくりと
政令指定都市について」
- 17日 第3回親睦ゴルフ大会
18日 第8回商工会議所青年部全国大会
「山口大会」

10月

- 6日 関東ブロック浜松大会反省会
- 参加者数 参加・登録者数 721名
(関東ブロック1都8県61会議所)
来賓83名
〔統一スローガン〕
「創ろうふるさと21世紀への礎」

関東ブロック大会「浜松大会」 9月16日・17日 開催



▲開会挨拶



▲三遠南信トライアングル構想
及びHIT構想に関する4地区
合同パネルディスカッション
(11月29日)

【テーマ】「広域から見たトライアング
ル構想を考える」



▲市長との懇談会
(7月4日)

▶飯田地区との交流会
(7月9日～10日)

開催準備のため委員会別スケジュールは万全！

期日	4月	5月	6月	7月	8月	9月
委員会別スケジュール	開催準備委員会 開催準備委員会 開催準備委員会	開催準備委員会 開催準備委員会 開催準備委員会	開催準備委員会 開催準備委員会 開催準備委員会	開催準備委員会 開催準備委員会 開催準備委員会	開催準備委員会 開催準備委員会 開催準備委員会	開催準備委員会 開催準備委員会 開催準備委員会

▶7月8日付
中日新聞掲載



S.63年

9月

7月

5月

4月

主な事業

14日 通常会員総会

(1) 昭和62年度事業報告、収支決算報告

承認の件

(2) 規則改正の件

(3) 役員改選の件

(4) 組織並びに所属委員会の件

(5) 関東ブロック浜松大会実行委員会組織
・所属部会の件

(6) 関東ブロック浜松大会全員登録の件

(7) 会費額改正の件

(8) 昭和63年度事業計画(案)、収支予算(案)
審議の件

(9) 関東ブロック浜松大会事業計画(案)、
収支予算(案)審議の件

(10) 新会員の紹介

(11) 定年退会者への感謝状・記念品授与
講演会

テーマ「無から」

講師 臨済宗方広寺派管長

荒金天倫老大師

講演会

テーマ「無から」

講師 臨済宗方広寺派管長

荒金天倫老大師

講演会

4日・5日 浜松まつり おまつり広場参画

9日・10日 飯田地区との交流会

11日 ビアパーティー・

関東ブロック浜松大会決起大会

15日 関東ブロック浜松大会リハーサル

16日・17日 第8回商工会議所青年部

関東ブロック運営研究会

「浜松大会」

会場 グランドホテル浜松 他

1989 (平成元) 年度



部長
山本晃正

浜松商工会議所青年部20周年、おめでとうございます。私たちを取り巻く諸環境がダイナミックに変動する中において、青年部が果たしてきた役割は大なるものがありました。情報が氾濫する今日、その情報により「誤った判断」をする場合、逆にその情報により「正しい判断」が出来た等、様々な状況が生じています。企業経営に重要な係わりを持つ会員の皆様には、スピードある「判断」「行動」「確認」を求められています。

このとき重要な役割を果たしてくれるのは会員である友人です。孤独になりがちな皆さんの力強い相談相手であり、一人では不足気味の経験を大勢の知恵を借りる事により問題解決の糸口にもなります。

今、人から人への気持ち、考えている事等を上手に伝える事が出来なく誤解や反感を生む、これはもっと「顔」と「顔」を合わせ、「家庭」でも「社会」でも会話をする必要があります。

どうしたら相手に理解してもらえるか、その為には何が必要か、「交渉力」「説得力」を増す豊かな言葉覚えることが必要です。

私の現役当時には実に多くの時間を青年部活動に費やし、又それが出来る環境に在りました。翌年に全国大会を控え、打合せに朝6時過ぎからの早朝会議、夜遅くまで飲みながらの会議、実に楽しい時間を共有し仲間達と過ごしました。

そのお陰で青年部卒業後も現役当時以上に深い係わりを持っています。又、全国のOB会員と年賀状の交換等、今日も交流が継続しています。

青年部からは多くの目に見えない「財産」を得させて頂き感謝の気持ちで一杯です。

今後の青年部はやっぱり「明るく」「愉快地」「元氣よく」ですよ！！

H2年

平成元年度役員

平成元年度
浜松商工会議所 青年部組織図



部 長 山本晃正

副部長 伊藤 孝・神谷竹彦・久野隆久
久野富男・高橋節行

幹 事 佐藤利弘・鈴木一久・須山泰造・前嶋文明
佐藤喜久夫・曾根原今朝敏・原田道子・松本好司
沼田 司・坂口彰利・中村伸夫・村上富雄
鈴木悦夫・笠原専一・金山浩敏・近藤良夫
神谷守昭・石野美恵子・小山幸裕・李谷 昉
水野 博・田代幸三・坪井保博・松島民治

監 事 伊藤雅章・中村信吾

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎

2月

15日 講演会
10日 ゴルフ体験セミナー
委員会対抗ゴルフコンペ

1月

26日 臨時会員総会
19日 平成2年度役員選任の件
(2)平成2年度所属委員会の件
新年懇談会
役員会当市で開催につき協力
19日 全国商工会議所青年部連合会移動

11月

10日 委員会対抗マージャン大会
16日 18日 青年部第9回全国大会
「高知大会」に参加

10月

29日 浜松秋まつり吹奏楽パレード及び阿波おどりの交通警備に参画

9月

2日 3日 潜在能力開発セミナー
8日 9日 青年部第9回関東ブロック運営研究会
「桐生大会」に参加
15日 委員会対抗ゴルフコンペ

8月

2日 講演会
テーマ「地方イベントと都市開発について」
講師 (株)電通都市開発センター
都市計画部 部長 川本直彦氏

7月

15日 16日 ウィンドサーフィン体験セミナー
19日 会員ディスコパーティー
27日 パークリーインジャパン屋外コンサート
に参画



◀ 館山寺にてウィンドサーフィン体験セミナー
(7月15日～16日)

▶ 潜在能力開発
セミナー
(9月2日～3日)



◀ 委員会対抗
ゴルフ大会
(9月15日)

体験セミナー = 第3弾 =

主催：浜松商工会議所青年部研修委員会

初心者ゴルフ教育開講

- ・ゴルフの経験がない方
- ・ゴルフが好きな方
- ・ゴルフこそ我が人生と思っている方

みんな集まれ～
当委員会のシングルプレーヤーに
よる実指導。
初めての方は大歓迎！



◆開講日時 平成2年2月10日(土)

◆お申込み 所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ、お申込みください。
尚、参加会費は当日徴収させていただきます。

〔申込先〕 浜松商工会議所工業課 担当：立石哲康
TEL 452-1115 内線32 FAX 452-6685

【体験セミナーメモ】

～充実したコーチングスタッフ～

当セミナー開講にあたり、佐竹康次先生と岡俊治先生をお招きすることができました。優しい指導のもとで楽しんでいただけます。

～参加者全員に素晴らしい賞品～

参加された皆さんにはもちろん素晴らしい賞品を用意しております。奮ってご参加ください。



▲ 委員会対抗
マージャン大会(11月10日)

H.元年

5月

4月

4日・5日 浜松まつり広場部吹奏楽パレードの
交通警備に参画

講師 浜松市保健所所長
平出光氏

記念講演会

テーマ「私の体験からの健康管理」

(7) 卒業生への感謝状及び記念品の贈呈

(6) 新会員の紹介

(5) 平成元年度事業計画案、収支予算
案審議の件

(4) 青年部組織並びに所属委員会の件

(3) 役員選任の件

(2) 青年部規則一部改正の件

(1) 昭和63年度事業報告、収支決算
承認の件

27日 通常会員総会

主な事業



▲ 第9回全国大会
高知大会(11月16日～18日)
青年部第9回全国大会参加
“次年度浜松大会を大いにPR”

1990 (平成2) 年度



部長
神谷 竹彦

もう20年も経つのかとYEGに打ち込んできた年月をしみじみと思い出しています。青年団体での活動経験がなかったので、会う仲間や取

り組む課題が新鮮で意欲的に出席していた日々。テクノポリス、音楽堂、政令指定都市などの政策提言を通じて地域でどう生きるかと議論していた日々。関東ブロック大会での司会役などなど。全国大会では大会会長を務めさせて頂いた訳ですが、多くの方々に支えられ今でも全国の仲間語り継がれる素晴らしい大会で、やりがいはあったけれども苦労の連続。水野実行委員長、山本直前会長との三人四脚が忘れられません。それからの商青連会長と続くYEG経験は私の経営者として、人間としてのあり方生き方に大きな影響をもたらしてくれました。

YEGの綱領、指針、歌『伸びゆく大地』は実に良く出来たもので私のYEGバイブルでした。この20年間浜松YEGは着々と充実した活動を続けてきましたが、これらの基本をいつも見失わないようにこれからも頑張ってください。

平成2年度役員

平成2年度
浜松商工会議所 青年部組織図



部 長 神谷竹彦

副部長 伊藤 孝・久野富男・佐藤利弘
沼田 司・水野 博

幹 事 松本好司・小野江隆・小山幸裕・富川光弘
中村伸夫・村上富雄・岡 俊治・木山久年
竹田良雄・山下美明・前嶋文明・池谷貞悟
内山修一・宇津山茂・鈴木一久・笠原専一
金山浩敏・金子美恵・田代幸三・戸塚文子
坪井保博・近藤良夫・鈴木利幸・中村紘八
宮地あや子・和出芳明

監 事 神谷守昭・高橋節行・山本晃正

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章

H.3年

3月

2月

1月

12月

25日 浜名湖地域産業・レジャー施設視察会
(浜名湖競艇事業団・アスモ(株)豊橋工場訪問)

17日・18日 長野県産業観光事情視察会
(富士通長野工場など視察)

25日 臨時会員総会
(1)平成3年度役員選任の件
(2)平成3年度所属委員会の件
新年懇談会

5日 青年部全国大会打ち上げ忘年会

29日 中部航空音楽隊メモリアルコンサート
『翔け世界 新しい時代の開拓者』
バイオリン

来賓 77名

全国大会in浜松



▲第10回全国大会 浜松大会(11月16日～17日)



▲会場案内看板



▲記念講演「パワーシフト」
アルビン・トフラー氏(11月17日)
政治、経済を中心とした国際社会の展望
を熱っぽく語る。

▶長野県産業観光
事情視察会
(2月17日～18日)



◀浜名湖地域産業・
レジャー施設視察会
(3月25日)



H2年

11月

9月

8月

5月

4月

主な事業

25日 通常会員総会

- (1) 平成元年度事業報告・収支決算承認の件
- (2) 青年部規則一部改正の件
- (3) 平成2年度青年部組織並びに所属委員会の件

- (4) 青年部全国大会実行委員会組織の件
- (5) 平成2年度事業計画(案)収支予算(案)審議の件

- (6) 青年部全国大会事業計画(案)・収支予算(案)審議の件

- (7) 青年部全国大会特別会費負担の件

- (8) 新会員の紹介

- (9) 卒業生への記念品贈呈

記念講演会

テーマ「アルビン・トフラー氏の素顔」
講師 NHKエンタープライズ企画本部
部長マネージャー 坂谷駿一氏

4日 浜松まつりおまつり広場部
吹奏楽パレードの交通警備に参画

3日 青年部全国大会総決起大会

7日 青年部第10回関東ブロック運営研究会
「大宮大会」に参画

16日・17日 第10回商工会議所青年部全国大会
「浜松大会」

会場：グラントホテル浜松
参加者数：参加・登録者数2,513名
(参加青年部数247青年部)

1991 (平成3) 年度



部長
伊藤 孝

この年は、YEG
全国大会が当地浜
松で開催された翌
年でありました。
部長に就任するに
あたって、新たに
何を求心力として
次なる十年に向か
っての心構えとす

るか、といささか悩みました。

そうだ、「出会いの場」を創り出そう、メン
バーたちが共に集まる機会を提供しよう、
そう考えました。

松江市で開催されたその年の全国大会
では、神谷竹彦氏が次年度会長に指名され
ておりました。新入会員を中心に「皆で松
江へ行こう」と声をかけました。多くの仲
間(無理やりかな?)が参画してくれました。
楽しかったです。

その後、平成3年に入会された方々から、
何人もの会長が誕生いたしました。私にと
っての喜びであり、誇りでもあります。

事業については、副部長をはじめ、優秀
なスタッフが実践してくださったので、あ
まり覚えてはおりませんが、シンポジウム「県
西部100万都市圏を目指して」では、将来
の地域への提言がいささかなりとも出来、
現在の浜松政令都市実現の発端となった
と自負いたしております。

仲間っていつになってもいいですね。

平成3年度役員

平成3年度
浜松商工会議所 青年部組織図



部 長 伊藤 孝

副部長 小楠倫嗣・小野江隆・久野富男
前嶋文明・村上富雄

幹 事 池谷貞悟・渥美 彰・池田敏春・内山修一
福山 亨・中村伸夫・荒川 明・長田雄三
鈴木利幸・和田宅矛・坂口彰利・近藤良夫
鈴木清隆・鈴木健一・山下美明・岡 俊治
河原崎博・竹田良雄・穂坂吉子・山下正義
須山泰造・小山幸裕・鈴木幹夫・宮地あやこ
山内辰彦

監 事 神谷竹彦・水野 博・山本晃正

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章

H.4年

3月

2月

12月

16日 全国商工会議所青年部連合会会長
(平成4年度)
神谷竹彦氏「激励の夕べ」

21日 第4回全体例会
テーマ「オーークラアクトシティ
ホテル浜松の運営方針」
講師 オークラアクトシティホテル浜松
総支配人 坂橋宣威氏

6日 シンポジウム「県西部100万都市圏を
めざして」
「創ろう浜松、新世紀」
パネラー 浜松市長 栗原勝氏
基調講演「新世紀都市圏構想について」
浜松ホトニクス㈱代表取締役
晝馬輝夫氏

と課題
(2) 政令指定都市後の感想と政策課題
(3) 浜松の開発と街づくりの状況
(4) 広島から見た浜松のイメージ



▲第1回全体例会
(5月23日)
第一勧業銀行浜松支店長
神田紘爾氏(小椋佳氏)講演。



▲第2回全体例会と講演(7月31日)
アクトシティ計画の概要、浜松市の特色と
将来性、とりわけ音楽イベントへの期待な
どについて講演。



▲第3回全体例会(10月7日)
テーマ「学校医として最近気がか
りなこと」岡本小児科医院 岡本敏
子院長が講演。

▼政令指定都市に関する研究・訪問
(広島市役所11月14日)
広島市を訪問し、行政サイドの本音、
現状の苦労話など「政令指定都市」
に関する懇談会を行う。



◀心身リフレッシュセミナー
(長野県9月28日～29日)
いり火を囲んで田舎料理と地
酒に舌鼓のリフレッシュセミナ
ーでした。



**▶県西部100万都市圏
シンポジウム**
(12月6日)
浜松市を中心とした
広域的な都市機能の
在り方を探るシンポ
ジウムを開催。



H.3年

11月

10月

9月

7月

5月

4月

14日 政令指定都市に関する懇談会
(広島市役所)
(1)「政令指定都市」実現化のプロセス

7日 第3回全体例会
テーマ「学校医として最近気がかりなこと」
外国人女子の識字教育と健康
管理上の配慮について
講師 岡本小児科医院 院長
岡本敏子氏

28日・29日 第1回心身リフレッシュセミナー
(長野県浪合村)

31日 第2回全体例会
テーマ「アクトシティと浜松」
講師 (株)アクトシティコーポレーション
取締役社長 中川亨英氏

22日 名古屋商工会議所若鯨会との交流会、
懇談会
23日 政令指定都市に関する勉強会
講師 仙台市開発局計画部長
村上茂氏

23日 第1回全体例会
テーマ「浜松の第一印象と将来について」
講師 第一勧業銀行浜松支店長
神田紘爾氏(小椋佳氏)

9日 会員全体会議
「政令指定都市に関する勉強会」
26日 通常会員総会・記念講演
テーマ「活力ある組織づくりと青年部
の役割」
講師 法政大学経営学部教授
川喜多喬氏

主な事業

1992 (平成4) 年度



会長
久野 富男

会長という名の初代に当たります。また同時期に静岡県連会長として県連の拡充さらに商青連監事として出向、商青連会長神谷竹彦君輩出の単会等、多忙の中にも充実した一年を送ることが出来ました。

全国大会の翌々年に当たり、各地区YEGにお邪魔すると必ず「浜松ですか、アルビントフラーを見ました、本も買いました。」と気軽に声を掛けてもらいました。

また、浜松YEGの自慢は、親会(浜松商工会議所)に正式認知され、しかもオブザーバーとは言え常議員会に出席出来、事務局は会議所の職員が全部引受けてくれている等、全国YEGの中では群を抜いて恵まれた環境に在りました。それは今も変わらないと思います。

青年部の設立趣意には、親会の活性化と親会で議員や常議員の任に当たるような時期が到来した時、スムーズな移行と活躍が出来ることだと思います。

平成4年度役員

平成4年度
浜松商工会議所 青年部組織図



- 会 長** 久野富男
- 副会長** 小野江隆・前嶋文明・村上富雄
中村伸夫・鈴木一久
- 理 事** 鈴木健一・宮地あや子・須山泰造・中村恭司
名倉哲郎・長田雄三・内田幸一・穂坂吉子
鈴木幹夫・和田宅茅・池谷貞悟・河村正隆
山内辰彦・中村次郎・渡辺賢治・山下正義
花島隆是・小桐正彦・大石晴久・内山悦二
荒川 明・夏目貴夫・近藤良夫・高井邦江
神谷賀生
- 監 事** 神谷竹彦・伊藤 孝
- 顧 問** 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎
伊藤雅章・山本晃正・水野 博

H.5年

2月

- 4日 愛知県内産業ならびに港湾施設視察
18日 第4回全体例会・健康管理講演会
「ボケやすい人は、40代の生活に問題がある」
講師 医学博士 志賀貢氏

11月

- 11日 福祉問題研究懇談会
「高齢化社会と福祉都市のあり方」
講師 日本福祉大学 助教授
沢田清方氏

10月

- 4日 浜松秋まつり協賛イベント
「ビートルズナンバー特別コンサート」
8日・9日 視察会
「新交通システムと都市開発」(東京都)
「文化施設と都市景観」(横浜市)
16日・17日 視察会
「吉備高原都市の開発と経緯」(岡山市)
21日 第3回全体例会
21世紀型企業 conditions
「これから求められる企業戦略」
講師 常葉学園浜松大学 助教授
坂本光司氏

9月

- 21日 第2回全体例会(公開例会)
第1部「CATVの今までとこれから」
エル・シー・ブイ(株)
代表取締役社長 山田武志氏
第2部「浜松のCATV計画」
浜松ケーブル企画(株)
総務部長 小塚静男氏



◀ 第1回例会(5月28日)
講演 ～世界はこう変わる～
「東西文明800年周期交代の法則」
林講師は「商工会議所は志士の集団たれ！
世間の無責任な批判を恐れず、歴史が評価
してくれる大事業を成せ！」と呼びかけま
した。



▲ ディスコパーティー(6月12日)
100名が参加。ディスコダンスの指導あり、
ビンゴありの楽しい交流の場になりました。

▼ 心身リフレッシュセミナー

(長野県7月25日～26日)

下伊那郡浪合村の青年団と交流。「華道」の習得など
通常の例会では得られない成果もありました。



▶ 運輸省訪問
(10月8日～9日)
“夢の街づくり”を
テーマに「2020年
の旅」提言書策定
のため運輸省幹部、
国会議員と対談し
ました。



H.4年

7月

6月

5月

4月

29日 航空自衛隊浜松基地指令講演会
「世界情勢雑感」
講師 航空自衛隊浜松基地指令 空将補
平岡祐治氏

25日、26日 心身リフレッシュセミナー
(長野県浪合村：トンキラ農園)

12日 会員親睦ディスコパーティー

28日 第1回全体例会
世界はこう変わる
「東西文明800年周期交代の法則」
講師 文明法則研究所 所長
林英臣氏

24日 通常会員総会

主な事業



▲ キリン横浜
ビアビレッジ訪問
(10月8日～9日)

1993 (平成5) 年度



会長
鈴木 一久

二十周年おめでとうございます。

更なる飛躍を

ご期待申し上げます。

平成5年度役員

平成5年度
浜松商工会議所 青年部組織図



会長 鈴木一久

副会長 前嶋文明・荒川 明・池谷貞悟
中村伸夫・村上富雄

理事 渡辺賢治・鈴木健一・須山泰造・竹内孝夫
頼母木孝・神谷賀生・榎本雅之・新村廣勝
鈴木貞男・守田泰男・小山幸裕・大石泰亮
高部三司・西尾和三・山崎利吉・長田雄三
鈴木利幸・中村恭司・中村源一郎・穂坂吉子
山下正義・小桐正彦・鈴木 巧・高井邦江
宮地益実

監事 伊藤 孝・久野富男

顧問 中村正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野博・神谷竹彦

H.6年

2月

12月

11月

10月

18日 第4回全体例会(公開例会)

テーマ「日本経済のゆくえ」
講師 参議院議員 野末陳平氏

3日・4日 事業研究視察会(豊橋市・飯田市)
拠点都市指定地視察

20日・21日 第3回全体例会(一泊全体研修会)

ハイタッチリサーチパーク視察会
・積水ハウス総合住宅研修会
・東映太秦映画村
・大阪ツインタワー

22日 第2回全体例会(公開例会)

テーマ「今、外国人が増えている」
外国人労働者雇用の問題点とその背景
講師 東洋大学社会学部 助教授
喜多川豊宇氏



▲第3回全体例会(11月20日～21日)
ハイタッチリサーチパーク他視察。

◀ 京都と交流を深める

『京都お茶壺道中、来浜』(6月13日)

京都商工会議所青年部が主体となって、京都→東京間を行列する「お茶壺道中」一行が浜松入り。浜松駅前に当所青年部9名が出迎え交流を深め労をねぎらう。



◀ 浜松商工会議所創立100周年・新会館落成式典を盛大に挙行



- 1月14日 市内外の政・財・官関係者650人を招き浜松商工会議所創立100周年並びに新会館落成式典を盛大に挙行了。
- 祝賀パーティーには約100人が出席。熊谷通産相の祝辞の後「やら舞歌」の披露、漫才などで祝賀気分を盛り上げた。

H.5年

7月

6月

5月

4月

14日、15日 事業研修視察会(東京都庁・自治省)
首都機能の一部移転に関する調査
11月 手で「をキャッチコピー」に女性会員を集中的に勧誘
(15名の入会希望がありました)
6月 女性会員拡大キャンペーン
18日 会員親睦デイスコ大会
13日 京都お茶壺道中、来浜

21日 第1回全体例会

テーマ「おかねのはなし」
講師 遠州信用金庫 常務理事

山本長行氏

26日 通常会員総会

主な事業



▲ 第4回全体例会(2月18日)
野末陳平参議院議員を招いて講演会。野末先生から生々しいお話が聴けました。

1994 (平成6) 年度

「20年を振り返って」



会長
前嶋 文明

『住みよい街づくり』をキーワードに活動が続け、早いもので10年経ちました。政令指定都市を研究し、県西部百万人都市圏を考え広域的な街づくりへと発展し、昨年はどうとう国会まで持つてこようと、首都機能移転問題をテーマにシンポジウムを開催いたしました。

どんどんエスカレートして行く青年部の「街づくり」に対する情熱が、きっといつか夢ではなく現実となる日が来ると信じています。』

これは青年部創立10周年の記念誌に私が書いた挨拶文です。

そしてそれから10年。「住みよい街づくり」への我々の情熱がまた1つ夢を現実にしました。今年浜松市は近隣の市町村と共に新生浜松市として県西部百万人都市圏を目指し第1歩を踏み出しました。そしていよいよ2年後には政令指定都市になります。先輩達が築き上げた浜松YEGスピリッツを受け継ぎ、「住みよい街づくり」に向かう青年部のみなさんに期待いたします。

平成6年度役員

平成6年度
浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 前嶋文明

副会長 須山泰造・荒川 明・神谷賀生
中村伸夫・山下正義

理 事 竹内孝夫・伊藤寿英・山本英夫・中村次郎
田村享生・守田泰男・小桐正彦・野尻幸吉
頼母木孝・鈴木貞男・花島隆是・榎本雅之
木伏芳弘・鈴木 巧・鈴木和弘・鈴木利幸
安達ゆみ子・高部三司・中村源一郎・田中秀幸
大石晴久・安川晴久・堤 章郎・龍口良信
鈴木幹夫・村上富雄

監 事 伊藤 孝・久野富男・鈴木一久

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦

H.7年

3月

1月

11月

20 日 第2回全体例会

「マルチメディアとビジネスチャンス」
講師 東海電気通信管理局
無線通信部長 田中秀一氏

8日・9日 若手後継者等体験研修事業
(北陸地区体験研修)

・高松機械工業(株)
・(株)ゴールドウイン

24 日 平成6年度臨時会員総会

記念講演会「広域連合都市構想」

講師 静岡県立大学経営情報学部
教授 大坪檀氏

20 日 首都機能移転シンポジウム
「未来への選択・新首都像を語る」

《パネラー》

新首都推進懇談会

会 長 村田敬次郎氏

総合研究開発機構

理事長 星野進保氏

(株)長銀総合研究所

理事長 竹内 宏氏

(社)中部経済連合会 副会長

豊橋商工会議所 会 頭

神野信朗氏

浜松商工会議所青年部

会 長 前嶋 文明

《コーディネーター》

(株)三菱総合研究所人間環境研究センター

副センター長 平本一雄氏



▲京都YEG訪問(7月8日)

青年部の運営、規定、会員拡大、女性会員の位置づけ等テーマに訪問。

▶会員親睦「ファミリーの集い」(9月11日)

▼記念講演会「広域連合都市構想」(1月24日)

臨時会員総会の記念講演会「広域連合都市構想」が1月24日、プレ10周年事業として開催されました。講師は静岡県立大学経営情報学部教授“大坪 檀氏”



▼若手後継者等体験研修事業(11月8日～9日)



H.6年
9月 / 7月 / 5月 / 4月

- 25日 通常会員総会
- 24日 第1回全体例会
「流通業界の今後について」
講師 静岡県商工労働部 次長 吉岡徹朗氏
- 7日 心身リフレッシュセミナー
・白井(宝塚)記念会
・やしお窯(陶芸体験教室)
・ログペンションシンフォニー
- 8日 京都YEG訪問
- 11日 会員親睦「ファミリーの集い」
(浅羽町遠州灘海岸)

主な事業



▲首都機能移転シンポジウム(3月20日)

「未来への選択・新首都像を語る」

“未来への選択・新首都像を語る”をテーマとした「首都機能移転シンポジウム」が3月20日、浜松市の浜松名鉄ホテルで開かれた。

1995 (平成7) 年度

「やらまいか青年部」



会長

須山 泰造

浜松商工会議所青年部創立20周年おめでとうございます。私共の年度は10周年事業を担当させて頂き、大変お世話になり感謝しております。

10年前豊橋市・飯田市の会議所青年部と行った交流会、周辺市町村の商工会青年部を「西遠まちづくりフォーラム」とし訪問したことなど

を思い出します。今年7月市町村合併を達成し政令市を目指すこの時期、感慨深いものがあります。

これから大切なことは、天竜川、浜名湖地域のアイデンティティ「やらまいか」精神を発揮し三遠南信地域と交流することにより効率的な地域発展を目指すことです。この言葉の源は、暴れ天竜と闘い治山治水をなした金原明善翁の偉業、賀茂真淵・内山真龍先生方の国学精神、さらに遠州報徳社による勤労意欲の向上などの精神風土にあると言われております。

青年部が浜松から日本の地方改革、経済の自立を発信していきたいものです。

我が街を熱く想い、益々の青年部の活躍を期待いたします。

平成7年度役員

平成7年度

浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 須山泰造

副会長 守田泰男・花島隆是・竹内孝夫
神谷賀生・大石晴久

理 事 頼母木孝・池谷貞悟・渥美典久・林 茂男
開 嘉昭・中村源一郎・國分良恭・中川賢二
田中秀幸・木伏芳弘・伊藤寿英・清水國雄
田中紀春・井下郁夫・池谷紀幸・野尻幸吉
中本 徹・河村正隆・青山市郎・宮地あや子
高部三司・長谷川和孝・安達ゆみ子・川合博美
提 章郎

監 事 前嶋文明・荒川 明・中村伸夫

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
久野富男・鈴木一久

H.8年

3月

2月

1月

12月

11月

10月

9月

7月

- 7日 自主運営研究のため関東4 YEG 訪問 (川口、深谷、熊谷、前橋)
- 18日 講演会 「首都機能移転、私はこう考える」 スズキ(株) 取締役社長 鈴木修氏
- 28日 ビア・パーティー(顧問、OB含む)
- 8日 姫路 YEG との交流・講演会
- 9日 ファミリーの集い
- 5日 新入会員(10月入会)オリエンテーション
- 7日 8日 中心街活性化イベント開催 (浜松秋まつりへ協力)
- 13日 関東ブロック大会(静岡大会)へ参加
- 1日 三遠南信地域青年部交流会 (飯田、豊橋を訪問)
- 7日 青年部創立10周年記念式典、講演会、懇談会
- 23日 平成7年度臨時会員総会 新春賀詞交歓会
- 8日 12日 フィリピン視察研修会 訪問先
 - ・通産省投資委員会
 - ・川崎汽船マニラ駐在員事務所
 - ・ラダナ・テクノパーク工業団地
 - ・マスタフィリピンズ
 - ・宮坂ポリマーフィリピン
 - ・フィリピン・ライト・インダストリー & サイエンス・パーク
 - ・エストラダ副大統領、アキノ元大統領表敬訪問
- 7日 8日 福岡地区青年部の会員交流事業運営 状況調査及び福島地区商業施設視察会
- ・久留米商工会議所青年部
- ・柳川商工会議所青年部



▲新入会員オリエンテーション(4月21日)



▲首都機能移転講演会(7月18日)



▲関東4YEG訪問(7月7日)
(川口、深谷、熊谷、前橋)

▼川口YEG訪問



▲浜松秋まつり(10月7日～8日)



▲フィリピン視察研修会(2月8日～12日)

H.7年

6月

5月

4月

- 2821日 新入会員オリエンテーション
平成7年度通常会員総会
卒業生・新入会員歓送迎会
- 4日、5日 浜松まつり、おまつり広場部運営
協力(パレード警備)
- 17日 静岡県商工会議所青年部連合会通常
総会出席
- 23日 商青連役員と浜松YEGとの交流・講演会
- 17日 首都機能移転に関するアンケート実施、
結果報告書作成
- 及び開春楼女将「もてなしの心」講演会

主な事業

1996 (平成8) 年度

「もっとやらまいか青年部 新浜松市」



会長
守田 泰男

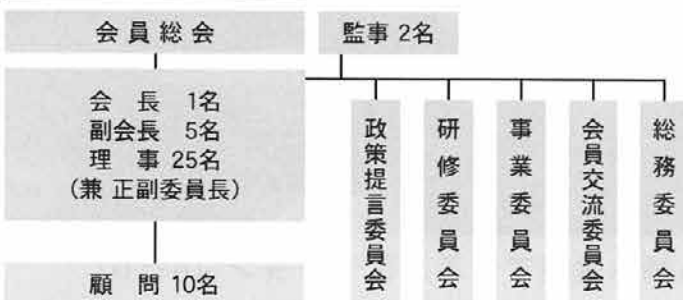
青年部の皆さん、お元気ですか？守田です。私が会長をやった平成8年度は創立10周年の翌年。実行委員長の自分を含め全員大いに盛り上がった翌年であり、20周年へ向けて舵取りをどのようにしていくのか悩んだことを覚えています。そ

こで打ち出したのが「もっとやらまいか青年部 交流と連携」。従来から青年部は県西部及び三遠南信の交流を推進してきましたが、更に20周年に向けて連携させていくことでした。特に三遠南信の餡子部分の県西部の連携活動に力を入れましたが、10年後の創立20周年の年に12市町村の大合併を迎えることになることは…つくづく因縁めいたものを感じるとともに青年部の力を改めて認識し感動しています。…しかし大合併はしましたがこれからが大変。青年部創立30周年に向けて益々青年部の力を発揮するよう私からエールをお送りします。「もっとやらまいか青年部 新浜松市」

平成8年度役員

平成8年度

浜松商工会議所 青年部組織図



- 会 長** 守田泰男
- 副会長** 頼母木孝・伊藤寿英・花島隆是
高部三司・竹内孝夫
- 理 事** 川合博美・忠内 清・長谷川和孝・林 茂男
山本高嗣・中川賢二・大野雅子・杉浦雄二
中村喜与雄・柳原一貴・木伏芳弘・池谷貞悟
広中偉庸・藤田浩嗣・本多正武・田中秀幸
内山悦二・太田裕子・中村嘉宏・松家吉伸
野尻幸吉・池谷紀幸・岡本晃志・中本 徹
村松景司
- 監 事** 前嶋文明・須山泰造
- 顧 問** 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
久野富男・鈴木一久

H.9年

3月

2月

1月

12月

11月

10月

30日 浜松商工会議所青年部ホームページ
「環浜名湖ワールドへようこそ」
アドレス
<http://www.inh.co.jp/chamber/>

14日 他地域青年部事業調査視察会
(山形商工会議所青年部)

13日 第3回全体例会
テーマ「カラーコーディネート講座」
「わたしってどんな色」
メチャいけている色彩見つけたゾー！

新年祝賀交歓会

- (1) 平成8年度臨時会員総会
- (2) 平成9年度委員長選任について
- (3) 平成9年度委員会組織変更について
- (4) 平成9年度所屬委員会について
- (5) 新年度会員の募集について

21日 平成8年度臨時会員総会

11日 第5回会員親睦大会「青年部大忘年会」

《懇親会》飯田・豊橋・春野・浜松
《ゴルフコンペ》飯田・豊橋・浜北・可美・
新居・三ヶ日・細江・浜松

25日 三遠南信地区商工会議所青年部
及び県西部地区商工会青年部との交流会

15日 第16回商工会議所青年部
全国大会奈良大会

17日 第16回商工会議所青年部
関東ブロック大会伊勢崎大会

17日 第16回商工会議所青年部
関東ブロック大会伊勢崎大会



◀ファミリーの集い (9月15日～19日)

▼手作り地ビール製造講習会 (6月7日)



▲第16回全国大会 奈良大会
(11月15日～16日)



▲三遠南信交流会 (11月25日～26日)

H.8年

9月

7月

6月

4月

主な事業

5日 第1回会員親睦大会「お花見大会」
25日 平成8年度通常会員総会

(1) 平成7年度事業報告(案)ならびに
収支決算(案)承認について
(2) 平成8年度青年部組織ならび
所属委員会について

(3) 平成8年度事業計画(案)ならびに
収支予算(案)審議について

(4) 新会員の紹介

(5) 卒業者への記念品贈呈

懇親パーティー

(卒業会員・新入会員歓送迎会)

7日 第1回全体例会

テーマ「つくらまいか! 青年部」

「自ビール」

27日 第2回会員親睦大会「ボウリング大会」
～手作り地ビール製造講習会～

18日 第2回全体例会

テーマ「ニコニコ・ハキハキをモットーに!」

講師 国際海洋高等学校 校長

井脇ノブコ氏

26日 第3回会員親睦大会「ビアパーティー」

15日～19日 第4回会員親睦大会

「ファミリーの集い」

・バーベキュー及びアトラクション他
・春野町商工会青年部との懇親会

1997 (平成9) 年度



会長
花島 隆是

浜松YEG創立20周年のお祝いにあたり、起稿させていただきます。

私が、浜松YEGに入会したのは、確か19年前と記憶しております。当時の私は、浜松経済クラブで委員会の委員長として、とても多忙でして、とても二足の草鞋を履ける状態ではありませんでした。会議所青年部と経済クラブとは向かう目的は同じで

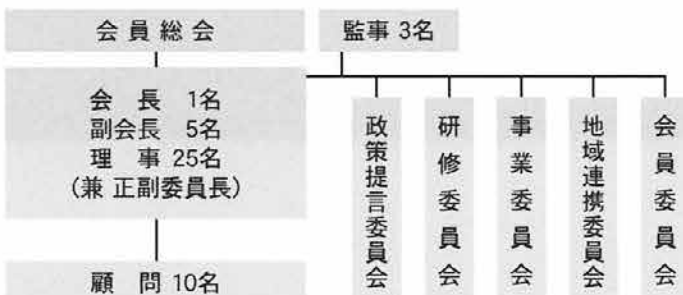
も40歳を過ぎてから参加しようと思っておりましたが、平成2年、浜松YEGが全国大会を実行するに当たり、「協力しろ」と先輩から圧力が掛かりました。11月の中旬、浜名湖CCに朝6時前に1人で準備に掛ったことと、アルビントフラーの記念講演が接待役で聞けなかったことは非常に残念でした。しかし、全国から多数のYEGが参加し、とても喜んでくれた事は、私の浜松YEGでの肥やしとなり、充実した記憶として残っております。

会長の指名を受けた当時、世の中のキーワードは情報化に向け、アナログからデジタル化へ、また業務管理はオフコンからパソコンへと、急ピッチに変革が進められていた時代でした。時代の流れに乗り遅れないように刺激を受け互いに補完が出来たのも浜松YEGでの活動からでした。浜松YEGありがとうございました。

平成9年度役員

平成9年度

浜松商工会議所 青年部組織図



- 会長** 花島隆是
- 副会長** 中川賢二・高部三司・大石晴久
川合博美・伊藤寿英
- 理事** 長谷川和孝・青木邦章・井口隆義・清水國雄
萩内博志・中村源一郎・河村正隆・須山由佳子
谷 章・松家吉伸・中村嘉宏・伊東康彦
内山悦二・河合利行・本多正武・柳原一貴
井下郁夫・田中義明・鈴木弘光・藤田浩嗣
鈴木和弘・岡本晃志・長坂之義・西尾和三
広中偉庸
- 監事** 前嶋文明・須山泰造・守田泰男
- 顧問** 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
久野富男・鈴木一久

H.10年

3月	2月	1月	12月	11月
1917日 1997年度卒業式 第8回全体例会 テーマ「政策提言委員会 提言書報告会」	4日 8日「ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市」経済視察会 14日 三遠南信地域商工会議所・商工会青年部 交流会 ・ゴルフコンペ ・懇親会	9日 第7回全体例会 (第15回全国会長研修会 第5分科会) テーマ「日本の将来これからのいのちのか？」 「高齢化と少子化問題」 講師 野末陳平事務所 野末陳平氏 21日 食とアウトドアの祭典	18日 全体忘年会 23日 平成9年度臨時会員総会 (1)平成10年度会長選任について (2)平成10年度副会長・理事・幹事の 選任並びに顧問の委嘱について (3)平成10年度所属委員会について (4)その他 新年祝賀交歓会	18日 第6回全体例会 テーマ「ベトナム経済・社会情勢について」 講師 榎知久 代表取締役社長 知久利克氏 21日 22日 第17回商工会議所青年部 全国大会徳島大会

24日 第17回商工会議所青年部
 関東ブロック大会深谷大会
 テーマ「環境と私の青春」
 講師 榎ヨシケイ 浜松 会長
 渡邊虎雄氏



◀リズムの祭典 (10月5日)

▼ベトナムホーチミン市
経済視察会 (3月4日～8日)



▲佐鳴湖フェスタ'97 (10月19日)

H.9年

主な事業

10月	9月	7月	6月	5月	4月
21日 第5回全体例会 19日 リズムの祭典 5日 佐鳴湖フェスタ'97	16日 第4回全体例会 講師 榊シイ・アイ・エム 代表取締役社長 渡邊精徳氏 テーマ「クラウドソーシングの賢い使い方」	25日 第3回会員親睦大会「ビアパーティー」 十記の会との交流ゴルフ大会 講師 松菱商事(株) 取締役副社長 林本和俊氏 テーマ「やさしくなければ生きていく 資格がない」 18日 第3回全体例会	24日 第2回全体例会 講師 文明法則史学研究所 所長 林英臣氏 テーマ「世界史に学ぶ激動期のリーダー論」	20日 第1回全体例会 平成8年度政策提言書報告説明会	25日 平成9年度通常会員総会 (1)平成8年度事業報告・収支決算報告の件 (2)平成8年度監査結果報告の件 (3)平成9年度青年部組織並びに所属委員会決定の件 (4)平成9年度事業計画(案)・収支予算(案)の件 (5)新会員の紹介 (6)卒業生への記念品贈呈

1998 (平成10) 年度



会長
大石 晴久

スローガン「変革の時代、見つめよう足許、語ろう未来」は、当時の経済等の状況を考慮し、階段に揃えば踊り場的な年とし、過去を振り返りつつ、現状を分析

した上で、あるべき将来像(各会員個人並びに企業、そして青年部)を模索しようというのが目的でした。

目的達成の手段は研修と交流を軸とし、企業活動にとって有益な講演、そして、会員相互や浜名湖周辺地域青年団体との交流に重点を置きました。また、OBとの交流をとのご意見をいただき各種同好会を立ち上げました。

思い出は数多くありますが、多くの会員と役員の方々のご協力とご支援を頂くことによって、諸先輩方々が楽き上げられた青年部を少しでも前進させられることができた事が一番の思い出となっています。会議所の行動力には驚嘆させられることがよくありますが、当時の先進商工会議所視察で見聞した姫路商工会議所のパソコンルームやネット会議も数年後には実現されています。青年部活動がこうした改革の一助になれば幸いと考えています。また、これまでの活動が評価され、青年部会長の公職数は年々増加しているようですが、大人の青年部として、ますます評価を高められるよう期待しています。

平成10年度役員

平成10年度

浜松商工会議所 青年部組織図



- 会長** 大石晴久
副会長 川合博美・長谷川和孝・中川賢二
 高部三司・柳原一貴
理事 井口隆義・鈴木真吾・中野勘次郎・橋本秀比呂
 水谷哲也・中村嘉宏・河合利行・高橋純一
 藤田恭三・鷺津有一・伊東康彦・青木邦章
 石野真己・林 茂男・村松景司・田中秀幸
 太田裕子・鈴木健介・高柳力也・松家吉伸
 小桐正彦・渥美則博・戸塚友康・中野睦子
 中本 徹
監事 守田泰男
顧問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
 山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
 久野富男・鈴木一久・前嶋文明・須山泰造
 花島隆是

H.11年

3月	2月	1月	12月
16日 第5回全体例会 テーマ「ホテルオークラの応対テクニック」 講師 オークラアクトシティホテル浜松 総支配人 丸尾寛治氏	23日 浜名湖周辺地域青年団体交流会	22日 平成10年度臨時会員総会 (1)平成11年度会長選任について (2)平成11年度特別委員会設置について (3)平成11年度副会長・理事・監事の選任並びに顧問の委嘱について (4)平成11年度所属委員会について (5)その他	4日 全体忘年会
16日 第6回全体例会 テーマ「政策提言委員会提言書報告会」 13日 先進地域連携事業調査・研究会 19日 1998年卒業式			

強化育成部長 桑原隆氏



▲'98テクノ遊園地(10月5日)



◀テクノ遊園地内
ロボットサッカー
(10月5日)

▶臨時会員総会(1月22日)



▼浜名湖周辺地域青年団体交流会(2月23日)



H.10年

主な事業

11月	10月	9月	8月	7月	5月	4月
24日 第4回全体例会 講師 経営ノウハウを学ぶ (株)ヤマハフットボールクラブ	6日 第18回商工会議所青年部 全国大会 青森大会 5日 '98テクノ遊園地	4日 第18回商工会議所青年部 関東ブロック大会 水戸大会 16日 第3回全体例会 テーマ「健康と高齢化社会」 講師 老人保健施設すずかけの街施設長 すずかけ病院名誉院長 平出光氏	4日 第2回全体例会 テーマ「取引先倒産の噂を聞いたときの 心構えと、即座に行うべきこと」 講師 弁護士 田畑知久氏	27日 サマーパーティー (兼豊橋商工会議所青年部との交流会)	27日 第1回全体例会 テーマ「三元気印企業の7つの経営法則」 講師 浜松大学 教授 坂本光司氏	24日 平成9年度通常会員総会 (1)平成9年度事業報告(案)承認の件 (2)平成9年度収支決算(案)承認の件 (3)監査結果報告の件 (4)平成10年度所属委員会の件 (5)平成10年度事業計画(案)審議の件 (6)平成10年度収支予算(案)審議の件 (7)その他

1999 (平成11) 年度



会長
高部 三司

浜松商工会議所
創立20周年おめで
とうございます。
また薩川会長のも
と20周年記念事
業が盛大に執り行
なわれることを心
からお喜び申し上
げます。

私が入会したのは、全国大会を経験した
翌年の平成3年度でした。

単会としては最大のイベントを終え、そ
の有り余るエネルギーを何処へ向けよう
か模索している頃でした。

どの委員会も、「我が委員会は」と大いに
語り定例会の後には伝馬町の旧商工会議所
会館から夜の街へ議論の場を移したもので
した。

このときの交流の経験が後の青年部活
動のエネルギー源に成っていったのは言
うまでもありません。(とにかくよく議論
しましたね)

また浜松YEGは浜松地域、西部地域の
青年団体との交流、全県の交流、三遠南信
交流事業などを通じてその力を大いに発
揮し地域に貢献してきたことは言うま
でもありません。

この20周年を節目に青年部活動がさら
に充実し実になることを期待します。

平成11年度役員

平成11年度

浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 高部三司

副会長 中川賢二・伊藤寿英・中村嘉宏
田中秀幸・伊東康彦

理 事 青木邦章・石野真己・田畑知久・平岡康弘
山下 治・中野勘次郎・榎本雅之・加藤登弘
須山由佳子・水谷哲也・藤田恭三・鈴木健介
照井宏和・堀内秀哲・前嶋映雄・河合利行
上野憲行・岡本晃志・高柳力也・藤田浩嗣
鷺津有一・金森孝三・雑賀 陽・柴田昌宏
渡辺英志

監 事 大石晴久・川合博美

願 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
久野富男・鈴木一久・前嶋文明・須山泰造
花島隆是・守田泰男

H.12年

3月

2月

1月

12月

14日 7日 第5回全体例会
テーマ「政策提言委員会 提言書報告会」
2000年卒業式

23日 17日 20日 海外研修会・中国
第4回全体例会
「21世紀のビジネスチャンスに向けて」
静岡大学情報学部との意見交換会

21日 平成11年度臨時会員総会
(1)平成12年度会長選任について
(2)平成12年度副会長・理事・監事の選任
並びに顧問の委嘱について
(3)平成12年度所属委員会について
(4)その他
新年祝賀交歓会

9日 2日 商青連アントレプレナーズ委員会
「もの作り委員会」との懇談会
全体忘年会



▲第1回全体例会(6月15日)



▲海外研修会・中国(2月17日~20日)



◀浜松今昔街道▶
▼(10月3日)



H.11年

11月

10月

9月

7月

6月

4月

12日、13日 第19回商工会議所青年部
全国大会 新潟大会

19日 第3回全体例会兼公開例会
映画『アイ・ラブ・ユー』上映

講師 泉秀樹氏
講演会「不倒企業300年の知恵」

14日 第2回全体例会
・第1部
事例発表「地元で頑張る100年
企業紹介」
・第2部

10日 第19回商工会議所青年部
関東ブロック大会 佐原大会

講師 浜松市長 北脇保之氏
講師との懇談会

15日 第1回全体例会
テーマ「北脇新市長の語る21世紀の夢、
浜松新創造」

- (1) 平成11年度通常委員会総会
- (2) 平成10年度事業報告(案)承認の件
- (3) 平成10年度収支決算(案)承認の件
- (4) 監査結果報告の件
- (5) 平成11年度所屬委員会の件
- (6) 平成11年度事業計画(案)審議の件
- (7) 平成11年度収支予算(案)審議の件
- (7) その他

主な事業

2000 (平成12) 年度



会長
伊藤 寿英

平成12年度に15代会長をやらせて頂き、(出会いと感謝)を感じた大変素晴らしい経験をさせていただいた1年であったと記憶しております。

当時は20世紀のバブル景気がはじけ、株価の低迷、企業倒産の増加等、暗い日本の真只中。そんな中での会長就任…浜松の青年経済団体の中での兄貴分の存在といわれ、ただただ元気を出そうと走り回った1年でありました。6月に高部県連会長と相談した結果(高部県連会長の独断だったかも)いきなり第一回県連大会を浜松で開催。役員会では、かなり反発がありましたが、(高部を男にしてくれ)と無理やり承認をしていただき理事の皆様へ感謝。おかげで静岡県全域の青年部の横のつながりを深くし、新しい出会いを感じた。また浜松単会では、創立15周年という事もあって親会、事務局に無理をお願いして予算のない中、特別予算をつけていただき記念式典、記念講演を開催させていただきました。OBの方には15周年記念は普通はやらないよと怒られながら、当時一つの目標をつけてそれに向けて突き進む事で浜松単会をまとめていこうと思っていた

ことも事実ありました。会員の中には、なんと無謀な会長だろうと映っていた事でしょう。私もそう思いました。(笑)また秋に開催された委託事業のパワーアップ浜松と題して地元の学生達との文化祭、モール街を埋め尽くしかなりの人出があり学生達の若いパワーを貰った一日でもありました。また北脇市長にも参加をしていただいた対抗綱引き大会、若いパワーには完敗(ああ無残)反省会では学生達に毎年続けてほしいと懇願され、単年度事業だから理解してほしいと言いつつ諷刺をされたのを昨日の事のように覚えています。

小田原での関東ブロック大会、鹿児島での全国大会、浜松単会からかなり人数が参加して頂き会長としてただただ感謝。また鹿児島県連の役員達と出会い素晴らしい時でした。また鹿児島での県連の二次会、いままでは単会単独で開催していましたが、その年は沼津の関東ブロック大会が翌年控えているとはいえ静岡県連が一つになりつつある事を予感した一年でもありました。浜松商工会議所青年部が20年を迎えさらに30周年、50周年と飛躍する事を祈念いたします。

創立20周年おめでとうございます。

H.13年

3月

1月

12月

11月

10月

19日 第5回全体研修会

テーマ「アントレプレナーズと素敵な仲間たち」

講師 商青連 アントレプレナーズ委員会 委員長 竹川博子氏

8日 パワーアップハママツ

13日 第20回商工会議所青年部

関東ブロック大会 相模原大会

15日、19日 第20回商工会議所青年部

全国大会 鹿児島大会

13日 青年部創立15周年記念事業(第1部)

・記念講演会

テーマ「日本の再生」

講師 福山大学 教授 田中秀征氏

・記念懇談会

19日 平成12年度臨時会員総会

(1) 平成13年度会長選任について

(2) 平成13年度副会長・理事・監事の選任

並びに顧問の委嘱について

(3) 平成13年度所属委員会について

(4) その他

創立15周年記念事業(第2部)

・記念講演会

テーマ「21世紀の幕開けをリードする

経済人」

講師 (株)財界研究所代表

取締役社長 村田博文氏

新年祝賀交歓会

6日 第6回全体例会

テーマ「政策提言委員会提言書報告会」

平成12年度役員

平成12年度

浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 伊藤寿英

副会長 中野勘次郎・伊東康彦・河合利行
青木邦章・中村嘉宏

理 事 高橋純一・木村玲美・永田康芳・服部 勝
久田五海・石野真己・浅井秀明・井内晴久
大石佳弘・大村 巧・前嶋映雄・岡本晃志
須山宏造・平野善巳・藤井信行・鷺津有一
上村光枝・新村一也・鈴木健介・照井宏和
上野憲行・須山由佳子・西村寿洋・古橋昌直
村上圭司

監 事 高部三司・中川賢二

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
久野富男・鈴木一久・前嶋文明・須山泰造
花島隆是・守田泰男・大石晴久



▲通常会員総会・講演会(4月28日)



▲15周年記念懇談会(12月13日)

H.12年

9月

7月

5月

4月

主な事業

28日 平成12年度通常会員総会

- (1) 平成11年度事業(案)承認の件
- (2) 平成11年度収支決算(案)承認の件
- (3) 監査結果報告の件
- (4) 平成12年度所属委員会の件
- (5) 平成12年度事業計画(案)審議の件
- (6) 平成12年度収支予算(案)審議の件
- (7) その他

講演会(第1回全体例会)

テーマ「浜松市の都市戦略」

講師 浜松市長 北脇保之氏

会員懇談会

26日・27日 第2回全体研修会

「小田原地域の元氣印企業」視察会

18日 第3回全体研修会

テーマ「インターネットビジネス成功の条件」

講師 (有)アーティス

代表取締役 池谷義紀氏

7日 第4回全体研修会

「21世紀の開発と環境を考える」視察会

・小笠山総合運動公園建設事務所

・小笠山スタジアム「エコパ」

・資生堂掛川工場

2001 (平成13) 年度



会長
青木 邦章

21世紀最初の年は、会員数も過去最大252名、実質的参加率も非常に高い年でした。それは、2年ほど前に始まったIT化推進により公式HPとグループウェアを獲得したことによるものが非常に大きいといえますが、役員会のみでなく各委員会に

においても毎回綱領朗読・指針唱和を実践したり、ネット上のフォーラムでのさまざまな議論炸裂も功を奏した結果であると思います。事業活動においては、浜松のものづくりの原点“オートバイ”にスポットを当てての大規模なフェスタ。翌年以降、市役所により引き継がれていることもYEGの存在意義証明と言えます。また近隣YEGとの関係強化策として、県連活性化、三遠南信の積極交流、浜松・袋井・掛川による地下組織「遠州YEG」結成も思い出深い活動です。YEGとともに、自分自身も大きく成長し、現在にいたる自社ビジネスの変化・拡大のきっかけにもなった充実した1年間でした。

平成13年度役員

平成13年度

浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 青木邦章

副会長 河合利行・前嶋映雄・石野真己
中野勘次郎・田中秀幸

理 事 山下 治・伊藤弘人・照井宏和・藤井信行
山内秀彦・須山由佳子・柴田昌宏・中野睦子
西村寿洋・柳原一貴・大村 巧・大石佳弘
鈴木美栄・須山宏造・望月智明・高柳力也
井熊正浩・伊藤恭子・服部 勝・藤村元之
加藤登弘・浅井秀明・上村光枝・原田安之
綿貫克彦

監 事 伊藤寿英・中川賢二

顧 問 中山正邦・沼田佳之・山本陽一郎・伊藤雅章
山本晃正・水野 博・神谷竹彦・伊藤 孝
久野富男・鈴木一久・前嶋文明・須山泰造
花島隆是・守田泰男・大石晴久・高部三司

H.14年

3月	2月	1月	12月	11月	10月
19日 2001年度卒業式 12日 第4回全体研修会 政策提言委員会 提言書報告会	14日 海外視察研修会 タイ・アンコールワット 6日 青年部忘年会 テーマ「これからのIT活用」 講師 M&M研究所代表 三石玲子氏	30日 中山会頭を囲む新春懇談会 25日 平成13年度臨時会員総会 (1) 平成14年度会長選任について (2) 平成14年度副会長・理事・監事の選任並びに顧問の委嘱について (3) 平成14年度所属委員会について (4) その他	13日 浜松地域青年経済団体連絡協議会 青年部忘年会 4日 事例発表： 浜松商工会議所青年部顧問 高部三司氏 浜松商工会議所青年部会長 青木邦章氏	27日 第3回全体研修会 テーマ「知って得する商工会議所の活用」 8日 第21回商工会議所青年部 全国大会 小田原・箱根大会	7日 浜松発！ものづくりフェスタ2001 ものづくりシンポジウム (第2回全体研修会) テーマ「はままつ「ものづくり」産業に求められるものとは」 静岡文化芸術大学教授 伊坂正人氏 浜松商工会議所副会頭 柴田義文氏 浜松商工会議所青年部会長 青木邦章氏



▲ものづくりフェスタ2001(10月7日)



▲通常会員総会(4月26日)

▼海外視察研修会(2月14日～18日)



H.13年

9月

8月

5月

4月

主な事業

26日 平成13年度通常会員総会

(1) 平成12年度事業報告(案)承認の件

(2) 平成12年度収支決算(案)承認の件

(3) 監査結果報告の件

(4) 平成13年度所属委員会の件

(5) 平成13年度事業計画(案)審議の件

(6) 平成13年度収支予算(案)審議の件

(7) その他

街づくり鼎談会

テーマ「目指せ技術と文化の世界都市
はままつ」

はままつ

浜松市長 北脇保之氏

浜松商工会議所副会頭 中山正邦氏

浜松商工会議所青年部会長 青木邦章氏

23日 第1回全体研修会

テーマ「我が国にとつてのIT革命とは?」

を考える』中小企業にとつてのIT

のもたらす影響とは?」

講師 静岡大学 情報学部

学部長 徳山博千氏

4日～5日 三遠南信交流事業 飯田市

・人形劇フェスタ

・天竜舟下り ・交流会

7日～8日 国内視察研修

「CSマネジメント研修」視察会

・京急百貨店

・帝国ホテル ・宇都宮餃子館

第21回商工会議所青年部

関東ブロック大会宇都宮大会

2002 (平成14) 年度

常に自助努力!そしてバランス感覚を磨け!!



会長

中野 勘次郎

「復活させよう!浜松人の自信と誇り」のスローガンの下、「街の隠れ資産」であったうなぎ、サッカー、冬の蛸などを再活用した感動的イベントに加え、政令市移行問題やスローライフなど

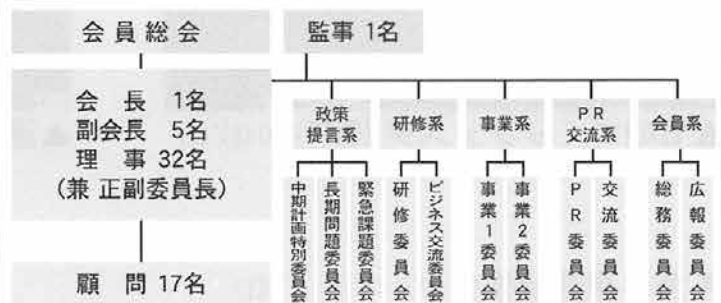
多様な近未来のテーマに、青年経済人としては完成度の高い独特の提案をした1年でした。それらは、浜松の先人たちの誇りあるものづくり精神を再発揚し、その足跡を追体験する場ともなりました。

今後わが浜松YEGが真の次期リーダー養成の為に、「天は自ら助くるものを佑く」の精神を確認しバランス感覚を磨く、修練の場であり続けられるよう祈念し、併せて関係各位には20年間のご尽力に衷心より謝意を表し、祝辞と致します。

平成14年度役員

平成14年度

浜松商工会議所 青年部組織図



会長 中野勘次郎

副会長 政策提言系 中村嘉弘・研修系 柳原一貴
事業系 加藤登弘・PR交流系 田中秀幸
会員系 山下 治

理事 袴田竹之・原田安之・服部 勝・川上貴久
田畑知久・高柳力也・晋山文宏・鈴木政宏
古橋昌直・中野睦子・松村公一・井熊正浩
田辺 真・堀井博雄・薩川 敏・伊藤恭子
望月智明・山内秀彦・伊藤哲志・塚田充広
浅井秀明・鈴木美栄・松田栄一・大石佳弘
大場さわこ・鈴木利幸・須山由佳子・杉野隆三
藤村元之・伊藤弘人・上野憲行・鈴木里枝

監事 青木邦章

H.15年

3月

2月

1月

12月

11月

18日 2002年度卒業式
127日 8日 浜松地域青年経済団体連絡協議会
北脇浜松市長・中山会頭との懇談会

④テーマ「学校教育の現場から
くお父さん、お母さん正しく子供と
向き合っていますか?」
講師 浜松市教育委員会 指導主事
夏目穂三氏
③テーマ「旅の楽しみ方」カリスマ添乗
員が語る、旅の楽しみ方」
講師 司会 青年部会員 古橋昌直氏
パネラー 青年部会員 岡田守弘氏
薩川敏氏 田辺真氏 照井宏和氏
②テーマ「労働一般」行列のできる労働
相談所」
講師 青年部会員 伊藤弘人氏
①テーマ「伝票が消える」情報活用
がもたらすコストダウンと「トレイサ
ビリティ」に係る先端危機管理」
講師 ㈱ニエートラル代表取締役
川辺春義氏

6日 第4回全体研修会「炎の研修会」
①テーマ「伝票が消える」情報活用
がもたらすコストダウンと「トレイサ
ビリティ」に係る先端危機管理」
講師 ㈱ニエートラル代表取締役
川辺春義氏

政策提言系発表会
新年祝賀交歓会

24日 平成14年度臨時会員総会
(1)平成15年度会長選任について
(2)平成15年度副会長・理事・監事の選任
並びに顧問の委嘱について
(3)平成15年度所属委員会について
(4)その他

21日 はままつ冬の蛸フェスタ2002
「Hot Light X'mas 2002」

30日 12月1日 三遠南信交流事業
・楽器博物館見学・講演会
・懇親レセプション・交流サッカー大会

18日 第3回全体研修会
テーマ「ランチェスター戦略セミナー」
講師 ㈱No.1戦略研究所
所長 矢野新一氏

8日 9日 第22回商工会議所青年部
全国大会大阪大会
・㈱ア・ラ小布施(まちづくり第3セクター)



◀Hot! Light! X'mas! 2002
(12月21日)



▶三遠南信交流事業
サッカー大会
(11月30日～12月1日)



▲浜松ウナギ・アズ・ナンバーワン
(10月5日)

▼三遠南信交流事業・
懇親レセプション
(11月30日～12月1日)

▼炎の研修会(2月6日)



三遠南信交流事業 第7回浜松大会
主催 浜松商工会議所 青年部

H.14年

10月

9月

8月

6月

4月

主な事業

26日 平成14年度通常会員総会

(1)平成13年度事業報告(案)承認の件

(2)平成13年度収支決算(案)承認の件

(3)監査結果報告の件

(4)平成14年度所屬委員会の件

(5)平成14年度事業計画(案)審議の件

(6)平成14年度収支予算(案)審議の件

(7)その他

第1回全体研修会 北脇市長講演会

テーマ「市民・行政・協働のまちづくり」

浜松市長 北脇保之氏

会員懇談会

30日 OB交流ビアパーティー

3025日 家族会 浅羽海岸及び竜洋キャンプ場

第2回全体研修会

テーマ「もてなしの心がビジネスを創る」

講師 榎本テルオークラ

常任顧問 橋本保雄氏

10日 公開講師例会

テーマ「食と安全について」

講師 磐田化学工業㈱ 営業部開発

グループ長 九島康夫氏

テーマ「検診結果は叫んでいる！」

あなたのためは……

13日 講師 聖隷予防検診センター 河合めぐみ氏

第22回商工会議所青年部

関東ブロック大会沼津大会

5日 「浜松ウナギ・アズ・ナンバーワン2002」

・「和の超人」神田川俊郎氏トークショー

・うなぎ創作料理コンテスト

・うなぎ元氣横丁

・うなぎミュージアム

・各種アトラクション(来場者17万人)

8日 公開講師例会

テーマ「浜松商工会議所の情報システムについて」

講師 浜松商工会議所

湯口哲世課長 松尾秀樹主幹

19日 「地域に密着した企業の最新営業実態」と

「まちづくりと商品創出のあり方」

・真澄酒造

2003 (平成15) 年度



会長
中村嘉宏

第18代会長として当時掲げたスローガンは「逆境こそ人知結集最大のチャンス!」。経済も、政治も閉塞状態。そんな中で我々HYEGが前を向き、地域が元気に発展していくためには、少しずつみんなの力を結集してやってみよう! そんな思いからでした。浜名湖花博と12市町村合併が間近に控えておりました。

主な活動内容は、神戸震災跡地見学。これは東海地震が叫ばれている中で先進事例を学ぼうというもの。合併シンポジウムでは堺市商工会議所会頭をお招きし、同じような苦労、合併への道筋などを勉強。秋の事業系イベントは「ザ・楽市楽座」。前年の政策提言書「ダイヤモンドクラスター都市を作ろう!」を实践して、新市内の各地の物産、名所などにスポットを当て紹介・物品販売をいたしました。そして、「タウンミーティングイン浜松」。麻生総務大臣にお出ましを頂き、合併に関する不明点、不満・質問を直にぶつける、というタイムリーな企画であったと思います。結果的には取り組むべき命題が目の前にあった年度でした。そういった意味では取り組みやすかったのかもしれない。

これからのYEGの皆さんにお願いしたいこと。昔以上に「個」の主張が強くなってきています(あるいはエゴも)。そんな中で、ひとつの目的に向かってみんなで進んでいくと言うことは非常にやりにくくなっています。逆に言えば、お金の付き合いもない、上下関係も基本的にない集団で、意見集約し、共に行動を起こす! という訓練・研鑽が出来る絶好の場所です。恐れることなく活動をしていただきたい。結果は自然とついてくるでしょう。

郷土浜松の為にがんばって下さい、影ながら応援しています。

H.16年

3月

1月

11月

10月

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>6日 1日「青年部20周年記念事業準備室」開設
2日 地方分権タウンミーティングインはままつ
登壇者 総務大臣 麻生太郎氏
関西学院大学教授 小西砂千夫氏
和歌山大学青年会議所直前会頭
揚原安磨氏
天竜川・浜名湖地域合併協議会
会長(浜松市長) 北脇保之氏</p> | <p>23日 平成15年度臨時会員総会
(1)平成16年度会長選任について
(2)平成16年度副会長・理事・監事の選任
並びに顧問・参事の委嘱について
(3)平成16年度所属委員会について
(4)その他
政策提言委員会発表会
新年祝賀交歓会</p> | <p>7日 8日 第23回商工会議所青年部
全国大会 米子大会
28日 浜松地域青年経済団体連絡協議会
堺商工会議所 中尾良和会頭との懇談会</p> | <p>30日 全体講師例会
「経営者・管理者の危機管理講話」
テーマ「雇用問題に対する危機管理」
「改正労働基準法の対応は
お済みですか」
講師 静岡県西部労務管理事務所
鈴木英文氏
テーマ「犯罪に対する危機管理」
「現在の犯罪傾向を現役
警察官に聞いてみませんか」
静岡県警本部捜査第四課
課長補佐 伊藤英実氏</p> |
|---|--|--|--|



▶ 地方分権
タウンミー
ティング
(3月6日)

◀ 総務大臣
麻生 太郎氏



平成15年度役員

平成15年度

浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 中村嘉宏

副会長 山下 治・加藤登弘・田中秀幸
高柳力也・伊藤弘人

理 事 山内秀彦・鈴木典和・九島康夫・西村寿洋
川上貴久・薩川 敏・古橋昌直・西 信之
鈴木康之・水野久美子・大石佳弘・中野隆子
鈴木政宏・藤井信行・杉野隆三・照井宏和
永田康芳・飯尾哲秀・松坂直和・浅井秀明
木村玲美・寺田祐二・上野憲行・松村公一
柴田昌宏・田辺 真・鈴木美保

監 事 中野勘次郎



▲ 市町村合併シンポジウム(7月26日)
横浜市長 中田宏氏の基調講演



▲ ザ・楽市楽座(10月4日)

H.15年

9月

7月

4月

主な事業

17日 平成15年度通常会員総会

(1) 平成14年度事業報告(案)承認の件
(2) 平成14年度収支決算(案)承認の件
(3) 監査結果報告の件

(4) 平成15年度所属委員会の件
(5) 平成15年度事業計画(案)審議の件
(6) 平成15年度収支予算(案)審議の件
(7) その他

講演会

テーマ「浜名湖市構想について」
講師 静岡経済同友会浜松協議会
代表幹事 大澤稔氏

11日・12日 国内視察研修「淡路島・神戸市視察」
・淡路国際園芸博覧会跡地
・神戸新聞
・神戸「人と防災・未来センター」

26日 市町村合併シンポジウム
「政令指定都市実現に向けて」
基調講演会
テーマ「政令指定都市と自立した都市経営」
講師 横浜市長 中田宏氏
パネルディスカッション
テーマ「市町村合併シンポジウム」
「政令指定都市実現に向けて」
・コーディネーター 静岡文化芸術大学
南学氏
・パネラー 総務省自治行政局行政体制
整備室長 山崎重孝氏
・静岡経済同友会浜松協議会代表幹事
中村捷二氏
・堺商工会議所会頭 中尾良和氏
・静岡青年会議所1997年度理事長
織田高行氏

14日 第23回商工会議所青年部
関東ブロック大会 館林大会

4日 広域合併政令都市化応援イベント
「はままつ夢づくりフェスタ2003」
「ザ・楽市楽座」

2004 (平成16) 年度



会長
高柳力也

浜松商工会議所
青年部創立20周年
おめでとうございます。

平成16年度の会長を務めさせていただきました高柳です。
現役世代として、

青年部OBの皆様・浜松商工会議所の皆様
のご指導ご協力に感謝し御礼申し上げます。

平成16年度は、翌年の浜松地域12市町村の合併を控え、地域の商工会青年部をはじめ多くの青年経済団体との交流や行政との対話等、合併を期に浜松地域の経済発展はどうあるべきか？を事あるごとに議論させて頂いた思いがあります。そして20周年という節目の年を目前に「目的を再認識、自ら夢をつかみとろう！」をスローガンに掲げ、とにかく手段に迷いがちな現状の中で「青年部のあり方」を、今一度認識できる良い機会と捉え活動をしてまいりました。

これからも浜松商工会議所青年部が地域経済団体の「リーダー」として、またメンバーの皆様が地域社会の「お手本」として活躍される事を期待致します。

平成16年度役員

平成16年度
浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 高柳力也

副会長 薩川 敏・伊藤弘人・大石佳弘
上野憲行・須山由佳子

理 事 川上貴久・山内秀彦・鈴木哲司・岡田樹義
赤川秀司・杉野隆三・鈴木政宏・岡田守弘
水野久美子・松田和敏・柴田昌宏・中村美智代
齋藤慎二・山本健一・郡司勝広・田辺 真
石田昌宏・鈴木里枝・吉山真三・松坂直和
西村寿洋・木所壮太・鈴木美鈴・佐々木慎二
関 哲義・寺田祐二・長谷明浩・鈴木康之

監 事 中村嘉宏

H.17年

2月

1月

11月

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <p>5日 第1部：浜松YEG見本市
(第2部：講演会)
講師 イオン浜松志都呂SC・GM
鈴木真琴氏
(第3部：交流会)</p> | <p>2日 浜松地域青年経済団体連絡協議会
浜松地域青年経済団体連絡協議会懇親会
第1回ビジネス交流会</p> | <p>21日 平成16年度臨時会員総会
(1)平成17年度会長選任について
(2)平成17年度副会長・理事・監事の選任並びに顧問・参与の委嘱について
(3)平成17年度所属委員会について
(4)その他
政策提言委員会発表会
新年祝賀交歓会</p> | <p>5日～6日 第24回商工会議所青年部
全国大会 帯広大会</p> |
|---|---|---|---|



▲ビジネス交流会講演会・イオン浜松志都呂SC
GM 鈴木真琴氏 (2月5日)



▲第1回ビジネス交流会(2月5日)

▼ 青年部歴代会長懇談会(7月27日)

▼ 浜松七夕ゆかた祭り(8月7日)



H.16年

9月

8月

7月

4月

16日 国内視察研修
・日本銀行本店・貨幣博物館
・さいたま新都心
17日 第24回商工会議所青年部
関東ブロック大会 上尾大会

24日 全体講師例会
テーマ「全国と県内の経済動向について」
「金融機関との上手な付き合い方」
講師 日銀静岡支店 支店長
安永隆則氏

7日 浜松七夕ゆかた祭り「昭和レトロな一日」
・人力車の試乗サービス
・ちんどん屋さんのパフォーマンス
・ゆかた装飾及び展示会の実施
・ワークシヨップなど(来場者2万人)

27日 浜松商工会議所青年部歴代会長懇談会

第1回全体研修会・記念講演会
テーマ「青年部の魅力」
講師 株式会社サカエ
代表取締役社長 神谷竹彦氏

16日 平成16年度通常会員総会
(1)平成15年度事業報告(案)承認の件
(2)平成15年度収支決算(案)承認の件
(3)監査結果報告の件
(4)平成16年度所属委員会の件
(5)平成16年度事業計画(案)審議の件
(6)平成16年度収支予算(案)審議の件
(7)その他

主な事業

2005 (平成17) 年度

人が人を呼ぶYEG・そして更なる躍進



会長
薩川 敏

情報を求め、自己研鑽を求め、友を求め、ビジネスチャンスを求め、いろいろな思いでこのYEGに入会してきた仲間とともに、語り合い、学び合い、行動し合い、自企業と地域の発展を実現しようではありませんか。効率ばかりを追求し、自分だけよければではなく、自分も仲間もです。YEGは、そんな

思いやりのある仲間の集まりでありたいと思います。

平成17年度は、浜松商工会議所青年部(浜松YEG)創立20周年を迎え大きな節目の年となります。その中で上記スローガンと基本方針を打ち出させていただきました。本年を、過去19年、諸先輩方に創り上げていただいた歴史と実績。受け継がれてきた精神を糧に、更なる躍進を継続的に未来に繋げる年としなければいけません。

また同じくして平成17年、私たちの浜松市は新生浜松市として動き出す節目の年であります。そして2年後には政令指定都市に移行するという目標を持っております。浜松商工会議所青年部(浜松YEG)を取り巻く環境にも様々な事柄のある年となるでしょう。

自らの事業を発展させるために、地域社会への貢献のために。YEGは商工会議所の一つの部会組織として異業種が集う場です。それぞれの持ち味、強み、技術を最大限に活かし、お互いが連携して事業を展開する。それが自らの事業の利益となるような行動を起こさないとけません。

本年度スローガン「人が人を呼ぶ」とはお互いに手を差し伸べ、声を掛け合いお互いを成長させると共に、またお互いにそのような人の輪が広がり大きなパワーになるということを意味しています。人が人を、委員会が委員会を、YEGがYEGを、そして仕事が仕事を呼び、産業が産業を呼び、地域が地域を呼び必ず中身濃く繁栄をすると信じております。

YEGは会員企業の繁栄があってこそ成り立ってゆく会であると思います。

「街と地域が活性化することなしに、自分の商売の繁盛・会社の発展はありません。また、個々の商売の元気・会社の健全な発展なくして、街と地域の活性化はありません。」過去19年、諸先輩の構築されてきたHYEGを落着いてもう一度おさらいし、糧とし、YEGをひいては地域をよりよきものにするための節目の年としたいと思ひます。

平成17年度役員

平成17年度
浜松商工会議所 青年部組織図



会 長 薩川 敏

副会長 山内秀彦・上野憲行・寺田祐二
川上貴久・柴田昌宏

理 事 浅井秀明・石田昌宏・岡田樹義・神間智博
木所壮太・小杉素充・佐々木真二・柴田富士
白井喜久美・杉野隆三・鈴木英文・鈴木美保
鈴木康之・関 哲義・高橋秀典・田辺 真
塚田充広・西村寿洋・平田晴久・松川 洋
松坂直和・水野久美子・宮崎 敬・宮崎貴弘
村松正巳・吉山真三

監 事 高柳力也

10月

9月/8月

28日 商工会議所青年部
関東ブロック大会 土浦大会

27日 平成20年度全国会長研修会内定

1日 青年部創立20周年記念事業
「音の技と文化のまち New浜松」
・イメージソングコンテスト
・ステージイベント
・楽器メーカー他によるイベントブース

22日 青年部平成17年下半年期オリエンテーション

19日 青年部全体例会

5日 第25回全国大会 愛知大会
新浜松市青年経済団体交流会



▲第25回全国大会 愛知大会 (7月8日～9日)



▲青年部全体例会 (8月19日)



▲平成20年度全国会長研修会内定 (10月27日)

▶イメージソング
コンテスト
(10月1日)

▼創立20周年記念事業
「音の技と文化のまち New浜松」
(10月1日)



H.17年

主な事業

5日 青年部平成17年上半年期オリエンテーション
21日 平成17年度通常会員総会

- (1) 平成16年度事業報告(案)承認の件
- (2) 平成16年度収支決算(案)承認の件
- (3) 監査結果報告の件

- (4) 平成17年度青年部所属委員会の件
- (5) 20周年記念事業に関する登録料について
- (6) 平成17年度事業計画(案)審議の件
- (7) 平成17年度収支予算(案)審議の件
- (8) その他

記念講演会

テーマ「第10回商工会議所青年部連合会

全国大会 浜松大会のシナリオ」

講師 ㈱メディアアートプロダクツ

代表取締役 水野博氏

会員懇談会

24日 青年部公式HP勉強会

28日 6月度全体研修会「YEGのための
インターネット活用術」

～商青連のホームページから
はじめよう～

8日～9日 全国商工会議所青年部連合会

関東ブロック・浜松大会

●日時／昭和63年9月16日(金)・17日(土) ●場所／グランドホテル浜松



青年部への提言

山本陽一郎

全国大会実施のために私が最初に「商青連」へ派遣されました。そして「やらまいか精神」で「県連設立」「関東ブロック大会」「全国大会」へと突き進みました。私にはあっという間に過ぎてしまった「線香花火」のような3年間でした。しかし、よそ者の私には青年部での人脈がいまだに最大の人脈となっており、有意義な3年間でした。また昭和62年の商青連の役員たちで年一回、同窓会をやっています。いまだに12,3人が集まります。

青年部への提言ですが、青年部はいわば異業種の若手経営者の団体です、そして商工会議所は中小企業の経営を支援するところです。両者が協力して、青年部内に「異業種交流会」を作り、そこにおける成果を「起業」という形で実現すべく会議所が制度面・財政面で支援するということはどうでしょうか。

浜松は産業都市であり、全ての条件は揃っていると思います。青年部の全国的リーダーとして、全国に範をたれてほしいと思います。

第8回商工会議所青年部関東ブロック大会運営研究会浜松大会（日本商工会議所、全国商工会議所青年部連合会主催、浜松商工会議所青年部主管）は9月16日・17日両日にわたり行われ、鈴木修鈴木自動車工業社長の講演会、商、工、国際化、経営の4テーマに分かれた分科会、音楽をふんだんに盛り込んだイベント進行は関東地方から集まった参加者の評判も上々だった。

2日目は、ヤマハ本社工場見学、浜名湖巡り、ゴルフコンペ等で交流を深めた。



斉藤滋与史 静岡県知事



関東ブロック浜松大会の成功を誓って開かれた決起大会
—浜松市東伊豆1丁目のグランドホテル浜松で—

浜松市商工会議所青年部（伊豆）が主催する「第8回 商工会議所青年部 関東ブロック運営研究会 浜松大会」は、16日（金）と17日（土）の2日間にわたり、浜松市東伊豆1丁目のグランドホテル浜松で開催された。この大会は、全国商工会議所青年部連合会（全青連）と日本商工会議所（日商工）の共同主催で、浜松商工会議所青年部が主管を務める。この大会は、関東地方から約1,000名の参加者が集まり、鈴木修・鈴木自動車工業社長の講演会、商・工・国際化・経営の4テーマに分かれた分科会、音楽をふんだんに盛り込んだイベントなど、盛りだくさんのプログラムが予定されている。また、17日にはヤマハ本社工場見学、浜名湖巡り、ゴルフコンペなど、交流を深める機会も設けられている。

浜松大会の成功を

関東ブロック商議所青年部運営研究会

決起大会で決意

第一部 式典

総司会
神谷竹彦
大場三八子

- (1)開会のことば
- (2)「君が代」斉唱
- (3)「商工会議所青年部の歌」斉唱
- (4)主催者代表あいさつ(商青連、日本商工会議所)
- (5)主管青年部代表あいさつ
- (6)開催地商工会議所会頭あいさつ
- (7)来賓あいさつ
- (8)来賓紹介
- (9)参加青年部紹介
- (10)次期開催地発表
- (11)商工会議所青年部全国大会について
- (12)閉会のことば

第二部 記念講演

演題 「地域と企業」
ーやらまいか魂を語るー
講師 鈴木自動車工業株式会社
取締役社長 鈴木 修氏



第三部 分科会

第一分科会(事業)

テーマ 「今我々は何を・・・」
ー青年部会員100人に聞きましたー
(ズバリ！青年経営者の実態に迫る)

第二分科会(国際交流パネルディスカッション)

テーマ 「外国人女性のホンネ」
ー日本人へ言いたい放題ー

第三分科会(商業)

テーマ 「新交通システムで地方都市は蘇る」
ー浜松ゾーンシステムと中心商店街の活性化ー

第四分科会(工業)

テーマ 「企業サバイバル時代を乗り切れ」
ー浜松テクノポリスと新しい工業の方向ー
(浜松技術工業団地見学)

会場風景



第四部 懇親会



第五部 エクスカーション



討論にも熱

商工会議所青年部
関東ブロック浜松大会



9月17日、18日付 中日新聞掲載

第10回商工会議所青年部

全国大会・浜松大会

●日時／平成2年11月16日(金)・17日(土) ●場所／グランドホテル浜松



贈る言葉

水野 博

20年。これがひとりの男の人生に降る歳月だとしたら、その男は確実に老い始めているだろう。

時代との微妙な落差の中で若干古びた価値観をじっとにぎりしめ始める頃かもしれない。にもかかわらず、まるで『地上の星』の輪唱のような無数のプロジェクトXが20年の老いをくい止めて来たんだ。過去によって創られる明日など何ひとつないことを知っているから、今さらそのひとつにすぎないものを語りたくはない。飲み屋の片隅で『そうじゃねえだろう！』などと斜目で時代に嘯みついている初老の酔っ払いみたいなものだから。

ただ、いつの時代も、みじめなほどに手法は陳腐化するが、理念は決して色褪せない。

新しい手法で、色褪せることのない理念の、(明日のシナリオ)を書き継いでほしい。

現役メンバーの多くが成人式を迎えていた頃、最初のプロジェクトXが書き始められた。20年というのはそういう歳月なんだ。



神谷竹彦 大会会長



石川六郎 日商会頭



小林幹夫 商青連会長



栗原 勝 浜松市長



斉藤滋与史 静岡県知事

MEET
HAMAMATSU

みなさんをお迎えする 人とイベント。





アルビントフラー氏講演会～ あいさつするご夫妻



大いに盛りあがった懇談会



やうまい

現代はおけたい思想とアイデアの使い捨ての時代だ。
ヒト・モノ・カネの古色蒼然たる
経営感覚はすでに破綻している。
拼ぎ君まれた感性和情報、そして人的ネットワークが、
今日のトレンドを決めている。
今日の限と感性の共振が明日を形づくって行く。
「やっまいか」
未来を創るのは、今日の行動と、
人と人の連帯だけだから。

熱っぽく、パワーシフト論



トブラー氏が講演

最新の
自著 邦訳 控え初の紹介

[illegible]

年部全国大会 須松



WEL-COME



第10回
商工会議所青年部
全国大会

平成4年度

1. 政令指定都市を目指して
—21世紀へ向けての都市づくり
(環浜名湖合併)
 - ・ 合併についての考察
 - ・ 大学誘致についての考察
 - ・ 都市機能の充実化についての研究
 - ・ 政令指定都市PR方法
 - ・ 内部・外部団体とのアクセスについて
 - ・ 千葉市の事例研究
 - ・ 政令指定都市実現のプログラム
 - ・ 政策上のメリット
2. 外国人労働者に関する調査報告
 - ・ 外国人(日系人)労働者問題の背景
 - ・ アンケート調査結果
 - ・ 調査結果に対する考察
3. 「夢の街づくり、人づくり」における調査研究
 - ・ 交通体系
(2050年の新交通システム仮想)
 - ・ 文化施設
ファイバーパーク(繊維、布)、ミュージックストリート、オートバイワールド
オープン型ファクトリー
 - ・ 福祉都市とその基盤づくり
日常生活福祉対策(デイサービス、在宅サービス、ボランティア)
生き甲斐高揚対策
(老人公務員制度、老人海外協力派遣、老人小学校教室の設置)
健康増進対策
(健康診断の充実、機能回復訓練の強化)
住宅環境向上対策
(街中への老人専用賃貸マンションの建設、郊外への賃貸マンションの建設、看板及び自販機規制、老人世帯対策)
 - ・ 新都市に向けての環境
(水、大気、地上)
 - ・ 浜名湖総合研究所
(市民、行政、企業で運営)

平成5年度

- 県西部100万都市圏を目指して
- ・ 100万都市圏の情報ネットワークについての調査研究
100万都市圏域における情報の相互交換
浜名湖周辺から考えた情報システム
新情報システム
 - ・ 楽器の街から音楽の街へ
アクトシティーオープンを機に市民参加型のイベント提案
市民参加による「アクトミュージカル」の上演
 - ・ 新交通システムの将来の副都心について
モノレール(千葉方式)
 - ・ 人に優しい福祉都市づくり
音楽を福祉文化として
県西部100万都市圏における地域福祉

平成6年度

- 県西部100万都市圏の魅力あるまちづくり
- ・ 県西部100万都市圏の街づくり
誰もが音楽に参加できる街づくり
 - ・ 歴史と文化を生かした国際的な街づくり
浜松100年構想
「世界のへそCITYはままつ」
 - ・ 若者が集う大学のある街づくり
未来国際都市浜松における「トータルユニバーシティー構想」
 - ・ 大規模スポーツスタジアムを核とした街づくり
スポーツのメッカシティー構想(スタジアム)

平成7年度

「百万都市圏交流人口の増大を図る為の調査研究」

- ・もてなしの心…道の駅
- ・地域の自然とアウトドアライフの研究
市街地のレクリエーション(浜松城公園、新川の再利用)
サイクルロード(浜名湖)
山のアウトドア
- ・地域の特産名産品の再発見と今後の研究
インターネット、CD-ROM、紙面でのPR
ふるさとターミナル(アクトカントリー)の提案
新しい特産名産品の創出の提案
- ・マルチメディア化の中で情報ネットワークの研究
浜松観光案内CD-ROM製作に関する研究
浜松情報博物館

平成9年度

- ・音楽の街のあり方の研究
音楽の街づくり
私の街のパイプオルガン
ハーモニカで年末第九コンサート
街並みへの提案
- ・異業種交流のあり方の研究
地域活性化につながる新しい異業種交流のあり方
第1次産業、工業、商業、流通業のアクションプログラム
- ・東海道 空のシルクロードへの研究
航空自衛隊浜松基地と基地機能の有効利用への提案
民間共用化
F・F・Fパークネットワーク構想
- ・浜松のイベントの研究とあり方
より広い場所での「はままつ凧上げ祭り」
中心街の夜間営業
浜松公道エコグランプリの開催

平成8年度

西遠地域の交流と連携を核とした浜松のあり方調査研究

—古来遠江は水と緑と人の国だった—

- ・近隣都市との広域連合のあり方
三遠南信との交流・連携の核
地区毎の交流のあり方
- ・近隣都市との広域情報ネットワークの調査研究
西遠地域の観光及び自然、歴史、文化、産業、特産品等の案内CD-ROMの事業家に向けての提言
- ・交流による経済振興
手作り楽器工房
駅前情報提示
土産物としての浜松の特産物、名産品の展開
中田島砂丘の観光の実態と利用の仕方
凧上げ会場の利用実態と活用のあり方
- ・2004年国際園芸博覧会の調査研究
浜名湖周辺の現状(交通の現状)
交通アクセス・サイクルロード・新しい交通システム(ガイドウェイバス)

平成10年度

変革の時代、見つめよう足許・語ろう未来
テーマ①

足許を見つめて活力ある街づくり

A 浜松市のあり方を求めて

- ・アクトに病院や市役所の一部を
- ・ブラジル街
- ・商店街空店舗対策モデル事業
- ・浜松の未来文化の構築

B 浜松今昔横丁を作ろう

- ・今昔横町組合システム
- ・ゾーンコンセプト

テーマ②

浜名湖周辺の産業及び経済の振興の研究

A 21世紀の実験都市

- ・庄内半島エコポリス計画

B 新世紀の浜名湖創造

- ・日本のモナコを目指して

平成11年度

テーマ① はままつエコマインド21構想
(はままつ市民環境会議)

「人と自然がおりなす未来のハーモニー」

5つの基本理念

組織

はままつエコマインド21の概要

- ・交通・通信部会
- ・自然環境・観光部会
- ・産業経済・企業部会
- ・生活・地域社会部会

会則

テーマ② 起業家創生都市「はままつ」構想
(ものづくりの街のあり方)

キーワード: 象徴化、統合化

構想内容

- ・浜松産業博物館の建設
- ・起業家創生カレッジの開校
- ・新産業創出研究所の開設
- ・ものづくり技術伝承工房の設置

女性起業家が創る「新しいものづくりのまち」

21世紀への願い

平成12年度

メインテーマ

「夢と現実をみつめて」

サブテーマ①

「みんなが住みたくなる魅力ある街 浜松」ー21世紀、変革の時代を迎えてー

(1) 地方財源のあり方

国から地方へ税源と権限を委譲して地方税を充実し、税率比率(地方:国=39:61)を歳出比率(地方:国=65:35)に合わせ、地方独自のきめ細かな施策を行おう。

(2) 中心市街地の活性化

中心市街地活性化のポイントはアクセスの改善にある。車で行きやすくするために駐車場を確保し、LRT(新路面電車)など新しい交通システムの検討も始めよう。

(3) 教育・文化の充実

浜松独自の教育改革の一環として、学校を生涯教育の場として地域に開放しよう。図書館・公共ホール・視聴覚ライブラリーを充実させて、市民意識を向上させよう。

(4) 新基幹産業の創出

- ① ベンチャー市場…ベンチャー企業・既存企業・大学のマッチングの場を設けよう。
- ② 浜松投資ファンド…ベンチャー企業に既存企業や市民が投資する仕組みを作ろう。
- ③ 共同Hamamatsuオフィス…国内外の主要都市に浜松企業専用の事務所を作ろう。
- ④ Hamamatsu市場…インターネット上に浜松の企業をPRするサイトを設けよう。
- ⑤ IT百人町長屋…中心市街地の大型店跡ビルにITベンチャー企業を入居させよう。

(5) 環境問題への取組み

環境保護・保全についての施策が決定された経緯などを、行政がもっとオープンにわかりやすく説明することによって、市民の環境問題への参加意識を向上させよう。

(6) 魅力ある街の実現

国家権力の分散としての「地方分権」ではなく、地域住民の自己責任による「地方主権」を

行政・税制・法律・教育・産業の面で実現すれば、魅力ある街も実現する。

サブテーマ②

「国際共生都市 浜松」－日本の範となるために－

浜松には、外国人と共存していく先進事例を全国に向けて発信していく義務がある。

平成13年度

テーマ① 堀留運河ルネッサンス構想～アメージング・イン・はままつ～

(1)堀留運河復元&HORIDOME(堀留)タウン

市民の運河復元活動による交流拠点を創出する。

(2)F-FISHタウン&うなぎの街づくり

堀留運河を生かした水上交通ネットワークを構築するとともに、広域の観光集客拠点を整備する。

(3)産業観光ネットワーク&浜松フィルムコミッション

堀留運河を生かした産業観光の推進と“おもてなしのニュービジネス”を創出する。

テーマ② 生きがいのある街 はままつ ～ふれあう歓びとはたらく歓び

(1)ふれあいのまちづくり

・遊びの空間がある街

中心市街地にオープンスペースを！

こうすればオープンスペースは成功する

地域の公共スペースをもっと使おう

・わが町を語れる街

今こそ子供たちとコミュニケーションを！

「土曜教室」で学校を開かれた存在に！

(2)はたらく歓びの追求

・雇用問題へのアプローチ

・高齢者の就業を取り巻く環境

社会保障制度の「エアポケット」どう埋める

定年後も働く意欲はまだまだ旺盛

高齢者雇用対策は功を奏しているか？

・就業形態の変化－雇用から請負へ

高齢者雇用には限界が見え始めている

雇用に代わる請負型の就業！

多様な就業ニーズを吸収しきれないのが問題

・有能な人材を生かせる街

新たなシステム「シルバー人材ネット」とは

それぞれのメリットをまとめると

「人情情報ネット」

平成14年度

平成14年度政策提言委員会は、長期間題委員会・中期計画特別委員会・緊急課題委員会の3委員会が「地域を変える、浜松を変える！」という思いを抱き、それぞれの課題に取り組み提言を行った。

【長期間題委員会】

市町村合併後の浜松市を長期的な視野に立って見据え、市民が誇れる街づくりの提案を行いました。

『浜名湖ダイヤモンドクラスター都市(～地域ごとの個性の共演で世界都市へ～)』

☆都市の目標

- 市民生活を優先する都市
- 完全自治体である都市
- 個性ある都市
- 科学的な計画に基づき建設を進め社会的公平を貫く都市
- 地域環境を保全する役割を果たす都市
- 広域圏における正しい役割を果たす都市
- 安定成長を続ける都市

☆都市創造イメージ

個性ある都市＝歴史的条件、地方的伝統を踏まえ、同時に独自の新しい文化を産み出す創造的発展を思考する都市

☆ 市町村合併が都市創造の好機

☆ 浜名湖ダイヤモンドクラスター都市の趣旨

自然環境に恵まれ、農業生産高・工業出荷高は日本有数の好条件を持つ豊かな自然と都市機能が調和した新しい都市の創造を目指す。

☆ 地域ごとの街づくり

- アミューズメント地区
- 癒し系地区
- まちなか地区
- 産業先端地区
- スポーツ・コミュニティー地区

☆ “あこがれ”の都市を！

【中期計画特別委員会】

浜松商工会議所青年部20周年を迎えるにあたり、現状の認識と問題点の把握をし、次代への提言を行った。

『会員意識調査報告書(～HYEG20周年に向けて～)』

- ☆ 政令指定都市移行問題への取り組み
- ☆ 単年度事業から3年完結インキュベート型事業へ
- ☆ 委員会事業の見直し
- ☆ 役員予定者研修会の実施
- ☆ 会員増強

平成14年度

【緊急課題委員会】

提言時期を前期・後期に分け地域における緊急且つ重要な案件を提言

前期提言 ～浜松再生の足がかり～

☆大規模イベント後の継続的集客、土地施設利用についての提言

W杯イベント開催時に浜松市及び近隣地域の宿泊施設で行なったアンケートの集計結果を踏まえて上記テーマに沿った提言を行う。

☆産業再生問題を経済的視点から提言する。

中心市街地活性化のため、松菱跡地をどのように利用するか。

● 駐車場問題の模索

● 点と点を結んで

● 松菱跡地の利用

後期提言

「環浜名湖政令指定都市構想」への提言(広域合併のメリット・デメリット)

～合併は地域経済の発展にどのような効果を及ぼすか～

☆勉強会レポート

● 第1回講師 静岡大学人文学部 経済学科 教授 小櫻義明氏

● 第2回講師 総務省自治行政局行政体制整備室総務事務官 池田逸作氏

● 第3回講師 浜松市企画部長 飯田彰一氏

☆市町村合併と政令指定都市について

● 合併した場合

● 合併しない場合

☆市町村合併による産業別メリット・デメリットの考察及び提言

☆考察

私達自身が意識改革をしてどう変わるか？どう変わるのか？を考え実行していかなければならない。

平成15年度

＝平成15年度浜松商工会議所青年部 政策提言の全体テーマ＝

環境と共生する都市の魅力づくり、産業おこし、まちづくり

～天竜川・浜名湖地域・新市への提言～

テーマ① 北遠・浜名湖アクアユートピア構想

(1)永住者・長期滞在者支援計画(プロジェクト)

●農林畜産業への就職希望者支援(緑の雇用)、緑の公共事業(新しい森林管理事業)

・就職希望者(U・I・Jターン)受入れ、女性・高齢者の就業機会の創出、ボランティアへの指導者

●老後生活のための支援(定住、ロングステイ)

・空き家等紹介システム、昭和の生活文化博物館村(まちなみ)、庭・農園付家屋分譲

システム、手づくりログハウス支援システム

平成15年度

(2)中期・短期滞在促進システム

●北遠・浜名湖版クラインガルテンプロジェクト

- ・クラインガルテン(市民農園)、クラインガルテンビレッジ、間伐材利用の手づくりログハウスビレッジ、北遠・浜名湖型クラインガルテンシステム

(3)環境学習プログラムの構築

- ・環境ボランティア活動、環境調査、環境保全学習、産業体験学習、環境保全活動支援
- ・自然体験イベント、環境学習ツアー(エコツアー)、環境学習教室

(4)地域ブランドの創造プロジェクト

- ・地場産品の名物料理開発
- ・地場ブランド認定制度、コンテスト、環境にやさしいアクアユートピア商品認定、アンテナショップ設置

(5)環境保全プロジェクト

- ・森林の公的管理(放置山林を借上げ、森林学習体験や緑の雇用技術者育成)、動植物を育む森づくり
- ・間伐材活用、生活排水の改善(合併処理浄化槽普及等)
- ・環境保全のための財源確保(環境税創設、1口オーナー制度)

テーマ② 天竜川・浜名湖地域 地域資源活用型 新エコタウン構想

(1)自然資源の有効活用

●森林資源の活用

- ・間伐材の利用促進(公共施設等への積極利用、地元材の利用促進策(融資・助成・税制優遇))
- ・木質バイオマス発電(スギ・ヒノキの間伐材利用の発電、廃熱利用)

●太陽光資源の活用

- ・グリーン料金制度(自然エネルギーによる市民ファンド、市民共同発電所の設置)

(2)人的資源の活用と育成

●教育クラスター構想

- ・科学する人材の育成(自然環境教育、情報教育、技術教育)
- ・産学官共同の教育総合コンソーシアム(カリキュラム作成、教育支援、総合教育相談窓口)

●行政機能クラスター構想(中学校区での地域自治組織制度の導入)

(3)産業の連携強化

●生ゴミの再利用

- ・生ゴミの堆肥化(生ゴミと学校給食食べ残し利用の有機農法、家庭菜園利用)
- ・生ゴミから燃料電池発電(バイオガスプラントをつくる)

●資源リサイクル団地の創設(北遠地域)

- ・エコ団地によるリサイクル企業誘致、木質バイオマス発電による電力供給

●新市産業総合支援センターの創設(地域産業ネットの構築、地域の全産業地産地消)

(4)エコタウンに相応しい副都心 ～新市のヘソ・お勝手口の浜北新都市開発区を“副都心”に～

●副都心としての整備事業案(新市産業総合支援センター創設、静大工学部誘致、行政機能の集約立地、環境関連産業の誘致(エコ特区)、新交通システムの拠点)

●新交通システムの整備(LRT、電気バス、パーク&ライド)

※都心と副都心、北遠・引佐3町と副都心

●都市公社(仮称)の設立

- ・エネルギーの供給、新交通システムの整備・運営組織(企業・市民出資)

平成16年度

テーマ 環境と共生する次世代型政令指定都市を考える！

ー新・浜松市のスローライフなまちづくりー

(1)人と人とが触れ合う浜松「都心オアシス」ー都市機能集積ゾーンー

1. 浜松城公園の役割再構築
 - ・浜松城公園と市役所移転後跡地の融合構想
2. 来街機会と滞在時間の増加策
 - ・環境と共生した交通政策
 - ・滞在時間を延ばすための取り組み
3. 魅力ある街並みづくり
 - ・まちなかを憩いの空間に変える
 - ・浜松サントノーレ構想
 - ・まちなかに人が住む
 - ・企業立地の優遇策
 - ・魅力的な店、浜松ブランドの店を創る

(2)ウエルネス観光都市ー産業・観光振興ゾーンー

1. ウエルネス観光都市
 - ・まちづくりのテーマ
 - 「健康と癒しをテーマにした地域づくり」「地域との共生」
 - 「産業・観光・健康とのコラボレーション」
 - ・地域資源を活用した健康づくりの推進
 - ・健康と癒しをテーマにした地域づくり
 - 「ウエルネスセンター」「ヒーリングエリア」「ウエルネス・スパ」
 - 「最新検診センター(PET検診)」「スポーツリハビリ施設」「サイクルセンター」「屋外施設」
 - ・地域との共生
 - 「浜名湖ウエルネスパーク(健康文化公園)構想」
 - 「浜名湖横丁(地産地消のアンテナショップ)」「ウエルネスフーズ」
 - ・産業、観光、健康のコラボレーション
 - 「オンリーワンのまちづくり」「新健康産業の創出」「行政との連携」
 - ・ウエルネス観光都市宣言

(3)天竜川森林文化アカデミー構想ー森林活用・保全ゾーンー

- ・天竜川森林文化アカデミー
- 基本理念: 森林に関する「研究・教育・総括」をするための機関
- 目的: スローライフな暮らしと産業の創造
- 運営体制: 静岡県と新浜松市の共同設置による公設民営方式
- 構想イメージ: 森林保全事業・木質バイオマス事業・エコツーリズム事業
- 循環システム確立事業・北遠森林文化アカデミー校の設立
 - ・北遠地域生活基盤整備
 - 「生活基盤整備の必要性」「生活基盤整備のメニュー」「森林効果による療養施設」

(4)政令市に相応しい市民セクター組織と制度の提案ー新・まちづくり組織ー

- ・全市のシンクタンク組織の提案「市民活動団体等のつなぎ役」
- (仮称)NPO法人 浜松シティシンクタンク
- 機能: 「市民間や地域間をつなぐ中間支援機能」「政令市の産・学・官の知恵袋」
- 「市民の意見を吸い上げる政策提言」「実践・実行型の地域活性化集団」
- ・新・浜松市版まちづくり交付金の創設

政策委員会年表

昭和
61年度

- 4月22日「浜松市中心市街地交通管理計画について」講師 浜松市都市計画課長 袴田哲朗氏
- 6月17日「空港建設と交通体系の整備」講師 浜松商工会議所交通運輸通信部会 部会長 久野幸夫氏
- 8月19日「浜松地域テクノポリス建設」講師 浜松市 商工部長 鎌田素夫氏
- 9月16日「三遠南信トライアングル構想」講師 中部経済連合会 常務理事 外山公司氏

昭和
62年度

- 6月10日 広域事業分科会 「三遠南信トライアングル構想」「空港問題」について意見交換
- 9月9日 「三遠南信自動車道(トライアングル構想)」アンケート原稿作成
- 10月20日
- 2月2日 広域事業分科会 「三遠南信自動車道(トライアングル構想)」アンケートまとめ
- 3月8日
- 3月10日 青年部全体例会 (政策研究委員会担当) テーマ「中部経済圏から見た浜松の魅力」
講師 中部ガス(株)代表取締役社長 神野信郎氏

昭和
63年度

- 11月29日 三遠南信研究小委員会 三遠南信トライアングル構想及びHIT構想に関する4地区合同パネルディスカッション
テーマ「広域からみたトライアングル構想を考える」
パネラー 北林昇氏(飯田) 高須博久氏(豊橋) 松山泰久氏(伊勢) 伊藤雅章氏(浜松)
コーディネーター 羽生紀夫氏
- 2月15日 政令指定都市研究小委員会 政令指定都市パネルディスカッション テーマ「浜松地域のまちづくりと政令都市について」
パネラー 明石為次氏 稲勝哲夫氏 庄田功氏 鈴木賢一氏 伊藤雅章氏 久野富男氏

平成
元年

- 9月4日 「政令指定都市について」 担当副部長及び正副委員長 浜松市企画課との懇談会
- 10月5日 「政令指定都市について」 担当副部長及び正副委員長にて石野部長を訪問
- 2月15日 全体会議 政令指定都市講演会 テーマ「地方中核都市の自立と政令指定都市構想について」
講師 東海大学法学部教授 遠藤文夫氏

平成
2年度

- 9月8日 大学誘致小委員会 浜松西高校・浜松商業高校校長との懇談 (1)大学誘致アンケート調査実施について
- 11月14日 大学誘致アンケート用紙配付
- 12月3日 大学誘致アンケート用紙回収
- 12月10日 大学誘致小委員会 (1)アンケート用紙集計・分析

平成
3年度

- 5月9日 政令指定都市に関する勉強会 講師 前年度事業委員会担当副部長 佐藤利弘氏
- 7月23日 政令指定都市に関する勉強会 講師 仙台市開発局計画部長 村上茂氏
- 11月14日 政令指定都市に関する懇談会
(1)「政令指定都市」実現化のプロセスと課題
(2)政令指定都市後の感想と政策課題
(3)浜松の開発と街づくりの状況
(4)広島から見た浜松のイメージ

平成
4年度

- 10月8日 政策研究視察会 第1ブロック 「2020年の旅」懇話会
～9日 運輸省運輸政策局 統括補佐官 関口幸一氏 他
参議院議員 野末陳平氏との懇談
経済情勢と地域開発
国政ビジョン懇話会
(社)国土政策研究会理事 佐藤英雄氏 他



- 平成5年度**
- 5月20日 県西部100万都市圏構想勉強会（主管：三ヶ日町商工会青年部）
 - 7月2日 「西遠街づくりフォーラム」周辺商工会青年部との懇談会出席
 - 8月2日 第4ブロック小委員会 テーマ「県西部100万都市圏の福祉社会づくりについて」
講師 聖隷福祉事業団 理事・社会福祉部長 益田昇氏
 - 10月25日 第4ブロック小委員会 テーマ「県西部100万都市圏の福祉社会づくりについて」 講師 聖隷学園浜松衛生短期大学
- 平成6年度**
- 7月11日 第4回例会（講師例会） テーマ「地域活性化について」
講師 （社）静岡政経研究会理事 地域産業研究所 所長 田中孝治氏
 - 9月9日 第6回例会（講師例会） テーマ「徳川家康と郷土の歴史」
講師 浜松史蹟調査顕彰会 専門委員 山下孝氏
 - 10月28日 小委員会 テーマ「HAMAMATUの街づくり」について
講師 （株）三菱総合研究所 地域政策部地域計画研究室 副研究員 鈴木文彦氏
 - 1月24日 記念講演会（臨時会員総会）「広域連合都市構想」
講師 静岡県立大学経営情報学部 教授 大坪檀氏
- 平成7年度**
- 8月3日 第5回例会（講師例会）「危機管理と情報ネットワークの構築について」～警察経営よもやま話～
講師 城内康光氏（前警察庁長官）
 - 11月27日 査研究会 「隠れた名産・特産品」の発掘、調査
 - 3日14日 「交流人口の増大を図るための西部百万都市圏のあり方調査」
- 平成8年度**
- 6月12日 第3回例会（講師例会）「浜名湖汽水500年イベントと国際園芸博覧会の開催について」
講師 静岡県議会議員 田中太四雄氏
 - 9月6日 第6回例会 静岡市内商業施設視察会
 - ①浜松駅ビル「メイ・ワン」視察
 - ②浜松ターミナル開発（株） 二橋常務との懇談
 - ③JR東海（株） 佐々木営業部長との懇談
 - ④アスティ内部商店街視察
 - ⑤紺屋町・呉服町・七間町商店街視察
 - ⑥呉服町商店街若手経営者との懇談
 - ⑦静岡商工会議所青年部との懇談
- 平成9年度**
- 6月11日 第3回例会（講師例会）
 - ①「浜松空港としての基地利用の展望」 ゲスト 浜松防衛団体連合会会長 久野幸夫氏
 - ②小委員会活動について
 - ③その他
 - 9月24日 小委員会（井口グループ）音楽振興課訪問
静岡県中遠農林事務所 小委員会（青木グループ）中遠地域青年農業士連絡会との交流
 - 11月12日 政策提言委員会「調査会」
 - ①愛知県商工部「21世紀国際博覧会推進局」
 - ②名古屋商工会議所「若鯉会」



政策委員会年表

平成
10
年度

- 6月10日 第3回例会（講師例会）「しずおか国際園芸博覧会事業概要について」
講師 静岡県企画部企画課 国際園芸博覧会準備室 主幹 守屋正伸氏
- 7月4日 小委員会 国際園芸博覧会予定地 現地調査
- 9月25日 政策提言委員会「調査会」
①新横浜ラーメン博物館
②横浜みなとみらい21
③クイーンズスクエア横浜
- 11月3日 小委員会 国際園芸博覧会 庄内地区推進協議会 訪問、情報収集

平成
11
年度

- 11月26日 政策提言委員会「調査会」
(財)ソフトピアジャパン
- 3月7日 政策提言委員会 提言書報告会

平成
12
年度

- 10月13日 政策提言委員会「調査会」
・埼玉県新都心総務課
・与野市政策企画部
・さいたまスーパーアリーナ
・浦和・大宮・与野市合併協議会
・川崎商工会議所
・川崎市市民局人権男女共同参画室

平成
13
年度

- 6月12日 第3回例会 グループディスカッション
ゲスト 「にぎやかし応援団」代表 芥川栄人氏
「にぎやかし応援団」兼「はままつ生き生きネットワーク」 石田美枝子氏
浜松市役所 保健予防課 長田治義氏
- 10月23日 政策提言委員会「調査会」
・堀留運河・伊場遺跡
・浜名湖養魚漁業協同組合
・静岡国際園芸博覧会会場
・館山寺観光温泉協会

平成
14
年度

- 6月18日 第3回例会 講師例会 「復活させよう浜松人の自信と誇り」 静岡文化芸術大学 助教授 南学氏
- 8月27日 第5回例会 緊急課題委員会 前期提言発表会
提言発表①「W杯サッカーイベント後の施設利用集客等について」
提言発表②「中心市街地活性化における松菱百貨店跡地の有効利用について」
- 10月16日 第7回例会
勉強会①「政令都市浜名湖市構想について」静岡大学人文学部 経済学科教授 小櫻義明氏
- 11月14日 勉強会②「市町村合併に伴う政令指定都市構想について」総務省自治行政局行政体制整備室総務事務官 池田逸作氏
- 12月13日 勉強会③「政令指定都市浜名湖市構想について(市の見解)」浜松市企画部 部長 飯田彰一氏
- 12月16日 勉強会④「政令指定都市浜名湖市構想について(県の見解)」静岡県総務部市町村行政室分権広域スタッフ 主幹 山崎章二氏
- 1月24日 政策提言発表会
①長期間問題委員会「浜名湖ダイヤモンドクラスター都市」
②緊急課題委員会「広域合併のメリット・デメリット」
③中期計画特別委員会「会員意識調査について」



平成
15
年度

- 6月17日 第3回例会 講師例会 「2010年の浜松地域の姿」～園芸博・市町村合併・政令市の後に来るもの～
講師 NPO伊豆専務理事・地域づくりアドバイザー 田中孝治氏
- 9月17日 青年経済団体アイデア調査 合併・政令市移行後の新市政策提言アイデア調査
- 10月4日 市民アンケート調査 市町村合併と政令指定都市に関する市民アンケート
- 12月4日 パワーポイント講習会
①基本操作
②応用編
③効果的テクニック(図形・スライドマスタ・アニメーション ほか) 講師 青年部会員 小杉素充氏
- 1月23日 政策提言発表会
テーマ①「北遠・浜名湖アクアユートピア構想」～北遠・浜名湖地域のまちづくりへの提言～
テーマ② 天竜川・浜名湖地域「地域資源活用型 新エコタウン構想」
- 3月16日 市長との意見交換会 「青年部政策提言に関する浜松市長との意見交換会」

平成
16
年度

- 5月18日 第2回例会 講師例会 「新市が目指すまちづくり」
- 7月2日 北遠地域視察勉強会 北遠地域1市2町の視察研修会 天竜市、水窪町、春野町
- 8月7日 ワークショップ 新浜松市民によるワークショップ開催について
- 8月20日 第5回例会 講師例会 「浜名湖周辺の観光振興について」
①ワークショップの取り組みと発表
- 9月21日 第6回例会 講師例会 「メディアを通して見た新浜松政令市」
政策提言発表会
- 1月21日 テーマ「環境と共生する次世代型政令指定都市を考える」～新・浜松市のスローライフなまちづくり～
- 3月15日 市長との意見交換会 北脇浜松市長への政策提言書報告・意見交換会



研修委員会年表

昭和
61
年度

- 8月16日 「三遠南信トライアングル構想」 講師 中部経済連合会常務理事 外山公司氏
- 11月20日 委員会担当講演会
「感性豊かな青年経営者になるために」 講師 ライフデザインオフィス 代表 岡島隆子氏
- 2月12日 委員会担当講演会「国際化、情報化のなかの浜松」
- 2月23日 委員会担当講演会「産業構造の転換と企業ダイナミズム」
- 9月24日 視察研修会
～25日 (財)金沢コンベンションビューロー視察研修
金沢市文化ホール、金沢市観光会館、石川県産業展示館 施設調査

昭和
62
年度

- 10月8日 講演会
テーマ「私のビジネスから見た日本、東南アジア、米国」 講師 ダウケミカル日本(株) 化成品部長代理 西村竜強氏
- 2月7日 タイ・シンガポール実情視察会
～13日

昭和
63
年度

- 6月22日 春日井青年部との交流会
テーマ 組織と事業内容について
地域活性化における若手経営者の役割
- 11月2日 視察会
～3日
- 2月17日 全体研修会「消費税講習会」

平成
元
年度

- 7月15日 「ウインドサーフィン体験セミナー」
～16日
- 9月2日 奥山青壮年研修所「潜在能力開発セミナー」
～3日
- 2月10日 「ゴルフ体験セミナー」

平成
2
年度

- 11月16日 第10回商工会議所青年部全国大会(記念講演部会担当)
～17日
- 2月17日 長野県産業観光事情視察会開催(富士通長野工場など視察)
～18日
- 2月26日 アルビン・トフラー氏講演会ビデオ観賞会開催

平成
3
年度

- 5月23日 第1回全体例会
テーマ「浜松の第一印象と将来について」 講師 (株)第一勧業銀行浜松支店 支店長 神田紘爾氏
- 7月31日 第2回全体例会
テーマ「アクトシティと浜松」 講師 (株)アクトシティコーポレーション 取締役社長 中川亨英氏
- 9月28日 第1回心身リフレッシュセミナー 浪合村
～29日 現地青年部との意見交換会
- 10月7日 第3回全体例会
テーマ「学校医として最近気がかりなこと」 外国人子女の識字教育と健康管理上の配慮について
講師 岡本小児科医院 院長 岡本敏子氏



平成
4
年度

- 5月28日 第1回全体例会
テーマ 世界はこう変わる 「東西文明800年周期交代の法則」 講師 文明法則研究所 所長 林英臣氏
- 7月25日 心身リフレッシュセミナー
～26日 テーマ「高原でお茶を」 於 トンキラ農園
- 9月21日 第2回全体例会(公開例会)
第1部 「CATVの今までとこれから」 講師 エル・シー・ブイ(株) 代表取締役社長 山田武志氏
第2部 「浜松のCATV計画」 講師 浜松ケーブル企画(株) 総務部長 小塚静男氏
- 10月21日 第3回全体例会
テーマ ～21世紀型企業の条件～「これから求められる企業戦略」 講師 常葉学園浜松大学 助教授 坂本光司氏
- 2月18日 第4回全体例会(公開例会)
テーマ「ボケやすい人は40代の生活に問題がある」 講師 医学博士 志賀貢氏

平成
5
年度

- 5月21日 第1回全体例会 講演会「おかねのはなし」 講師 遠州信用金庫 常務理事 山本長行氏
- 7月17日 第2回全体例会 心身リフレッシュセミナー 「井川ダムとSLの旅」
- 11月20日 全体研修会
～21日 ①ハイタッチリサーチパーク
②大阪ツインタワー
③太秦映画村
- 2月18日 公開例会 講演会 「日本経済のゆくえ」 講師 参議院議員 野末陳平氏

平成
6
年度

- 5月24日 第1回全体例会 テーマ「流通業界の今後について」 講師 静岡県商工労働部 次長 吉岡徹郎氏
- 7月7日 心身リフレッシュセミナー 於春野町
・白井(宝塚)記念館
・やしお窯(陶芸体験教室)
・ログベンションシンフォニー
- 9月20日 第2回全体例会 テーマ「マルチメディアとビジネスチャンス」 講師 東海電気通信管理局 無線通信部長 田中秀一氏
- 11月8日 若手後継者等体験研修事業(北陸地区体験研修)
～9日 高松機械工業(株)
・(株)ゴールドウィン

平成
7
年度

- 6月17日 第1回全体例会「マルチメディアでおもてなし」
情報センター …… 静岡県マルチメディア情報センター視察会
・マルチメディアソフト制作デモ
・マルチメディア体験ゾーン他
開春楼 …… 「もてなしの心」講演会・食事会 講師 開春楼 女将 間瀬由利子氏
- 7月18日 第2回全体例会 「首都機能移転～私はこう考える」 講師 スズキ(株) 取締役社長 鈴木修氏
- 11月1日 三遠南信地域交流会
・飯田商工会議所青年部
・豊橋商工会議所青年部
- 12月7日 浜松商工会議所青年部創立10周年記念事業
- 2月8日 フィリピン視察研修会
～12日 《訪問先》 ・通産省投資委員会 ・エストラダ副大統領、アキノ元大統領表敬訪問
・川崎汽船マニラ駐在員事務所 ・宮坂ポリマーフィリピン
・ラグナ・テクノパーク工業団地 ・マスタフィリピンズ
・フィリピン・ライト・インダストリー&サイエンスパーク



研修委員会年表

平成
8
年度

- 5月31日 自ビール仕込み作業 講師 エヌビー静岡
- 6月7日 第1回全体例会「つくらまいか！青年部“自ビール”」～手造り地ビール製造講習会～
- 7月18日 第2回全体例会「ニコニコ・ハキハキをモットーに！」～情熱はすべてを支配する～
講師 国際海洋高等学校校長 井脇ノブコ氏
- 9月13日 浜松市フルーツパーク事前見学会
- 9月27日 飯田商工会議所青年部との交流会及びまちづくり視察会
～28日 ◇企業視察 夏日光学(株) 宮下社長・夏目専務
◇まちづくり講演・市街地視察 飯田市まちづくり推進室 高橋室長
◇飯田商工会議所青年部との交流会
◇大平宿 大平宿をのこす会 羽場崎氏
- 2月13日 第3回全体例会「カラーコーディネート講座」～わたしってどんな色 メッチャいけてる色彩見つけたゾー！～
講師 (財)日本色彩研究所 色彩講師 松永一生氏

平成
9
年度

- 7月18日 第3回全体例会「やさしくなければ生きていく資格がない」講師 松菱商事(株)取締役社長 林本和俊氏
- 9月16日 第4回全体例会「ブラウザーソフトの賢い使い方」講師 (株)シー・アイ・エム 代表取締役 渡邊精徳氏
- 10月21日 第5回全体例会「環境と私の青春」講師 (株)ヨシケイ浜松会長 渡邊虎雄氏
- 2月9日 第15回商工会議所青年部全国会長研修会
第7回全体例会「日本の将来これでいいのか？～高齢化と少子化問題～」講師 野末陳平事務所 野末陳平氏

平成
10
年度

- 5月27日 第1回全体例会「元気印企業の7つの経営法則」講師 浜松大学 教授 坂本光司氏
- 8月4日 第2回全体例会「取引先倒産の噂を聞いたときの心構えと、即座に行うべきこと」講師 弁護士 田畑知久氏
- 9月16日 第3回全体例会「健康と高齢化社会」講師 老人保健施設すずかけの街 施設長すずかけ病院 名誉院長 平出光氏
- 11月24日 第4回全体例会「プロサッカーチームの経営ノウハウを学ぶ」
講師 (株)ヤマハフットボールクラブ 強化育成部長 桑原隆氏
- 2月16日 第5回全体例会「ホテルオークラ流の応対テクニック」
講師 (株)オークラアクティシティホテル浜松 総支配人 丸尾寛治氏

平成
11
年度

- 6月15日 第1回全体例会「北脇新市長の語る21世紀の夢、浜松新創造」講師 浜松市長 北脇保之氏
- 9月14日 第2回全体例会 第1部 事例発表 「地元で頑張る100年企業紹介」
第2部 講演会 「不倒企業300年の知恵」
講師 泉秀樹氏
- 10月19日 第3回全体例会兼公開例会 映画「アイ・ラブ・ユー」上映
- 2月23日 第4回全体例会 「21世紀のビジネスチャンスに向けて」 静岡大学情報学部との意見交換会
- 3月7日 第5回全体例会 政策提言書報告会

平成
12
年度

- 4月28日 第1回全体研修会 テーマ「浜松市の都市戦略」講師 浜松市長 北脇保之氏
- 5月26日 第2回全体研修会 「小田原地域の元気印企業」視察会
～27日・パノラミックすずひろ・神尾食品工業
- 7月18日 第3回全体研修会 テーマ「インターネットビジネス成功の条件」講師 (株)アーティス 代表取締役 池谷義紀氏
- 9月7日 第4回全体研修会 「21世紀の開発と環境を考える」視察会
・小笠山総合運動公園建設事務所・小笠山スタジアム「エコパ」・資生堂掛川工場
- 9月19日 第5回全体研修会 テーマ「アントレプレナーズと素敵な仲間たち」
講師 商青連 アントレプレナーズ委員会 委員長 竹川博子氏



平成
13
年度

- 4月26日 街づくり鼎談 テーマ「目指せ技術と文化の世界都市はままつ」
浜松市長 北脇保之氏 浜松商工会議所 副会頭 中山正邦氏 浜松商工会議所青年部 会長 青木邦章氏
- 5月23日 第1回全体研修会 テーマ「～“我国にとってのIT革命とは？”を考える ～中小企業にとってITのもたらす影響とは？」
講師 静岡大学 情報学部 学部長 徳山博干氏
- 9月7日 国内視察研修
東京都千代田区「CSマネジメント研修」視察会
栃木県宇都宮市・京急百貨店・帝国ホテル・宇都宮餃子館
- 10月7日 第2回全体研修会(ものづくりシンポジウム) テーマ「はままつ“ものづくり”産業に求められるものとは」
パネリスト：静岡文化芸術大学教授 伊坂正人氏
浜松商工会議所 副会頭 柴田義文氏
浜松商工会議所青年部 会長 青木邦章氏
- 11月27日 第3回全体研修会 テーマ「知って得する商工会議所の活用法」
事例発表：浜松商工会議所青年部 顧問 高部三司氏 浜松商工会議所青年部 会長 青木邦章氏
- 2月6日 公開講演会 テーマ「これからのIT活用」 講師 M&M研究所代表 三石玲子氏
- 2月14日 タイ王国 海外視察研修
～18日

平成
14
年度

- 8月30日 第1回全体研修会(公開) テーマ「もてなしの心がビジネスを創る ～伝説のホテルマンが語る‘人’に感動を与える極意」
講師 (株)ホテルオークラ 常任顧問 橋本保雄氏
- 10月8日 第7回例会 公開講師例会 テーマ「浜松商工会議所の情報システムについて」
講師 浜松商工会議所情報推進課 松尾秀樹氏
【研修・ビジネス交流合同】 ①国内視察研修会について
②第2回全体研修会について
③その他
- 10月18日 国内視察研修会 視察先
～19日 ①伝統のものづくり「宮坂醸造(株)」
②歴史の宿「金具屋」
③街づくり第3セクター「ア・ラ・小布施」
- 11月18日 第2回全体研修会 テーマ「ランチェスター戦略セミナー」 講師 No.1戦略研究所 所長 矢野新一氏
- 2月6日 第3回全体研修会 「炎の研修会」
テーマ①「今、伝票が消える～情報活用がもたらすコストダウンと・「トレーサビリティ」に係る先端危機管理～」
講師① (株)ニュートラル 代表取締役 川辺春義氏
テーマ②「労務一般～行列のできる労務相談所～」
講師② 青年部会員 伊藤弘人氏
テーマ③「旅の楽しみ方 ～カリスマ添乗員が語る、旅の楽しみ方～」
講師③ 司会：青年部会員 古橋昌直氏
パネラー：青年部会員 岡田守弘氏
パネラー：青年部会員 藤川敏氏
パネラー：青年部会員 田辺真氏
パネラー：青年部会員 照井宏和氏
テーマ④「学校教育の現場から ～お父さん、お母さん、正しく子どもと向き合っていますか？～」
講師④ 浜松市教育委員会 指導主事 夏目稔三氏



研修委員会年表

平成
15
年度

- 7月11日 兵庫県淡路島 国内視察研修会(政策提言委員会との共創事業)
～12日・園芸博跡地「淡路夢舞台」「明石海峡公園」視察
・神戸市の震災復興に関して「神戸新聞社」視察
・人と防災、未来センター視察
- 10月30日 全体講師例会「経営者・管理者の危機管理講話」
第1部 テーマ「改正労働基準法の対応はお済みですか？」～雇用問題に対する危機管理～
講師 静岡県西部労務管理事務所 鈴木英文氏
第2部 テーマ「現在の犯罪傾向を現役警察官に聞いてみませんか？」～犯罪に対する危機管理～
講師 静岡県警察本部刑事部捜査第四課 課長補佐 伊藤英夫氏
- 1月23日 政策提言発表会(政策提言委員会と共催)
- 3月6日 地方分権 タウンミーティング イン はままつ ～三位一体改革後の地方都市の自立を考える～
登壇者：総務大臣 麻生太郎氏
関西学院大学教授 小西砂千夫氏
(社)日本青年会議所直前会頭 揚原安磨氏
天竜川・浜名湖地域合併協議会会長(浜松市長) 北脇保之氏

平成
16
年度

- 4月16日 通常会員総会記念講演会 テーマ「青年部の魅力」
講師 (株)サカエ 代表取締役社長 神谷竹彦氏(当青年部5代目会長、現 当青年部参与)
- 7月9日 第1回全体研修会テーマ「チャレンジ・スピリット ～一生懸命は感動を生む～」
講師 大村工業(株) 代表取締役 大村巧氏
- 8月24日 第5回例会 ①報告その他 公開例会テーマ「全国と県内の経済動向について」「金融機関との上手な付き合い方」
講師 日本銀行静岡支店 支店長 安永隆則氏
- 9月16日 国内視察研修会(政策提言委員会との共創事業)
～17日・日本銀行本店視察(現状の経済状況について)・さいたま新都心(合併後の新市の在るべき姿について)
- 2月5日 第2回全体研修会(事業委員会との共創事業)「第一回商工会議所青年部ビジネス交流会」
講演会テーマ「イオンの経営戦略 ～市場としての浜松市～」
講師 イオン浜松志都呂SC GM鈴木真琴氏
ビジネス交流(青年部メンバーによるグループディスカッション)



事業委員会年表

昭和
63
年度

- 2月20日 ヘリポート講演会 テーマ「限られた陸上交通への挑戦」
講師 (株)地域航空総合研究所 取締役 船見登氏
- 2月16日 (財)群馬県航空振興公社 視察会
～17日 東京都シティアリリンク(株)
- 2月22日 中日本航空(株) 視察会
～23日 飯田商工会議所 視察会
他地区青年部、青年団体との交流(地域交流)
- 5月26日 青年経済団体合同役員交流会
- 6月22日 春日井商工会議所青年部との交流会

平成
元
年度

- 7月11日 「労働力不足関係懇談会」(労務雇用分科会) ゲスト 浜松公共職業安定所所長 工藤駒夫氏
- 8月2日 講演会「地方イベントと都市開発」(イベント分科会)
講師 (株)電通都市開発センター都市計画部 部長 川本直彦氏
- 12月14日 大阪21世紀協会との懇談会(イベント分科会)
(1)御堂筋パレード事業について
(2)同協会の組織・運営について
(3)イベント事業に関する意見交換

平成
2
年度

- 12月19日 地場産品保存調査研究会
産業資料博物館先進事例視察研修会
(1)東京農工大付属繊維博物館
(2)武蔵野音楽大楽器博物館
(3)自転車文化センター

平成
3
年度

- 5月9日 委員会全体会議 「政令指定都市に関する勉強会」
- 7月4日 浜松ホトニクス(株) 晝馬輝夫氏との懇談会
「政令指定都市構想シンポジウムの内容について」「浜松県構想について」
- 7月23日 会員全体会議 「政令指定都市仙台の現状について」 仙台市都市開発局 計画部長 村上茂氏
- 12月6日 基調講演「新世紀都市圏構想について」
浜松ホトニクス(株) 代表取締役社長 晝馬輝夫氏
シンポジウム「県西部100万都市圏をめざして」 ～創ろう浜松・新世紀～
パネラー 浜松市長 栗原勝氏

平成
4
年度

- 7月16日 講演会 「ニューメディアの現状と展望について」 (株)メディアアートプロダクツ 代表取締役 水野博氏
- 9月21日 講演会 「CATVの今までとこれから」 エル・シー・ブイ(株) 代表取締役社長 山田武志氏
「浜松のCATV計画」 浜松ケーブルテレビ企画(株) 総務部長 小塚静雄氏
- 10月4日 音楽イベント(秋まつり) ピートルズナンバー 3団体参加

平成
5
年度

- 5月20日 三ヶ日町商工会 同商工会青年部との県西部100万都市圏構想勉強会
- 6月15日 浜松市企画課 中核都市について勉強会
- 7月2日 21世紀倶楽部 西遠地域商工会青年部との連絡会 西遠25名(11商工会) 当所9名
- 10月22日 講演会 「今、外国人が増えている。」 講師 東洋大学助教授 喜多川豊宇氏
- 12月3日 視察会 ～拠点都市に関する調査事業のため～ 豊橋・飯田商工会議所視察
～4日



事業委員会年表

平成
5
年度

12月14日 第2回西遠まちづくりフォーラム

平成
6
年度

8月11日 「地域開発懇談会」 ・静岡経済研究所 研究部長 佐藤克昭氏
・三菱総合研究所 開発戦略研究室 鈴木文彦氏

平成
7
年度

7月6日 第4回例会 「ようこそ浜松 ～もてなしの心～」 (講師例会)
講師 オークラアクトシティホテル浜松 取締役総支配人 板橋宣威氏
10月8日 秋まつり 音楽イベント(ジャズ演奏)実施 ※雨天のため 綱引き大会・和太鼓とジャズの共演は中止となりました。

平成
8
年度

5月21日 第2回例会 事業委員会主催講師例会
・第4次浜松市総合計画構想について
・中核市の概要について 講師 浜松市企画部企画課 課長 金子治夫氏
6月25日 西遠地区まちづくりフォーラム (木伏委員長・池谷副委員長参加)
9月14日 豊橋市制90周年記念事業 「炎の祭典」 見学・豊橋YEGとの懇談会
9月27日 飯田商工会議所青年部との交流会及びまちづくり視察会
～28日 ◇企業視察 夏目光学(株) 宮下社長・夏目専務
◇まちづくり講演・市街地視察 飯田市まちづくり推進室 高橋室長
◇飯田商工会議所青年部との交流会 (飯田YEG11名)
◇大平宿 大平宿をのこす会 羽場崎氏
11月28日 西遠地区まちづくりフォーラム 浜松商工会議所青年部 26名参加
西遠地区商工会青年部 71名参加 (11青年部)
1月30日 「まちづくり座談会」
ゲスト ・杉山観光開発(株) 代表取締役 伊東政好氏
・(有)笠井屋 代表取締役 小野江隆氏
3月30日 浜松商工会議所青年部ホームページ開設
「環浜名湖ワールドへようこそ」 アドレス：<http://www.inh.co.jp/chamber/>

平成
9
年度

5月13日 第2回例会(講師例会) 講師 「公園を愛する会」 事務局長 清川紘二氏
6月27日 「諏訪湖」調査会 ～諏訪湖を活用した地域活性化について調査～
～28日 ◇諏訪市役所企画課にて担当課長より説明並びに懇談
(1)諏訪湖周辺の観光事業等
(2)諏訪湖の環境浄化等について
◇諏訪湖周辺の文化施設・観光施設調査
10月19日 「佐鳴湖フェスタ'97」
①朝市・フリーマーケット
②浄化事業紹介
③佐鳴湖周遊体験
④模擬店



平成
10
年度

- 10月3日 第7回例会 '98テクノ遊園地事前準備
'98テクノ遊園地
①科学技術のおもしろさ体験
②オートバイメーカー1号機の展示
③ゲーム機の体験(ロボット)

平成
11
年度

- 10月3日 浜松今昔街道
①浜松の昔と今の展示
②模擬店
③まちなみ体感・スタンプラリー

平成
12
年度

- 10月8日 パワーアップハママツ
①綱引き大会
②大学、専門学校の紹介及び活動PR
12月11日 パワーアップハママツ デザイン画コンクール審査会

平成
13
年度

- 10月7日 浜松発!ものづくりフェスタ2001
①ものづくりシンポジウム
②オートバイパレード、クラシックカーパレード
③オートバイ展示
④ウルトラクイズ
⑤模擬店

平成
14
年度

- 10月5日 「浜松ウナギ・アズ・ナンバーワン2002」(来場者数17万人)
①神田川俊郎氏トークショー
②うなぎ創作料理コンテスト
③うなぎ元気横丁
④うなぎミュージアム
⑤うなぎアトラクション ほか
12月21日 「はままつ冬の蛍フェスタ2002/Hot! Light! X'mas! 2002」
①仮装行列
②ビンゴゲーム大会

平成
15
年度

- 10月4日 イベント はままつ夢づくりフェスタ2003「ザ・楽市楽座」(来場者18万人)
①Get's ザ・楽市楽座(物産展コーナー)
②Enjoy ザ・楽市楽座(浜名湖花博展示・体験コーナー)
③Show ザ・楽市楽座(浜名湖花博をテーマとしたパフォーマンス)

平成
16
年度

- 8月7日 イベント 「昭和レトロな一日」(来場者2万人)
①人力車体験・模擬店
②ゆかた展示会(浜松ゆかた振興会協力)
③フォルテホールコンサート



地域連携委員会年表

昭和
63
年度

- 5月26日 青年経済団体合同役員交流会
- 6月22日 春日井商工会議所青年部との交流会
- 月9日 飯田地区青年代表との交流会
～10日

平成
元
年度

- 4月11日 伊勢商工会議所青年部との交流会
- 6月24日 瀬島龍三氏と当地区青年経済人との懇談会
- 6月28日 沼津商工会議所青年部設立総会
- 9月5日 北遠市町村長と当地区青年経済人とのふるさとづくり懇談会
- 11月1日 千葉商工会議所青年部との交流会
～2日
- 11月11日 伊勢商工会議所青年部及び東海ブロック青年部との交流会
～12日
- 12月14日 事業委員会イベント分科会、大阪21世紀協会との懇談会
- 3月13日 藤枝商工会議所青年部との交流会
- 3月16日 静岡商工会議所青年部との交流会
- 3月20日 沼津商工会議所青年部との交流会
～21日
- 3月23日 清水商工会議所青年部との交流会

平成
9
年度

- 8月22日 春野町との交流会
 - ①春野町役場
 - ②丸泉砂川共同製茶工場
 - ③チンゲンサイ生産 山下氏宅
- 9月6日 炎の祭典、三遠南信物産展、懇親会
- 9月24日 西遠まちづくりフォーラム 西遠地区商工会議所青年部合同講演会
- 11月1日 三遠南信商工会議所商工会青年部交流会
 - 「交流会」豊橋総合体育館
 - 「懇親会」豊橋健康ランド
- 2月10日 西遠まちづくりフォーラム 西遠地区商工会議所青年部合同講演会
- 2月21日 「食とアウトドアの祭典」
- 3月14日 三遠南信商工会議所商工会青年部交流会
 - ・ゴルフコンペ
 - ・交流懇親会

平成
10
年度

- 4月19日 植樹祭 みんなで育む天竜の森づくり事業参加（1回目）
- 4月22日 植樹祭 みんなで育む天竜の森づくり事業参加（2回目）
- 5月31日 植樹祭 水源の森づくり事業参加
- 6月19日 連携小委員会 環浜名湖周辺商工会青年部への訪問（細江・引佐・三ヶ日）
- 6月26日 西遠街づくりフォーラム パルーンアート・交流会
- 7月9日 第4回例会
 - ①「雄踏町たきや組合」の皆さんとの意見交換
 - ②たきや漁体験
- 8月4日 連携小委員会 環浜名湖周辺商工会青年部への訪問（可美・篠原・雄踏・舞阪・新居・湖西）



平成
10
年度

- 8月22日 浜名湖開湖500年祭 風上げ
9月12日 炎の祭典
10月28日 インターネット 第2回例会(講習会) 同好会「インターネットビジネス成功の法則」
講師 (有)ジャパン・ビジネス・ニュース 代表取締役 井指賢氏
11月21日 三遠南信交流会 親睦ゴルフコンペ・懇親会
～22日
2月23日 浜名湖周辺地域青年団体交流会
3月24日 インターネット 第4回例会(講習会)、総会 同好会「インターネットビジネス最前線 ～アメリカ事例を中心として～」
講師 ビジネスネット 代表 鈴木大吉氏
総会
①平成10年度活動報告
②平成11年度の進め方
3月12日 先進地域連携事業調査・研究会
～13日
3月17日 インターネット ホームページ作成講座 同好会
～30日

平成
11
年度

- 5月23日 水源の森記念植樹祭
7月8日 豊橋商工会議所青年部との情報交換会
10月22日 広島調査会
～23日 ・広島商工会議所青年部 中国地域づくり交流会との意見交換会
・広島市内視察
1月28日 三遠南信交流事業
～29日 ・航空自衛隊、ヤマハ(株)、K-MIX見学、交流会
・引佐カントリークラブ

平成
12
年度

- 5月28日 水源の森づくり記念植樹祭
6月23日 豊橋商工会議所青年部との交流会
9月6日 浜松地域青年経済団体連絡協議会
第1部 講演会
テーマ「これからの教育～学校・家庭・社会～」 講師 浜松市教育委員会 教育長 土屋勲氏
第2部 懇談会
1月25日 西遠地区広域活性化講演会(静岡県中小企業団体中央会助成事業)
テーマ「心の距離の短縮にむけて」 講師 高橋英彦氏
懇親会
2月16日 三遠南信交流会 視察会
・ヤマサちくわ
・フォルクスワーゲン



地域連携委員会年表

平成
13
年度

- 5月27日 水源の森づくり記念植樹祭
8月4日 三遠南信交流事業 ・人形劇フェスタ
～5日 ・天竜舟下り
・交流会

平成
14
年度

- 6月30日 OBとの交流ビアパーティーの運営
7月26日 県連役員会の浜松開催に伴う懇談会の運営（花博建設現場見学～屋形船）
8月25日 浅羽海岸及び竜洋キャンプ場 家族会の運営
11月30日 三遠南信交流事業第7回浜松大会開催（浜松主幹）
①浜松楽器博物館見学
12月1日 ②桑原 隆ジュピロ磐田元監督講演会
③交流懇親会
④エコパ交流サッカー大会 ※参加会議所青年部：飯田、豊橋、岡崎、浜松、三島、富士、沼津、清水、静岡、島田、藤枝、掛川、袋井、各商工会議所青年部
2月12日 浜松地域青年経済団体連絡協議会
「北脇浜松市長・中山浜松商工会議所会頭との懇談会」の運営

平成
15
年度

- 5月27日 第1回勉強会 市町村合併シンポジウムに向けた第1回勉強会
①政令指定都市・市町村合併の概要説明 講師 静岡県総務部合併支援室 分権広域スタッフ 主幹 山崎章二氏
②講演・フリーディスカッション 講師 静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科 助教授 南学氏
6月26日 第2回勉強会 市町村合併シンポジウムに向けた第2回勉強会
①天竜川・浜名湖地域政令指定都市構想への取り組みについて 講師 三ヶ日町 鈴木浩太郎氏
7月26日 シンポジウム 市町村合併シンポジウム～政令指定都市実現に向けて～
①基調講演「政令指定都市と自立した都市経営」 講師 横浜市長 中田宏氏
10月25日 第8回三遠南信交流事業「青年部交流／懇親会」（豊橋YEG主催）に参加
①研修会
②三遠南信フラワーフェスタ見学
③懇親会
11月28日 浜松地域青年経済団体連絡協議会
①堺商工会議所会頭 中尾良和氏との懇談会

平成
16
年度

- 8月6日 第9回三遠南信交流事業（飯田YEG主催）
①人形劇公演見学
②意見交換会
③懇親会
9月17日 第24回商工会議所青年部関東ブロック大会上尾大会
11月5日 第24回商工会議所青年部全国大会帯広大会
～7日
11月27日 遠州地区青年経済団体との交流会
①各団体の挨拶・紹介
②名刺交換会
③特産品抽選会
2月2日 浜松地域青年経済団体連絡協議会（第1部）
浜松地域青年経済団体連絡協議会懇親会（第2部）



会員委員会年表

昭和
62
年度

7月23日 ビアパーティー
11月25日 豊岡国際C.C. ゴルフ大会

平成
元
年度

7月19日 夏の全体事業 ディスカバーティー in Summer
7月26日 (有)雅 ヨーガ体験教室 講師 (有)雅 戸塚文子氏
9月15日 豊岡国際C.C. 青年部委員会対抗ゴルフ大会
11月10日 委員会対抗マージャン大会
2月10日 委員会対抗ボーリング大会

平成
2
年度

2月17日 長野県産業観光視察会 (富士通長野工場など視察)
～18日
3月25日 浜名湖地域産業・レジャー施設視察会 (浜名湖競艇事業団、アスモ(株)豊橋工場訪問)
会員交流委員会青年部卒業生送別会

平成
3
年度

6月29日 浜松シーサイドゴルフクラブ 青年部全体事業 親睦ゴルフ大会
7月22日 名古屋商工会議所若鯨会との交流会・懇談会
(1)名古屋若鯨会活動状況紹介
(2)浜松青年部活動状況紹介
・・・・・・ビアパーティー・・・・・・
10月6日 青年部全体事業 全体家族会

平成
4
年度

6月12日 第1回全体親睦事業 「ディスコ大会」開催
7月22日 第2回全体親睦事業 「納涼大会」開催
9月18日 青年部設置働きかけについて三島商工会議所と事前打ち合わせ
10月27日 青年部10月入会者のためのオリエンテーション(23名入会)
11月6日 第12回商工会議所青年部全国大会山形大会参加引率
～7日
11月19日 焼津、富士、三島各商工会議所訪問と交流懇談会
11月23日 第4回全体親睦事業 「ゴルフ大会」開催
2月4日 愛知県内産業港湾施設視察会
・トヨタ自動車
・名古屋港ポートビル
・名古屋港水族館
・名古屋市国際展示場

平成
5
年度

6月18日 第1回全体親睦事業 「ディスカバーティー」開催
12月2日 商青連役員を対象としたナイトスポット

平成
6
年度

5月27日 第1回全体親睦事業 「ゴルフ大会」開催
7月22日 第2回全体親睦事業 「ビアパーティー」開催
9月11日 第3回全体親睦事業 「ファミリーの集い」開催



会員委員会年表

- 平成7年度**
- 5月23日 新入会員のための第2回オリエンテーション
 - 7月28日 全体親睦事業 「ビアパーティー」開催
 - 9月9日 全体親睦事業 「ファミリーの集い」開催
青年部創立10周年記念座談会
・石津薫会頭 ・中山正邦青年部初代部長
・須山泰造会長 ・大石副会長4名他総務委員立会い
 - 10月5日 新入会員(後期入会者)のためのオリエンテーション ～懇親会(ケニーズ)31名出席～
 - 10月13日 第15回商工会議所青年部関東ブロック大会静岡大会
式典・記念講演会・分科会・懇親会参加
 - 1月23日 全体事業 「新春賀詞交歓会」開催
 - 3月7日 全体事業 「福岡地区青年部の会員交流事業運営状況調査および福岡地区視察会」開催
～8日

- 平成8年度**
- 4月5日 第1回全体事業 「お花見大会」
 - 6月20日 第2回新入会員オリエンテーション
 - 6月27日 第2回全体事業 「ボーリング大会」
 - 7月26日 第3回全体事業 「ビアパーティー」
 - 9月15日 第4回全体事業 「ファミリーの集い」
◇バーベキュー及びアトラクション 他
◇春野町商工会青年部との懇親会(春野側部長他 7名)
 - 11月25日 三遠南信地区商工会議所及び県西部地区商工会青年部との交流会
《懇親会》 飯田・豊橋・春野・浜松青年部
《ゴルフコンペ》 飯田・豊橋・浜北・可美・新居・三ヶ日・細江・浜松青年部
 - 12月6日 飯田商工会議所青年部設立10周年記念式典・記念事業出席
～7日
 - 1月24日 臨時会員総会 「新年祝賀交換会」担当
 - 1月28日 「20周年に向けての商工会議所青年部のあり方」及び「連携交流事業」に関する視察・研修会
～29日 ・千葉商工会議所青年部
・野田商工会議所青年部
 - 9月14日 他地域青年部事業調査視察会(山形商工会議所青年部)
～15日 ①会員交流事業について
②青年部事業全般について

- 平成9年度**
- 7月25日 「十記の会との交流ゴルフ大会」 「ビアパーティー」
 - 10月5日 リズムの祭典
 - 11～21日 第17回商工会議所青年部全国大会徳島大会
22日
 - 3月17日 1997年度卒業式

- 平成10年度**
- 4月24日 新入会員オリエンテーション
・通常会員総会
・会員懇親会
 - 7月27日 サマーパーティー (兼 豊橋商工会議所青年部との交流会)
 - 10月20日 新入会員オリエンテーション・新入会員懇親会
 - 12月4日 青年部大忘年会



平成
11
年度

4月23日 新入会員オリエンテーション・通常会員総会
・会員懇親会
9月4日 全体交流会
10月12日 新入会員オリエンテーション・新入会員懇親会
3月14日 2000年卒業式

平成
12
年度

4月28日 新入会員オリエンテーション・通常会員総会
・講演会（第1回全体研修会）
・会員懇親会
9月2日 ファミリーの集い
～3日
10月17日 新入会員オリエンテーション・新入会員歓迎懇親会

平成
13
年度

8月25日 てんてんゴー渋川 家族会
～26日

平成
14
年度

9月28日 ハイパー会員名簿の作り方講座
3月7日 関YEG調査・意見交換会 ・フェザーミュージアム
～8日 ・関刃物会館（関YEGとの意見交換） ・高山市内

平成
15
年度

6月27日 OB交流会
8月30日 ボートクラブカナル 家族会
10月16日 第1回公式HP勉強会

平成
16
年度

7月27日 OB・現役会員交流会
10月9日 城産業文化公園「デンパーク」 家族会 ※台風により中止
3月15日 卒業式



1985年～2005年の出来事

浜 松

- 1985** ●遠州鉄道の高架化工事(新浜松～助信間)が完成
●浜松まつり会館完成
- 1986** ●北寺島町に浜松科学館がオープン
●暴力団追放運動盛り上がる
- 1987** ●テレビの父、高柳健次郎氏と元市民の平山博三氏が名誉市民に
- 1988** ●浜松駅前サンクンガーデン完成
●クリエート浜松オープン
- 1989** ●第一回全国吹奏楽大会が浜松で開催
●浜松技術工業団地竣工
- 1990** ●スポーツ施設の浜松アリーナ完成
●駅前にフォルテがオープン
- 1991** ●テクノポリス都田地区に浜松工業技術センター完成
●可美村と合併、人口55万人突破
- 1992** ●テレトピア構想のモデル都市指定を受ける
●浜名湖国際頭脳センタービル開館

日 本

- 科学万博つくば'85開催
●日航ジャンボ機墜落事故、死者520人
- 富士写真フィルム「フジカラー 写るんです」発売
●伊豆大島三原山噴火
- 国鉄分割、J R 7社発足(国鉄民営化)
●N T T 上場
- 瀬戸大橋開通
●東京ドームオープン
- 1月、昭和天皇崩御
皇太子明仁 即位
- 株価・地下等が暴落、バブル崩壊
●日本人初の宇宙飛行士秋山豊寛記者帰還
- 首相に宮沢喜一
●雲仙普賢岳噴火
- ミュージシャンの尾崎豊死去
●学校の週休2日制はじまる

海 外

- ハレー彗星接近
●ソ連、チェルネンコ死去、新書記長ゴルバチョフ
- スペースシャトル・チャレンジャー爆発事故
●ソ連、チェルノブイリ原子力発電所事故
- 大韓航空機墜落(金賢姫事件)。
●ソ連、ペレストロイカ(改革)始まる
●米、株価、再度大暴落(ブラックマンデー)
- ソウル・オリンピック開催
- 米、ブッシュ大統領(共和党)就任
●6月、天安門事件
- ペルー、大統領に日系フジモリ就任
●イラク、クウェートに侵攻制圧(湾岸危機)
- 湾岸戦争(1月～4月；アメリカ主力の多国籍軍、クウェート解放)
- 欧州連合(E U)成立
●バルセロナ・オリンピック開催

1985年～2005の出来事年

浜 松

日 本

海 外

2001

- ザザシティ浜松中央館が開館
- 市制施行90周年

- 中央省庁、1府21省庁から1府12省庁へ再編
- 狂牛病(牛海綿状脳症)に感染した疑いのある乳牛1頭を確認
東アジア初の確認例に

- 米で同時多発テロ、ニューヨークの世界貿易センタービル崩壊

2002

- 浜松市コミュニティバス(くるる)導入
- 「環浜名湖政令指定都市構想」を提唱

- 第17回FIFAワールドカップ 日本・韓国合同開催
- 日本は決勝リーグへ出場、ブラジルが最多5度目の優勝
- 住民基本台帳ネットワーク 通称「住基ネット」スタート、横浜など全国6市町村が不参加、17市町村でトラブル発生

- 第19回冬季オリンピック ソルトレーク・シティー(米国)にて開催

2003

- 第58回国民体育大会「NEW!!わかふじ国体」、第3回全国障害者スポーツ大会「わかふじ大会」開催
- 第1回天竜川・浜名湖地域合併協議会開催

- 「六本木ヒルズ」がオープン

2004

- 浜名湖花博開催
- 遠州灘の天然とらふぐが、JAPANブランド育成支援事業に採択される

- 新潟中越地震

- ソウル音楽の草分けレイ・チャールズ氏が死去、73歳
- 第28回夏季オリンピック・アテネ大会開幕
- スマトラ沖で地震M9.0、津波による死者5万人以上

2005

- 天竜川・浜名湖地域12市町村が合併、新「浜松市」誕生
- 光産業創生大学院大学開学

- 中部国際空港が愛知県常滑市に開港
- 愛・地球博開催

- アップルコンピュータがiPod、Mini Mac発表

浜 松

日 本

海 外

1993	●浜松地域テクノポリス都田土地区画整理事業が完成 ●浜松駅南口地下駐車場と南口広場が完成	●皇太子ご結婚 ●サッカーJリーグ、スタート ●細川連立内閣成立	●米、ビル・クリントン大統領(民主党)就任 ●チェコとスロヴァキア、正式に分離独立
1994	●アクトシティ浜松が完成 ●浜松商工会議所の新会館が完成	●松本サリン事件 ●製造物責任(P L)法が成立	●北朝鮮、金日成死去 ●F 1 のアイルトン・セナが激突死
1995	●世界吹奏楽大会開催(←アジア初) ●浜松ケーブルテレビ、通称テレビはままつが本放送開始	●阪神・淡路大震災 ●オウム真理教事件(地下鉄サリン事件)	●1月、世界貿易機関(WTO)発足 ●米連邦政府ビル爆破テロ
1996	●中核市へ移行 ●三遠南信地域交流ネットワーク会議設立、三遠南信災害時相互応援協定を締結 ●フルーツパークが開園	●O(オー)157大量感染	
1997	●地域情報センター開所 ●かささぎ大橋開通	●神戸児童連続殺傷事件 ●ロシアタンカー“ナホトカ”沈没で重油大量流出、日本海沿岸を汚染	●中国、鄧小平死去 ●ダイアナ元妃事故死
1998	●行政改革実施計画を策定 ●開湖500年「浜名湖フェスティバル」開催	●長野冬季オリンピック開催 ●金融ビッグバン始動 ●和歌山毒入りカレー事件	
1999	●航空自衛隊浜松広報館開館	●都知事に石原慎太郎氏	●ユーロ始動、欧州11カ国に単一通貨導入 ●ヨルダンのフセイン国王死去 ●ロシアのエリツィン大統領辞任
2000	●静岡文化芸術大学が開学 ●ザザシティ浜松西館が開館	●400年に一度のうるう年 ●小渕恵三総理、死去	●コンピューター西暦2000年問題(Y2K) ●オーストラリア、シドニーオリンピックとパラリンピック開催

正しい物流・確かな保管

倉庫・通運・自動車運送業

 **浜松倉庫株式会社**

〒430-8691 浜松市板屋町494番地
TEL 053-453-0151 FAX 053-454-6510
E-mail: info@hamamatsu-soko.co.jp



有限会社 **ワイズ企画**

代表取締役 **山本陽一郎**
(昭和63年度卒業)

〒432-8021 浜松市佐鳴台2丁目29-9
TEL 053-449-2523



 **イトーシミュ-バツク**

代表取締役 会長 **伊藤雅章**

〒432-8691 浜松市西浅田1丁目8-7
TEL 053-441-0151 FAX 053-441-7147



税理士法人 **東海浜松会計事務所**

副所長 **山本晃正**
(平成3年度卒業)

〒430-0946 浜松市元城町113-15
TEL 053-455-2181 FAX 053-452-2303



夢を育て、森にしよう



本部事務局 浜松市高林5-11-6 株式会社 浜松ケーブルビジョン内

Professional Engineering Link



株式会社 **サカエ**

野いちごのように・・・



代表取締役 **神谷竹彦**

〒430-8691 浜松市野口町336
TEL 053-461-4521 FAX 053-463-2752
<http://www.sakae-jp.com>



WE BUILD THE FUTURE.

RINKOH

株式会社 林工組

品質・環境の国際規格
ISO 9001
ISO 14001
登録企業

取締役社長 **伊藤 孝**

〒435-0036 浜松市渡瀬町1000-1
TEL 053-461-8853 FAX 053-461-8855
<http://www.rinkoh.co.jp>



STAR TAXI GROUP

浜松交通株式会社

代表取締役 **久野富男**
(平成4年度会長)

〒432-8061 浜松市入野町828
TEL 053-449-1472 FAX 053-449-1310
(総合配車センター) TEL 053-444-1111

鈴春工業株式会社

SUZZUHARU



代表取締役 **鈴木 一久**

(平成6年度卒業)

<本社・竜洋工場>

〒438-0211 磐田市東平松926
TEL 0538-66-1338 FAX 0538-66-5991

祝 浜松商工会議所青年部20周年

ソフトプレ工業(株)

代表取締役 **前嶋 文明**

〒431-0203 浜松市馬郡町3762-22
TEL 053-449-3111 FAX 053-449-3110

よりよい都市環境づくりを通じて



取締役社長 **須山 泰造**

〒432-8562 浜松市布橋2丁目6-1
TEL 053-471-0321 FAX 053-474-2260
<http://www.suyama-group.co.jp>

ー ゆとりのくらしのパートナー ー

遠州信用金庫

理事長 **山本 長行**

常勤理事 **守田 泰男** (参与・平成10年度卒業)

〒430-8689 浜松市中沢町81-18
TEL 053-472-2111 FAX 053-472-2158
<http://www.shinkin.co.jp/enshin>

祝 浜松商工会議所青年部20周年

MaRUHaNa

浜松卸商団地



代表取締役社長 **花島 隆是**

〒432-8055 浜松市卸本町2000-6
TEL 053-441-0141 FAX 053-441-0254
E-mail metal@maruhana.co.jp
<http://www1.newweb.ne.jp/wa/maruhana>

オーダーカーテンと手織りのラグの店



IN·DECOR
HOUSE

相談役 **高部 三司**

〒432-8036 浜松市東伊場1丁目8-3稲元第3ビル1階
TEL 053-450-7525 FAX 053-450-7526



ISO14001, ISO9001取得

遠州紙工業株式会社

取締役 開発部長 **伊藤 寿英**

(平成14年度卒業)

〒430-0846 浜松市白羽町50
TEL 053-441-2014 FAX 053-441-6696
<http://www.enshu-kami.com/>



株式会社スペースクリエーション

Not Production But Creation
～製造でなく、想像を！～

代表取締役 **青木 邦章**

テクニカルマネージャー **首藤 淳**

〒432-8062 浜松市増楽町1341-1
TEL 053-447-2755 FAX 053-447-2833
<http://www.spacecreation.co.jp>



専門学校 ルネサンスアカデミー

副理事長 **中野 勘次郎**
(平成14年度卒業)

〒430-0943 浜松市北田町130-12
TEL 053-452-2121 FAX 053-455-2212



価値あるくらしのクリエイター

国際規格
ISO 14001
ISO 9001

株式会社 中村組

取締役社長 **中村 嘉宏**

〒430-0906 浜松市住吉五丁目22-1
TEL 053-412-1111(代) FAX 053-412-1130
E-mail: info@nakamura-gumi.co.jp



有限会社 高柳工業所

代表取締役 **高柳 力也**

〒432-8061 浜松市入野町898
TEL 053-447-4403 FAX 053-448-6278



株式会社 サツ川製作所

各種環境関連装置、省力合理化装置 他
設計・製作・販売

祝 浜松商工会議所青年部20周年

代表取締役社長 **薩川 敏**
(創立20周年記念大会 大会会長)

〒435-0022 浜松市鶴見町13-1
TEL 053-421-4802 FAX 053-421-4825
E-mail: eco@mail.wbs.ne.jp

WWW.actygroup.co.jp

アクティグループは、軽貨物輸送のバイオニアとして、
安全・確実・迅速をモットーに事業を展開しております。



有限会社 アクティ東海

代表取締役 **中川 俊豪**

〒430-0856 浜松市中島1丁目35-22
TEL 053-411-3851 FAX 053-411-3852

祝 浜松商工会議所青年部20周年

株式会社 出雲殿

〒432-8017 浜松市三組町42-14
TEL 053-454-5771 FAX 053-459-0470



土地のお世話から設計施工監理まで

有限会社 市川建設

代表取締役 **市川 裕一**

耐震診断・補強工事・介護保険住宅改修工事

〒434-0004 浜松市宮口3523
TEL 053-589-8912 FAX 053-589-8916
E-mail: ichikawa@myad.jp

祝 浜松商工会議所青年部20周年

(株)伊藤園

静岡地区営業推進課 課長 **平野 昭浩**

〒420-0009 静岡市葵区神明町85-2
TEL 054-272-8139 FAX 054-272-8141

 SBSプロモーション

決め手は、
総合力。

【事業内容】
広告・SP計画の立案と実施
クリエイティブワークの提供
ITソリューションの実施
ダイレクトマーケティングの実施
映像・音声の制作
音響・照明・映像技術の提供
イベント・エンターテインメント事業の実施
損害保険・生命保険の代理業務
海外旅行の提供
業務渡航の手配

株式会社
エスピーエスプロモーション
本社／〒420-0852 静岡市葵区程屋町15-4
■営業部・企画制作部 TEL 054-254-1551
■浜松支社 TEL 053-456-0788
■沼津支社 TEL 0559-52-1551
■プロダクション事業部 TEL 054-237-7075
■保険部 TEL 054-254-1550
■SBSツアーズ TEL 054-254-1552

祝 浜松商工会議所青年部20周年

 遠州鉄道株式会社

〒430-8655 浜松市旭町12-1
TEL 053-454-2211 FAX 053-454-4130



地域とともに歩むーえんてつグループ

株式会社 遠鉄トラベル

〒435-0043 浜松市宮竹町172-1
TEL 053-460-1365 FAX 053-460-6774



「人」は会社の財産です。新たな出会いのお手伝い！
総合広告代理店・中古車販売・学校写真

(有) オフィス・アジャスト

専務取締役 鈴木美保

〒435-0002 浜松市白鳥町707
TEL 053-421-8104 FAX 053-421-8106

祝 浜松商工会議所青年部20周年

有限会社 加藤醤油

代表取締役 虎岩博之

〒430-0925 浜松市寺島町248
TEL 053-452-5609 FAX 053-452-8050

知的財産で勝つ経営戦略
収益を守り、新たな収益を得るためのお手伝い

加藤特許商標事務所



弁理士 加藤道幸

〒430-0926 浜松市砂山町353-3 大協土地ビル4階
TEL 053-413-7620 FAX 053-413-7621
<http://www.mkato.com> E-mail: info@mkato.com



あなたのビル・工場のドクターに
株式会社 関電工 浜松営業所

〒430-7712 浜松市板屋町111-2
アクトタワー12F
TEL 053-458-7454 FAX 053-458-7457

祝 浜松商工会議所青年部20周年

ニューオータニグループ
⊕ グランドホテル浜松

〒432-8507 浜松市東伊場1丁目3-1
TEL 053-452-2110 FAX 053-454-7204

祝 浜松商工会議所青年部20周年

資産・相続アドバイザー

クリエイト・ジャパン浜松 シー・ジェイ浜松(株)

代表取締役 岡田 樹 義

〒430-0851 浜松市向宿2丁目32-23
TEL 053-460-3785 FAX 053-460-3788

お役立ちの精神

K's Interior

(有)ケイズインテリア

杉 野 降 三

〒432-8012 浜松市布橋2丁目2-29
TEL 053-455-7011 FAX 053-455-7012

祝 浜松商工会議所青年部20周年

夢に創意で応える信頼の技術力

有限会社コスモファンシー

専務取締役 上 野 憲 行

〒435-0057 静岡県浜松市中田町593
TEL (053) 465-5325(代)/FAX (053) 466-4832
<http://www.cosmofancy.com>
E-mail:noriu@inh.co.jp

TACS

商流力のある総合エンジニアリングカンパニー

三光電機株式会社

〒430-0803 浜松市植松町255-1
TEL 053-460-8500 FAX 053-460-8530

医療法人社団
じょう

穰クリニック

医学博士
院長 中村 穰 志
Nakamura Joshi



胃・大腸内視鏡センター

〒431-3115 浜松市西ヶ崎町1058 TEL:053-432-4114
<http://www.jo-clinic.com> FAX:053-432-4115



昭和商事株式会社

取締役 商事部長 古 澤 英 一

〒430-0936 浜松市大工町106
TEL 053-453-3156(代) FAX 053-454-7050



お客様の繁栄・発展に貢献します。
信頼を運ぶ！

田中範雄公認会計士事務所

監査部長
社会保険労務士 平 田 晴 久

〒430-0907 浜松市高林3丁目12-13
TEL 053-475-2511 FAX 053-475-2512

祝 浜松商工会議所青年部20周年

(株)竹茗堂茶店

西部営業部統括店長 西 村 寿 洋

〒430-0927 浜松市旭町9-2
TEL 053-454-8888 FAX 053-454-6439



安全を守り、安心をお届けする！総合防災設備業

中部防災工業株式会社

常務取締役 松坂直和

〒433-8105 浜松市三方原町1178-2
TEL 053-438-3081 FAX 053-438-3045
E-mail:chubu@f6.dion.ne.jp



有限会社 デザインスタジオ スリーズン

- 一般広告物(名刺・封筒・パンフレット・チラシ他)
- 新聞広告(びぶれ・中日ショッパ―他)
- 求人雑誌(DOMO・Chano他)
- 販促品(ライター・ティッシュ他)
- ホームページ
- 看板

〈本社〉
〒434-0016 静岡県浜松市根笠1752
TEL(053)588-4175 FAX(053)588-4182
E-mail info@threezon.com

〈浜松営業所〉
〒435-0055 静岡県浜松市十軒町3
TEL(053)475-2051 FAX(053)475-2052

人から人へ・・・
「生きた情報」を
伝えるお手伝い

祝 浜松商工会議所青年部20周年

有限会社 天王重機

代表取締役 山本健一

〒435-0001 浜松市上石田町2424-2
TEL 053-434-8788 FAX 053-434-8722

祝 浜松商工会議所青年部20周年

株式会社 東海開発研究所

取締役 所長 山内秀彦

〒430-0928 浜松市板屋町2-2 静岡不動産ビル3階
TEL 053-455-0220 FAX 053-455-0328

祝 浜松商工会議所青年部20周年

東海管財株式会社

代表取締役社長 木所壮太

〒432-8033 浜松市海老塚二丁目4-17
TEL 053-454-7688 FAX 053-454-7185

禁煙レンタカー

TOYOTA



0120-61-0097

トヨタレンタリース 浜松

祝 浜松商工会議所青年部20周年

(有) ドリアン 洋菓子店

専務取締役 川上貴久

〒431-3124 浜松市半田町1649
TEL 053-434-7886 FAX 053-435-6339

応援します！あなたの夢...

(株) ジャマカン トラベル

代表取締役 村松謙之輔

本社営業所長 古橋昌直

〒433-8122 浜松市上島2丁目23-34
TEL 053-478-2000 FAX 053-478-2001



一般事業所向け給食・ようちえん給食
高齢者宅配サービス・食堂委託運営など昼食の
あらゆるニーズにお応えします。



くらし彩る食文化

Q食

〒433-8117 浜松市高丘東1丁目9-37

株式会社 **はまちゅう**

TEL 053-438-1881 FAX 053-438-1883

http://www.hamachu.com

Q-syoku@hamachu.com



浜松運送株式会社

取締役 **村松正巳**

〒435-0006 浜松市下石田町1053
TEL 053-421-7777 FAX 053-422-2266

祝 浜松商工会議所青年部20周年

(有) 浜松資材

代表取締役 **中村星輝**

〒435-0028 浜松市飯田町319-1
TEL 053-462-8191 FAX 053-460-3727

うちじゅうみんなの

浜松信用金庫

〒430-0946 浜松市元城町114-8
TEL 053-450-3251 FAX 053-453-4823

人と人をつなぐコミュニケーション支援企業



Hamamatusoumubu Inc.

浜松総務部有限公司 代表取締役 **木村玲美**

〒430-0947 浜松市松城町208-17

TEL 053-452-2242 FAX 053-452-2243



電子に関わる製造はお任せ下さい
組立完成品から梱包まで♪

(株) 浜松パルス

本社工場

〒430-0846 浜松市白羽町2412-1
TEL 053-441-4822 FAX 053-441-9020

第二工場

〒432-8055 浜松市卸本町11
TEL・FAX 053-442-2228



一消防用設備施工・保守防災用資機材販売一

(株) 浜松防災センター

〒435-0028 浜松市飯田町134
TEL 053-465-1035 FAX 053-465-1045

祝 浜松商工会議所青年部20周年

建築設計施工

株式会社 **ビーエフシステムジャパン**

一級建築士

代表取締役 **藤田昌彦**

〒430-0856 浜松市中島3-19-6
TEL 053-466-6234 FAX 053-463-6233



一般労働者派遣（股）22-020072 有料職業紹介22-ユ-300010

戦略的人材プロデュース

株式会社 **ヒューマンアロー**

代表取締役 **坂 神 文 仁**

〒430-0927 浜松市旭町12-3フォルテ6F
TEL 053-457-1458 FAX 053-457-1459
<http://h-arrow.co.jp>



カロライナスキップ日本総代理店・ボート保管・販売
船外機販売・修理・ボート部品輸入・イベント等

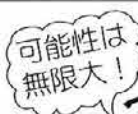
“海をもっと身近に……”

ボートクラブ カナル

有限会社 **ケイ エム ツー**

代表取締役 **柴 田 昌 宏**

〒431-1207 浜松市村柳町4607-13
TEL 053-489-2877 FAX 053-489-2880



祝 浜松商工会議所青年部20周年

みんなちがって、みんないい!



子育て総合サポート

ポップチャイルド

■発達障がい児を含む子どもの能力開発 ■自然教育 ■託児
■子育て支援 ■カウンセリング ■教材開発

代表

みずの くみこ

〒432-8033 浜松市海老塚2-21-28

TEL/FAX 053-456-0377

E-mail popchild@do8.enjoy.ne.jp

<http://park17.wakwak.com/~popchild/>

祝 浜松商工会議所青年部20周年

ホテルコンコルド浜松

〒430-0946 浜松市元城町109-18
TEL 053-457-1111 FAX 053-455-4614
<http://www.concorde.co.jp>

人と環境にやさしいひかりを・・・



松川電気株式会社

総合電気設備工事・各種プラント設備
LAN・光ファイバー設備

「品質保証・環境保全の国際規格」

品質 ISO 9001 取得企業

環境 ISO 14001 取得企業

〒431-3121 浜松市有玉北町65-1
TEL 053-433-3222～3 FAX 053-433-3214
E-mail info@matsukawadenki.com

祝 浜松商工会議所青年部20周年

マツダ食品株式会社

常務取締役 **松 田 和 敏**

〒431-3107 浜松市笠井町45
TEL 053-433-1528 FAX 053-435-1572



マナック株式会社

豊橋営業所

〒441-8052

豊橋市柱三番町13-2

TEL 0532-47-4245

FAX 0532-47-4225

取締役所長

高 橋 義 辰

本社

〒452-0005 愛知県西春日井郡西枇杷島町恵比須17
TEL 052-501-5351(代) FAX 052-502-4329

祝 浜松商工会議所青年部20周年

(株) マルイ伊藤製鮎

代表取締役 **伊 藤 久 人**

〒435-0052 浜松市天王町1375-1
TEL 053-421-2387 FAX 053-421-7925



ローマンプリント(株)

代表取締役 関 哲義

〒432-8036 浜松市東伊場1丁目28-15
TEL 053-453-9200 FAX 053-455-1885



これからの環境を
考えた解体を目指す・・・

総合解体・土木・外構工事

有限会社 ヤマト

代表取締役 山地峰春

〒433-8119 浜松市高丘北1-24-3
TEL 053-439-8545 FAX 053-439-8546
E-mail: yamato-7@circus.ocn.ne.jp

祝 浜松商工会議所青年部20周年

明石石油株式会社

代表取締役 明石為晴

〒430-0944 浜松市田町228-5
TEL 053-456-4188 FAX 053-452-5976

F.C.C. Clutch Technology for the World

株式会社 エフ・シー・シー

代表取締役社長 山本佳英

〒431-1394 浜松市細江町中川7000-36
TEL 053-523-2400 FAX 053-523-2405

祝 浜松商工会議所青年部20周年

河合利行税理士事務所

所長 河合利行

〒435-0054 浜松市早出町1212-11
TEL 053-466-3583 FAX 053-466-3586



代表取締役社長

山口治郎

JIRO YAMAGUCHI

静岡エフエム放送株式会社

〒430-8575
浜松市常盤町133-24
TEL 053-457-1152 FAX 053-457-1174
URL <http://www.k-mix.co.jp>
E-MAIL jirokun@k-mix.co.jp

地域とともに 夢と豊かさを広げます



静岡銀行

静岡市葵区呉服町1丁目10番地

不動産事業部、オート用品事業部、石油事業部
特販事業部、保険事業部、環境美化事業部
リクルート事業部、ゴルフ事業部

暮らしサポート

スズキビジネス

株式会社スズキビジネス

本社：〒431-0201 浜松市篠原町 21339 (しのはらプラザ3F)
ホームページ：www.suzuki-business.co.jp
提供サイト「知恵袋.com」：www.chiebukuro.com

生活にファインクオリティ

sala

中部ガス株式会社

〒435-0044 浜松市西塚町200
TEL 053-465-1234 FAX 053-465-2590



株式会社馬場汽罐

代表取締役 **馬場 隆吉**
(平成13年度卒業)

〒435-0001 浜松市上石田町1679-2
TEL 053-433-5951 FAX 053-435-4051

祝 浜松商工会議所青年部20周年

浜松東映劇場

〒432-8065 浜松市田町315-34
TEL 053-456-7647 FAX 053-456-7647

祝 浜松商工会議所青年部20周年



防災設備社株式会社



代表取締役 **萩内 博志**
(平成15年度卒業)

〒435-0014 浜松市大浦町111-1
TEL 053-465-0293 FAX 053-460-6308
<http://www.bowsai.com>



よろしくネ!!

新車・U-Car・車検・点検・自動車保険・携帯電話(au)
展示車・試乗車も多数取り揃えております。
是非、お立ち寄り下さい!!



● Vitz



● ALPHARD V



ネット君

ネット・ヨタ 浜松株式会社

〒432-8048 浜松市森田町16
お客様相談電話番号 **0120-41-7010**

祝 浜松商工会議所青年部20周年



すぎ やま まこと makopon@mbh.nifty.com
杉山 真

浜松遠州浜郵便局 特定郵便局長
浜松市遠州浜2-11-20 〒430-0835
Tel.425-4250 (Fax.425-5462)
郵便・貯金・保険事業

平成16年度 卒業
浜松市十軒町155-5 〒435-0055
Tel.460-6484
レコード収集、DVD収集、音楽MD編集
会員手帳に写真がないので、20周年記念誌に載せてみました。



アパートマンションから相続相談まで

曳馬土地開発株式会社

代表取締役 **加藤 登弘**
たか ひろ

〒430-0901 浜松市曳馬4丁目20-10
TEL 053-463-2161 FAX 053-464-1944
<http://hikuma.heyato/>

株式会社丸八真綿

最高の羽毛ふとんはやっぱり丸八真綿

代表取締役社長 **岡本 典之**

〒432-8508 浜松市小沢渡町1533
フリーダイヤル 0120-4649-08

20周年記念事業特別委員会 運営組織図



編集後記

基本的なスタイル（10周年記念誌）は崩さない方向で、新しい企画を盛り込み読みごたえのある記念誌にしようとスタッフ一一致団結して今回の編集に望みました。しかし、10年以上前の素材は非常に少なく、また多くの方々の時間・協力を必要とする今回のテーマに本当に間に合うのかと当初不安を感じる日々が続きました。101ページという膨大な量になり、まとめる力の未熟さを感じながら、諸先輩方の築き上げられた青年部の歴史を振り返り、努力と信念なくして歴史は築けないものと実感し改めて感動を覚えました。

『歴史ある20年そして更なる挑戦へ』この記念誌を読まれた方々が少しでも勇気づけられ、躍進されることを心よりお祈り申し上げます。

また、本誌発刊にあたり、絶大なるご協力をいただいた関係各位・親会・事務局・青年部OB・現役メンバーの方々に感謝し、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

記念誌編集担当メンバー

政策委員会

担当副会長	山内 秀彦
委員長	水野久美子
記念誌部会長	鈴木 政宏
副委員長	関 哲義

郡司 勝広	呉 英洙	加藤 栄三
島 通孝	高澤 啓介	高橋 義辰
中瀬 正也	松浦 建基	山本 昇



**浜松商工会議所青年部
創立20周年記念誌**

発行日 平成17年11月25日

発行 浜松商工会議所青年部
〒432-8501 浜松市東伊場2-7-1
TEL053-452-1114(商業観光課)
FAX053-452-6685

編集 青年部政策委員会



浜松商工会議所青年部
2005